

第2号議案 2019年度事業報告

(1) 日本画像学会年次大会（第123回研究討論会）“Imaging Conference JAPAN 2019”開催報告

実行委員長：御厨 裕司 副実行委員長：中島 一浩、校條 健

2019年7月2日(火)～4日(木)の3日間、日本画像学会年次大会(通算123回)「Imaging Conference JAPAN 2019(ICJ2019)」を千葉大学 西千葉キャンパス(千葉市稲毛区)のけやき会館および工学系総合研究棟Ⅱにて開催しました。大会は画像関連学会連合会(FIS:Federation of Imaging Societies)の合同大会の一環として開催され、日本印刷学会と日本写真学会の年次大会(7月4日～5日)と連続した日程で行われました。7月2日と3日は日本画像学会 ICJ2019 を単独で開催し、7月4日は日本印刷学会と日本写真学会と合同でインタラクティブセッション/ポスターセッションを開催しました。また、この日はFIS主催の国際大会「International Conference on Advanced Imaging 2019(ICAI2019)」もインタラクティブセッション/ポスターセッションの形で同会場で開催しました。

■ ICJ2019の重点的取り組み

今大会は様々な新たな取り組みを試行しました。

(1) オーガナイズドセッションのさらなる推進

昨年の大会から、技術発表の募集・セッションの構成・運営についてオーガナイズドセッション方式を部分的に導入しました。今年はさらに進め、インクジェット技術部会の藤井主査と電子写真技術部会の渡辺主査にオーガナイザーを引き受けていただき、日本画像学会の二つの主要技術についてオーガナイズドセッションが行われることとなりました。さらに、最近話題の「2.5D/加飾技術」について画像感性部会の鎰谷主査を中心に技術部会を超えてオーガナイズドセッションが企画されました。最終的に、インクジェットセッションは27件(うち1件直前キャンセル)、電子写真セッションは14件、2.5D/加飾セッションは12件もの件数が集まり、とても充実したセッションとなり、強い手ごたえを感じることができました。

(2) 聴いて役に立つだけでなく、見てためになるICJ

年次大会は多くの人が集まる貴重な機会ですので、聴講以外にも参加者の役に立つ多彩なイベントを企画しました。

① 研究室紹介コーナー

千葉大学・東海大学・東京工芸大学・大阪府立大学・山形大学・新潟大学・東京大学および産総研より10研究室にご協力いただき、研究内容紹介の展示をしていただきました。

② 出力物ギャラリー

日本画像学会の関わる様々な技術は近年幅広い分野に応用が広がりつつありますが、出力物ギャラリーはそんな様々な応用例を8社のご協力によりブース展示していただきました。

③ インクジェットヘッドショーケース

インクジェットヘッドはキーパーツでありながら、なかなか直接見たり触れたりする機会はありません。そんな各社のヘッドを一堂に集め展示しました。特に今年は冒頭に各社のシ

ョートプレゼンテーションも行い、展示もヘッドの現物だけでなく、ポスターによる説明も掲示して、より詳しい理解ができるようにしました。

④ ワークショップ

今年は新たに発足したばかりの新技术領域検討部会（長山主査）主催による「画像技術のイノベーションを考える」とのテーマで行なわれました。

■ 第1日目(7月2日)概要

大会初日、けやき会館大ホールでの開会挨拶に続き、関西学院大学の玉田俊平太教授のキーノートスピーチ「ディスラプティブ（破壊的）イノベーションの脅威と勝機 ～破壊される側から破壊する側になるために」で ICJ2019 が開幕しました。

次いで、2017 年度の論文賞受賞記念講演（キヤノン 原氏）とコニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励賞の受賞記念講演（佐賀大学 江良教授）が行われました。さらに引き続き、今年度の学会各賞の表彰式が行われました。

午後からは口頭発表のセッションがけやき会館大ホール（Track I）と工学系総合研究棟Ⅱ2F コンファレンスルーム（TrackⅡ）でスタートしました。Track I ではインクジェットのオーガナイズドセッション（ヘッド・システム/評価・解析）、TrackⅡでは電子写真のオーガナイズドセッション（電子写真材料/電子写真デバイス(1)(2)）が行われました。

また、けやき会館 3F レセプションホールでは、先述の研究室紹介コーナーと出力物ギャラリーの展示がスタートしました。

夕方 17 時過ぎからは大学会館フードコートに場所を移して懇親会を行い、129 名の参加者で大いに懇親を深めました。

■ 第2日目(7月3日)概要

2 日目は、けやき会館大ホールの Track I では電子写真システムと電子写真デバイス(3)のセッション、工学系総合研究棟Ⅱ コンファレンスルームの TrackⅡではインクジェットオーガナイズドセッションの 3D プリンティングとデジタルファブリケーションのセッションが行われました。また、午後からは Track I ではインクジェットのインク・メディア、シミュレーション、画像処理のセッション、TrackⅡでは画質評価・色・感性イメージング、電子ペーパーなどのセッションが行われました。

けやき会館大ホール入口前のロビーでは初日・2 日目に展示会を開催しました。

初日に引き続き、けやき会館 3F のレセプションホールでは研究室紹介コーナーと出力物ギャラリーが終日開催され、この日も多くの来場者が訪れていました。

また、午後からはけやき会館 2F の会議室 2 でワークショップも開催されました。

■ 第3日目(7月4日)概要

3 日目は Track I（けやき会館大ホール）では画像関連学会連合会（FIS）の 3 学会合同のインタラクティブセッションのショートプレゼンテーションが行われ、その後引き続き同会場で国際学会 ICAI2019 のインタラクティブセッションのショートプレゼンテーションが行われました。

午後はけやき会館 3F レセプションホールで、FIS と ICAI2019 のインタラクティブセッションのポスターセッションが同一会場で開催され、多くの人がポスターと発表者を囲んで熱い議論で盛り上がっていました。

3学会 20件の発表の中から、ベストポスター賞は京都工芸繊維大学の安藤千穂子氏（日本写真学会）、ポスター賞には富士フィルムの浜本貴紀氏（日本画像学会）と大日本印刷の茂出木敏雄氏（日本印刷学会）が選ばれました。また、日本画像学会の編集委員長賞は千葉大学の土井浩敬氏が選ばれ、ポスターセッション終了後の表彰式で表彰状が手渡されました。

一方、TrackⅡ（工学系総合研究棟Ⅱコンファレンスルーム）では、ICJ2019（日本画像学会単独）の2.5D/加飾プリンティングのオーガナイズドセッションが朝一から夕方まで開催されました。海外からのセッションキーノートや特別講演、パネルディスカッション、デモ展示に口頭発表もあり、100名を超える参加者で大いに盛り上がりました。

また、けやき会館 2F 会議室 2、3 では 13 時からインクジェットヘッドショーケースも並行して開催され、先に述べたようにたくさんの参加者で賑わいました。

■ 最後に

ICJ2019 は最終的には、一般講演 63 件（キーノート，招待講演，特別講演を含む）、インタラクティブ日本画像学会分 7 件（連合会全体で 20 件）、展示会の出展は 14 社でした。

大会総参加者は、聴講者・講演者・説明員・実行委員などを合わせて 500 名余りとなり、とてもにぎやかで充実したよい大会とすることができました。

(2) 総会

2019 年 6 月 28 日（金）に、一般財団法人産業人材研修センター霞会館において、第 62 回定時総会を開催した。定足数 415 名を大幅に上回る 499 名の方のご出席（委任状含む）をいただいた。2012 年度から、出欠連絡と各議案の賛否投票を、ハガキから web 回答を中心とする方式に移行しており、今年度の回答率は 60.0%であった。回答率の推移は、2012 年度 63.6%、2013 年度 63.0%、2014 年度 59.0%、2015 年度 60.0%、2016 年度 59.0%、2017 年度 60.7%、2018 年度 63.3%であり、今年度もほぼ例年同等の水準であった。

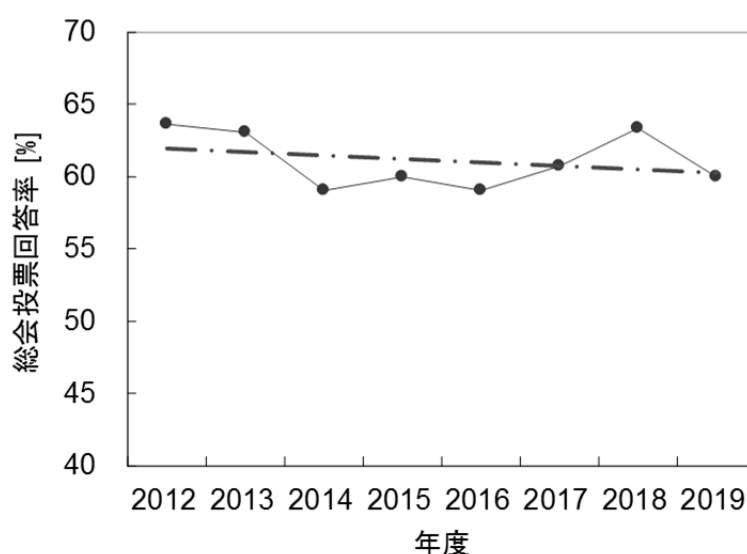


図 総会投票回答率推移

本総会では、面谷会長の挨拶のあと、定数の確認を行い、面谷会長を議長に選出して議事に入った。以下の議案について提案と報告が行われ、委任状を含み大多数の賛成により全議案が承認された。

- ① 2019年度役員候補の承認（第1号議案）
- ② 2018年度事業報告、同収支決算および監査報告の承認（第2号議案、第3号議案）
- ③ 2018年度事業計画および同一般会計予算の報告（第4号議案）

最後に質疑応答を行い、冒頭に事前投票での意見、要望が運営副委員長より紹介された。会長からは、発表内容やコストパフォーマンスについてのご指摘など厳しいご意見を真摯に受け止めたこと、連合会4学会の統合は考えておらず、共同体制を推進することが回答された。最初の質問では、新たに立ち上げる4DFE研究会の予算計上の要望が出され、研究討論会として組み入れていることが財務委員長より回答された。また、公益法人で増税の影響はあるのかとの質問に、収入により影響はあるが、現時点では実質の影響はないことが回答された。

第62回定時総会の議案と議事録は、当学会ホームページからもご覧いただけます。

http://www.isj-imaging.org/about_ISJ/assembly.html

(3) 2018年度 日本画像学会表彰

日本画像学会は選奨規定に則り、2018年度学会賞、功労賞、論文賞、研究奨励賞、会長特賞、フェロー表彰、技術賞、技術研究賞、日本画像学会コニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励賞の選考を行い、2019年7月2日開催の表彰式の席上で表彰と各賞の贈呈を行った。各受賞者は以下の通りである。(敬称略)

掲載号：日本画像学会誌，第58巻，第4号，(通巻第240号)，pp. 461-467.

<功労賞（第24回）3件>

川本弘行（早稲田大学）

細矢雅弘（元東芝）

稲垣敏彦（元富士ゼロックス）

<論文賞（第33回）1件>

著者：長谷部恵、本杉友佳里

（富士ゼロックス株式会社 研究技術開発本部 テクノロジーデリバリーセンター）

前後武志、浜崎聡信、石原拓真

（富士ゼロックス株式会社 研究技術開発本部 基盤技術研究所）

論文名：「Verification of Cockling Reduction Effect on Offset-Coated Paper by Drying Technology Using Laser Exposure and Consideration on Cockling Mechanism by FEM Simulation Modified Thermal Expansion Model」

掲載号：日本画像学会誌，第57巻，第6号，(通巻第236号)，pp. 692 - 699

<研究奨励賞（第26回）3件>

① 横山優樹（富士ゼロックス）

「高濃度接触現像系の液体现像方式における揮発系液体トナーの適用」

② 塩飽 黎 (山形大学)

「インクジェット印刷電極を有する有機集積回路の乳酸センサ応用」

③ 佐野翔一(大阪府立大学)

「量子ドット発光ダイオードの作製と特性評価」

<会長特賞 (第 18 回) 1 件>

中島一浩 (キヤノン)

<フェロー (第 6 回) 1 件>

中村一希 (千葉大学)

<技術研究賞 (第 3 回) 2 件>

技術:「電子写真の帯電・転写プロセスのシミュレーション技術の開発」

門永雅史 (株式会社リコー)

技術:「メディアの操作性に注目した電子デバイスの開発」

柴田博仁 (富士ゼロックス)

<日本画像学会コニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励賞 (第 14 回) 1 件>

矢口博之 (東京電機大学)

研究題目:「情報の取得、伝達、創造に役立つ知識の発見とそれを応用した情報システムの開発」

(4) 日本画像学会年次大会 (第 124 回研究討論会) /画像関連学会連合会第 6 回秋季合同大会 “Imaging Conference JAPAN 2019 Fall Meeting” 開催報告 (関西委員会)

実行委員長: 山田千晶 (コニカミノルタ株式会社)

2019 年 10 月 31 日 (木)、11 月 1 日 (金) の 2 日間、京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパスにて、第 124 回日本画像学会研究討論会「Imaging Conference JAPAN 2019 Fall Meeting」を開催しました。本研究討論会は、画像関連学会連合会 (印刷学会、写真学会、画像電子学会、画像学会) が主催する画像関連学会連合会秋季大会の一部として行われ、今年で 6 回目となりました。4 つの学会が融合できるよう毎年開催方法を改良していますが、今年は技術分野ごとのオーラルセッションを設け、所属学会の枠を超えて関連する発表を聴けるようにしました。

さらに、参加者数を増やす取り組みとして、一般発表以外に、基調講演 1 件と特別講演 6 件を盛り込みました。様々な分野で活躍されている方の講演を聴くことができ、大いに刺激を受けることができたと思います。

発表論文数は、オーラル発表 38 件 (うち日本画像学会から 9 件)、ポスター発表 39 件 (うち日本画像学会から 10 件) となり、日本画像学会からは 100 名の参加となりました。オーラル発表、ポスター発表では活発な議論が展開され、編集委員長賞、最優秀ポスター賞は日本画像学会から発表された研究が選ばれました。研究の今後の発展が期待されます。

<編集委員長賞>

P11 「異なる発光層を有する有機発光ダイオードの電荷輸送特性の評価」

富士本 直起 氏ほか（大阪府立大学大学院）

〈最優秀ポスター賞〉

P5 「柔軟性を有するシリコン薄膜のバイオセンサへの応用研究」

大矢 貴史 氏ほか（早稲田大学大学院）

また技術講習会から発展したチュートリアルも 10 月 31 日に開催され、今までの、「電子写真」、「インクジェット」に加えて、「シミュレーション」技術チュートリアルも開催され、通常の講義形式に留まることなく質疑が活発に行われ、盛況のうちに終了しました。

プログラムは本稿後半に記載。

(5) 評議員会

2020 年 3 月 13 日に東海大学校友会館（東京・霞が関）において開催を予定していた 2019 年度評議員会は、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止とした。2018 年度事業報告、同財務報告、2019 年度事業計画、同財務計画報告は、維持会員の皆様に郵送で冊子を配布することにより執り行った。

(6) 理事会

以下に示す日程で年間 7 回の理事会を開催し、学会運営・活性化に関する諸施策の審議、2018 年度選奨、2019 年度予算執行状況の確認、2020 年度予算案の審議・承認などを行った。例年は年間 6 回の理事会を開催していたが、議論の時間が十分とれないとの反省から、年間 7 回の開催を計画した。しかし、第 7 回理事会については、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止とし、結果として年 6 回の開催となった。

・2019 年

第 1 回：5 月 21 日（火）15:00～18:00	霞会館
第 2 回：6 月 28 日（金）14:30～16:30（17:00 より定時総会）	霞会館
第 3 回：8 月 29 日（木）10:00～12:00（午後：役員研修会）	霞会館
第 4 回：10 月 23 日（水）15:00～18:00	霞会館
第 5 回：12 月 20 日（金）15:00～18:00	霞会館

・2020 年

第 6 回：2 月 14 日（金）15:00～18:00	霞会館
第 7 回：3 月 13 日（金）13:00～15:00	中止

本年度の理事会活動では、例年同様に ICJ や各研究会の開催と画像関連学会連合会の推進に関する検討・審議に加え、2020 年に IS&T 主催 Print4Fab2020 と画像関連学会連合会主催の ICAI2020 を共同開催することが決議されており、その企画準備状況の審議が重要な議題となった。また、ICJ に関しては、研修会やコンファレンス委員会での検討を通じて幹事会社制に代わる実行体制の一新を検討しており、こちらも重要な議題であった。

これまで設定している、会勢拡大、財政再建、研究範囲拡大や停滞分野の再活性化、国際化と

いった学会の重要課題に対する改革計画と実行については、役員研修会の中で継続してレビューし、見直しを行っている。これらについては、運営委員会のパートを参照されたい。

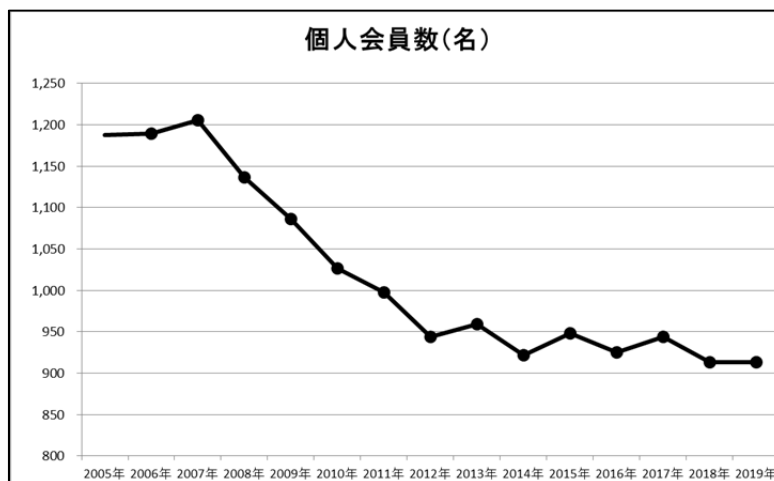
(7) 事務局 事務局長 竹内達夫

- ・ イベント関連では、昨年より開始した画像と視覚の基礎講座（全4回）、4DFF シンポジウムを今年も継続して開催したほか、数年ぶりにサーマル記録技術研究会を開催した。イメージングカフェは、関西イメージングカフェを開催しなかったことと、新型コロナウイルス感染防止対応により開催数が4回減った。これ以外の研究討論会、研究会、講習会、フリートーキングは1月末までの開催分は例年通りに開催した。3月以降のフリートーキング、MBD 技術研究会は新型コロナ感染症拡大を受けて中止とした。これによりイベントの開催回数28回、開催日数32日で、イベント開催回数は昨年より6回減少。総有料参加者数は前年より大幅に減少した。ICJの参加者・各研究会の参加者はほぼ横ばいとなったが、中止のイベント及び他のイベントにおける参加者の漸減により、収支としては昨年度から20%の減少となった。
- ・ 学会誌の発行部数は会員数の増減に連動し、毎号1400部前後である。年6回、編集委員会→印刷会社→発送会社経由で発行、配送されており、毎号、同梱チラシの配付先管理、日程管理及び会員の増減や住所変更への対応を図っている。
- ・ 理事会、各種委員会・各技術部会は、一部中止としたほかは、例年通り開催され、各々活発な議論が交わされている。また、画像関連学会連合会代議員会及び秋季年次大会の連合会合同開催にむけた実行委員会、さらに2020年度開催の国際会議に向けた実行委員会が組織化され、その会議等が開催された。

○年度別個人会員数の推移

2005年度～2019年度末までの会員数推移を示す。昨年度末下げ止まりの傾向を見せ増加傾向となった会員数だが、本年度末は昨年とほぼ同数で推移しそうである。一昨年度から進めている会費未納者を未納退会者として一旦会員数から外し、実活動会員を中心とした数の明確化を図った結果、実働会員への転換が進み会員数の急激な落ち込みがない状況となった。新規の研究会立ち上げが進むことで上昇傾向に移るのではないかと見通している。

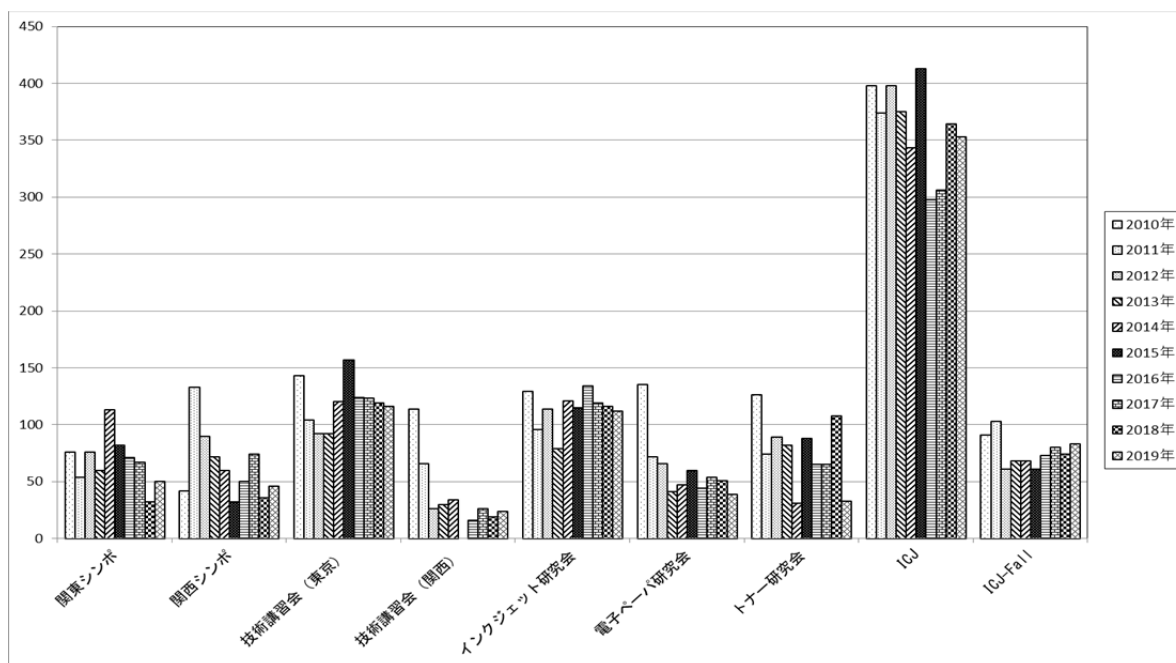
年度	個人会員数(名)
2005年	1,188
2006年	1,190
2007年	1,206
2008年	1,137
2009年	1,087
2010年	1,027
2011年	998
2012年	944
2013年	960
2014年	922
2015年	949
2016年	926
2017年	944
2018年	914
2019年	913



*2019年度は12月末の正会員数

○学会の主なイベント参加者推移

2010年度～2019年度の当学会が主催する年次大会、研究会、講習会など、主なイベントの有料参加者推移を示す。シンポジウムは関東・関西ともに参加者が増加している。研究会はテーマにより変動はあるものの減少傾向であった。ICJについて、春の大会はほぼ横ばいであり、2016年を底に増加傾向にある。また、秋季大会は2014年に画像関連学会連合会の合同大会となってから最も参加者が多かった。



(8) 運営委員会 委員長 中山信行 (富士ゼロックス)

運営委員会として、例年通り、学会活動の年間予定の作成、年6回（本年度は7回の開催を計画したが、1回は中止とした）の理事会の準備・議事進行・議事録作成、年次総会および評議員会の準備・運営など、本学会活動の運営全般を推進した。詳細はそれぞれの報告を参照されたい。このほかに運営委員会が主体で推進した2019年度の活動として、次の3点がある。

(1) 役員研修会

2019年8月29日(木)に、例年通り霞会館にて役員研修会を開催した。昨年度までに、会長が提示された6課題を取り上げて改革の取り組みを行っており、本年度は昨年度の活動レビューを行った上で、新たな施策をテーマ(課題)ごとに検討して、設定した。主要な施策は以下のとおりであり、担当委員会で具体策を検討して、順次実行に移している。本年度は、新たな課題として重要性が増している「世代交代」についてもテーマとして取り上げた。また、継続施策案件については必要性を改めて検討し、一部については中止の判断を行った。

表 役員研修会で抽出した施策

(太字は 2019 年度に新規追加, 下線は 2019 年度までに完了/中止)

テーマ(課題)	施策
会員増 イベント参加者増	<ul style="list-style-type: none"> ・維持会員制度 ・<u>ICJ の新企画</u> ・<u>ICJ Fall の新企画</u> ・<u>技術部会個人会員取り込み</u> ・<u>IF 取得</u> ・イベント多点開催サービス ・教員入会促進キャンペーン ・会費支払自動化 ・シニア会員の活用による残留促進
世代交代	<ul style="list-style-type: none"> ・女性活用 ・アンケート委員会の設置
守備範囲拡大 停滞分野活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>ICJ 新規領域取り組み</u> ・委員の環境改善 ・各部会活動活性化策 ・<u>新規領域への取り組み活性化</u> ・画像処理部会再編 ・プロダクション取り組み検討 ・<u>新規領域拡大推進</u>
国際化	<ul style="list-style-type: none"> ・海外への学会誌配信電子化 ・海外からの一般発表
連合会活動強化	<ul style="list-style-type: none"> ・論文公開の検討 ・ISJ 取り組み方針展開 ・<u>負荷の平準化</u> ・<u>委員インセンティブ</u> ・<u>ICJ 企画運営体制見直し</u> ・<u>ICJ Fall の運営方針見直し</u> ・非幹事会社制取り組み ・ICAI 推進 ・連合会再編検討

(2) 執行部会

上記の課題検討の推進や実行の促進のため、また学会運営上の課題に対応するため、理事会開催前に執行部会を開催し、理事会提案を行っている。本年度は、理事会に同期して合計 6 回の執行部会を開催し、理事会運営、研究会の新たな取り組み、人事案件、2020 年度に開催する ICAI/Print4Fab2020 の進捗などに関する審議を行った。

(3) 選奨候補者推薦

本年度から、名誉会員、功労賞、会長特賞については、運営委員会が候補者を選考し、理事会に推薦する担当委員会となった。それぞれ、学会活動経歴と業績などを審議し、候補者選考、推薦を行った。結果については、選奨委員会の報告を参照されたい。

(9) 編集委員会 委員長 中村一希 (千葉大学)

編集委員会の主な活動は、①学会誌の企画、編集および定時発行 (年 6 冊)、②学会の特集内容に即した講演会『フリートーキング“Imaging Today”』の開催 (年 2 回)、③ICJ、ICJ Fall のインタラクティブセッションにおける編集委員長賞の選定・表彰である。これらの遂行のため、編集委員会 (6 回、うち 1 回は合宿形式にて年間計画策定)、印刷所での校正作業 (6 回)、各 WG 活動 (適宜) を行った。それぞれの内容を下記に記す。

【日本画像学会誌 発行】

2019 年は、2018 年の 1 年間を通じた学会創立 60 周年に関する各種特集の編集・掲載が終了し、種々の企画の充実に注力した。通常の「Imaging Today」や「Advanced Technology」に加え、「カールソン方式発明 80 周年記念特集」や「日本画像学会ビジョン 2030」などの特集、さらに ICJ 発

表と学会誌とのリンクによる読者会員へのメリット増のため、6月に開催した ICJ2018 の一般講演をもとにした論文・解説計 6 編を「日本画像学会 ICJ2018 特集」として 237 号 (2019 年 2 月号) に掲載した。今後も年次大会からの論文勧誘活動を継続して実施し、年次大会での質の高い発表の学術論文化を進める。また、毎年 1 回特定技術分野にテーマを絞って英文論文を掲載するクラスタ論文誌は 9 回目となり、本年度は 242 号 (2019 年 12 月号) において「Near-infrared Sensing and Imaging Technology」をテーマに、依頼解説 6 報を掲載した。

検討を進めてきた学会誌のオープンアクセス化に関しては、方式を以下の通り決定し、19 年 4 月より J-Stage にて実施した。

- ・一般投稿論文/依頼論文： 学会誌発行と同時にオープン化
- ・依頼解説等 (主に IT や AI などにおける解説)： 学会誌発行から 1 年後にオープン化
- ・その他の連載、記事等： オープン化せず

オープンアクセス方式を採用することで、論文をご投稿いただく会員の皆様の研究成果を速やかに広く国内外に発信することが可能となり、研究成果の認知度が飛躍的に高まり、学術誌としての学会誌の価値向上が期待される。さらに、オープンアクセス化を機に学会誌の体裁面での質向上に関し、改めて WG にて見直しを行い、学会誌の価値向上に努めている。

以下に 2019 年発行 (Vol.58) 各号の詳細を記す。

・ **237 号 (Vol. 58, No. 1), 2019 年 2 月 10 日発行, 182 頁**

巻頭言 (会長)、論文 1 報、依頼解説 1 報、Imaging Conference JAPAN 2018 特集 (論文 5 報、解説 1 報)、カールソン方式発明 80 周年記念特集 (2018 年度複写機遺産)、Advanced Technology 「元素ブロック高分子」 (解説 8 報)、Imaging Highlight 「質感と感触の出力ー2.5D プリントシステムが生まれるまでー」、教育講座「表面分析の基礎から応用 (III)」 研究室訪問「田川研究室 東京農工大学大学院工学研究院先端機械システム部門」、会報、会告、投稿案内、日本写真学会誌・日本印刷学会誌・画像電子学会誌・Journal of Imaging Science and Technology・影像科学与光化学の目次、編集後記、画像閑話

・ **238 号 (Vol. 58, No. 2), 2019 年 4 月 10 日発行, 90 頁**

日本画像学会のオープンアクセス化について、日本画像学会ビジョン 2030、論文 2 報、Imaging Today 「最新の画像処理・画像再現技術一見せる画像/見せない画像一」 解説 5 件、Imaging Highlight 「有機半導体関連界面」、教育講座「表面分析の基礎から応用 (IV)」、研究室訪問「慶應義塾大学 SFC 研究所ソーシャル・ファブリケーション・ラボ」、会報、会告、投稿案内、日本写真学会誌・日本印刷学会誌・画像電子学会誌・Journal of Imaging Science and Technology・影像科学与光化学の目次、画像閑話

・ **239 号 (Vol. 58, No. 3), 2019 年 6 月 10 日発行, 96 頁,**

論文 2 報、Imaging Today 「VR/AR/MR 技術」 解説 6 報、Imaging Highlight 「日本語の指文字を用いたタイピングシステムのプロトタイプ構築」、教育講座「表面分析の基礎から応用 (V)」、研究室訪問「植村研究室専修大学文学部ジャーナリズム学科」、会報、会告、投稿案内、日本印刷学会誌・画像電子学会誌・影像科学与光化学の目次、画像閑話

・ **240 号 (Vol. 58, No. 4), 2019 年 8 月 10 日発行, 125 頁**

論文 2 報、Imaging Today 「4D & ファンクショナルプリンティング技術」 解説 8 報、Imaging

Highlight「昆虫の飛翔特性」、教育講座「流体力学 (I) — 流体の運動方程式と無次元数 —」、研究室訪問「田中一生研究室京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻」、2018 年度学会表彰、一般社団法人日本画像学会第 62 回定時総会資料、会報、会告、投稿案内、日本写真学会誌・日本印刷学会誌・Journal of Imaging Science and Technology・影像科学与光化学の目次、画像閑話

・ **241 号 (Vol. 58, No. 5), 2019 年 10 月 10 日発行, 103 頁**

論文 2 報、Imaging Today「漫画コンテンツ技術」解説 6 件、Imaging Highlight「イベントや時間・空間の追体験を可能にする VR 技術—VR ミュージアム「甦れ！太陽の塔」—」、教育講座「流体力学 (II) — 流体の粘性と撃力による高粘度流体の加速手法 —」、研究室訪問「坂本康正研究室 金沢工業大学工学部電気電子工学科」、会報、会告、投稿案内、日本写真学会誌・日本印刷学会誌・画像電子学会誌・Journal of Imaging Science and Technology・影像科学与光化学の目次、画像閑話

・ **242 号 (Vol. 58, No. 6), 2019 年 12 月 10 日発行, 102 頁, ※英文クラスタ論文集**

論文 1 報、クラスタ論文「Near-infrared Sensing and Imaging Technology」依頼解説 6 報、Imaging Highlight「アクティブリーディングを支援する試み」、教育講座「流体力学 (III) — 液柱から液滴へ：表面張力の力学的基礎 —」研究室訪問「環境電子材料研究室 (山田勝実教授) 東京工芸大学工学部化学・材料コース」、会報、会告、訂正、投稿案内、日本印刷学会誌・画像電子学会誌・Journal of Imaging Science and Technology・影像科学与光化学の目次、画像閑話

・ **243 号 (Vol.59, No.1), 2020 年 2 月 10 日発行, 186 頁**

巻頭言, 論文 1 報, 速報 1 報, 「Imaging Conference JAPAN 2019」特集：論文 12 報, 解説 1 報, Imaging Today「省エネ技術」解説 5 報, Imaging Highlight「見えなかったナノの世界の“見える化”」、教育講座「流体力学 (IV)」, 研究室訪問「岸川・桑折研究室千葉大学大学院工学研究科ソフト材料化学研究室」会報, 会告, 投稿案内、日本印刷学会誌・画像電子学会誌・Journal of Imaging Science and Technology・影像科学与光化学の目次、画像閑話

【フリートーキング“Imaging Today”】

- ・ **第 35 回フリートーキング “Imaging Today”** : 「VR/AR/MR 技術」2019 年 9 月 20 日 (金) 開催。早稲田大学西早稲田キャンパス (新宿区)、6 講演、参加者 33 名
- ・ **第 36 回フリートーキング “Imaging Today”** : 「省エネ技術」、2020 年 3 月 16 日 (月) 開催予定。
→ 新型コロナウイルス対応で中止
→ 9 月 18 日に同テーマで開催予定 (オンライン化検討中)

【年次大会における編集委員長賞】

- ・ **ICJ2019** : 講演番号 INP-18i、「金属調光沢膜物性に及ぼすドーパント種の影響」、土井浩敬 ほか (千葉大学)
- ・ **ICJ2019 Fall** : 講演番号 P11、「異なる発光層を有する有機発光ダイオードの電荷輸送特性の評価」、富士本直起 ほか (大阪府立大学)

(10) 技術委員会 委員長 佐藤利文 (東京工芸大学)

1. 技術委員会全体の活動状況

- (ア)2018年度に引き続き、委員長 佐藤利文、副委員長 酒井真理、堀田吉彦の体制で運営した。
- (イ)2019年12月16日(月)に第1回主査会議、2020年1月24日(金)に第2回主査会議を開催した。
- (ウ)年一度の総会は、委員全員が顔を合わせ交流する場および各部会開催の機会として、2019年度は2020年1月24日(金)に開催した(総会出席者70名、情報交換会出席者63名)。総会に先だって同日に11部会を開催した。
- (エ)第二回複写機遺産として、3件認定候補を決定し、理事会で承認された。
- (オ)インクジェット技術交流会を5回、シミュレーション技術交流会を2回開催した。
- (カ)画像感性部会が日本視覚学会と共催で「視覚と画像の基礎講座」(全4回)、「実験方法」2019年7月12日(金)、「色」2019年9月13日(金)、「空間情報」2019年11月14日(木)、「質感」2019年12月13日(金))を開催した。
- (キ)2019年4月～2020年3月の間に技術研究会を6回[インクジェット技術部会：第141回(9/10)、電子ペーパー/フレキシブル技術部会：第142回(10/18)、サーマル技術部会：143回(10/24)、トナー技術部会：第144回(11/4)、電子写真技術部会：第145回(1/31)、MBD技術部会：第146回(3/26)]開催した。
- (ク)第83回技術講習会(7/18-19)と秋・技術講習会(京都10/31)に、各部会委員から講師を派遣するとともに、シミュレーション技術部会がシミュレーション実演講習を担当した。
- (ケ)教科書「画像処理」(仮題)の執筆を進めている。
- (コ)選奨対象候補のエントリー数増加のために、技術委員会として各部会に積極的に候補抽出を督促し、技術賞、コニカミノルタ研究奨励賞等の候補抽出に貢献した。
- (サ)新技術領域検討部会が活動を開始した。
- (シ)画像評価部会、イメージング材料部会は休会中。

2. 各部会の活動状況

1) 画像評価技術部会

- ・2018年度休会。

2) 電子写真技術部会

- ・定例会9回(各社会議室)、合宿部会1回(複写機遺産事業に関する見学：大阪大学総合学術博物館、京都鉄道博物館)を開催した。
- ・第5回技術研究会「電子写真技術の挑戦」(2020年1月31日(金))を開催。電子写真の技術動向を振り返り、電子写真技術をベースとした新しい取組みについての講演に続いて参加者全員によるワールド・カフェを開催。
- ・SNS上で継続的に対話ができる場としてFacebookグループ「電子写真倶楽部」を開設し、運用を開始した。
- ・第二回複写機遺産として、3件認定候補を決定、理事会で承認済み。認定式は、2020年6

月 26 日開催予定の関東シンポジウムの一セッションとして実施予定。

- ・ 関東シンポジウム (2019 年 12 月 6 日 (金)) において 2019 年の電子写真技術を総括した。

3) トナー技術部会

- ・ 定例部会を 6 回 (5 月は合宿部会, 11 月は見学会) と技術研究会を 1 回開催した。
- ・ 標準化活動においては標準キャリア P-02 の在庫減対応におけるロット変更に伴い、帯電量保証のための検定作業と検定値の決定を行った。また、今年の標準キャリアの頒布実績は 107 本 (P-01:19 本、P-02:8 本、N-01:53 本、N-02:26 本、お試しセット:1 本) で、過去最高の頒布数であった。
- ・ 第 4 回技術研究会 (通算通算第 144 回) 「トナー&粉体特性のマクロからマイクロまでの観察・計測・分析技術」を 2019 年 11 月 8 日 (金) に開催し、トナー技術部会としては「標準キャリアを用いた種々粉体の帯電特性比較」に関しての発表を行った。
- ・ 委員の知識拡大活動として行っている大学・研究機関見学では、王子製紙春日井工場の見学を行った。

4) 画像処理技術部会

- ・ 従来からの技術をまとめる方向で、教科書「画像処理」の執筆を進めている。一旦初稿の校正段階まで行ったが、出版社の担当の変更から、教科書として種々の難点が判明した。そこで、内容を維持したまま、教科書として入りやすく、理解しやすいものとするため、一部の章の大幅な修正を行なっている。時間を要しているが、10 月出版に向け鋭意進めている。
- ・ 今後については、新たな主査を迎えたので、委員の若返りを図り、新たな領域へむけて活動していく。

5) 画像技術用語部会

編集委員より、電子写真関連用語 (一部) の修正依頼・提案を受け、部会として過去の経緯を調べ、メールベースで意見交換するとともに、下記で修正方針を決定した。

- ・ 2019 年 11 月 29 日富士ゼロックス (株) みなとみらい事業所などで、部会を行った。
- ・ 同社みなとみらい事業所では、事業所案内を受け、Chester F Carlson の実験装置等も見学した。
- ・ 部会では、方向性を決定し、用語集 0B のご意見も頂戴・確認した。(トータル 8 名) 基本的に、画像用語部会としては、長音をつけることに統一する。ただし、「会社内ルールや専門用語・慣用的使用などにより、長音をつけない (つけられない) 場合もあると思うので、慣用的に使用されている場合は長音をとっても良い」と付記することにする。尚、本内容は、編集委員へも報告済みである。
- ・ また、メンバーの各部会からの委員追加をお願いしたいと考える。
そして、各会社の引継ぎを打診中である。

6) インクジェット技術部会

- ・ 第 1 回技術研究会「インクジェット技術の進化と多様な市場への展開」(2019 年 9 月 10 日 (金)) を開催し、99 名 (有料参加者) が参加した。
- ・ ICJ2019 においてインクジェット技術部会は、DF 部会、シミュレーション部会と連携して

オーガナイズドセッションを設け、「インクジェットセッション」「DF」「3Dプリンタ」のセッションで合計 27 件の発表あった。2 日目にインクジェット技術者のネットワーク形成を目的とした「拡大交流会」を開催し、学生含む 54 名が参加した。3 日目には各社のヘッドを展示する「ショーケース」を実施した。今年は各社からのショートプレゼンも実施する有料(¥1,000)イベントにしたが、101 名が参加した。

- ・ インクジェット技術交流会は、見学会 1 回、アドバンスド技術講習会 1 回、拡大交流会 1 回、ミニ WS2 回を開催した。1 月末現在の会員は 127 名である。
- ・ 2019 年 7 月の技術講習会でインクジェット基礎講座(5 講座と総合 Q&A コーナー)を担当した。また、10 月の京都でのチュートリアルでもインクジェットの 3 講座を担当した。
- ・ Imaging Café サマースペシャル (2019 年 7 月 26 日) において、インクジェットと電子写真の今後を議論するテーマが設定された。このテーマで 3 回目となる今回は、「オフィスでの電子写真とインクジェット」-攻める IJ、受けて立つ EP-と題し、インクジェット技術部会から講演とファシリテートを行った。

7) 電子ペーパー/フレキシブル技術部会

- ・ 定例部会を 6 回、宿泊合宿と技術研究会を各 1 回開催した。
- ・ 第 2 回技術研究会「IoT と電子ペーパー」(2019 年 10 月 18 日(金)) を開催した。
- ・ 部会課題 (第 8 回)「IoT と電子ペーパー」に関して部会委員で議論し、その結果を 10 月 18 日の技術研究会で発表した。
- ・ 2019 年 12 月 6 日 (火) の関東シンポジウムで部会を代表して吉田さん (産総研) が「電子ペーパー/フレキシブル技術の最新動向～IoT 社会実現に向けた電子ペーパー/フレキシブル技術の活用状況～」というタイトルで講演をおこなった。
- ・ 2019 年 8 月 30 日 (金) にシルクに導電性を持たせた生体適合性の高い電極を用いて生体機能制御に取り組む東北大学の鳥光研究室を訪問した。翌 31 日 (土) に部会課題の討議を実施した。

8) サーマル記録技術部会

- ・ サーマル記録技術部会では、部会にあわせメンバーの所属する企業等の施設見学を兼ねた持ち回りの部会を実施しているが、本年は総会での部会開催のあとは、部会メンバーとメールベースでの情報交換のみで、部会は開催できなかった。2020 年度に仕切り直しする。

9) イメージング材料部会

- ・ 2019 年度休会

10) シミュレーション技術部会

- ・ 羽山祐子 (リコー) が新たにメンバーに加わり、総勢 13 名となった。
- ・ 部会を 5 回開催。
- ・ 第 83 回技術講習会(7/13)にて例年通りシミュレーション実習を実施するとともに、“電子写真シミュレーション技術”の講演を実施。
- ・ 関西・秋・技術講習会にてシミュレーション実習を実施。
- ・ 技術交流会を 2 回開催。2019/3/20(水曜) OpenFOAM による流体と気泡連成シミュレーション実習、2020/1/10 (金曜) OpenFOAM を用いた CodeStream 事例、電界計算事例 (帯電

ローラ)について。少人数(15名程度)で密なディスカッションができる場を提供できた。

11) デジタルファブリケーション部会

- ・ Print4Fab2019 (サンフランシスコ) に部会委員が参加し、セッションチェアを担当した。
- ・ 関東シンポジウム (2019年12月6日(金)) において、「デジタルファブリケーション技術の最新動向～ものづくりバリューチェーンの革新～」を担当した。

12) 画像感性部会

- ・ ICJ2019 において、2.5Dプリントに関するオーガナイズドセッションを設け、インクジェット技術部会との共催企画で100名を超える参加者があった。セッションキーノート講演1件、特別講演1件、パネルディスカッション パネラー3名、一般講演9件(招待3件)の講演があり、またデモセッションを実施した。
- ・ 昨年度に引き続き日本画像学会・日本視覚学会共催「視覚と画像の基礎講座」(全4回)を開催した。

第1回 実験方法 (2019年7月12日(金))

- ・ 心理物理実験法: 永井岳大(東京工業大学)
- ・ 計測技術: 木原秀幸(リコー)

第2回 色 (2019年9月13日(金))

- ・ 色覚: 鯉田孝和(豊橋技術科学大学)
- ・ 色彩工学: 坂谷一臣(コニカミノルタ)

第3回 空間情報 (2019年11月14日(木))

- ・ 空間知覚: 金子寛彦(東京工業大学)
- ・ 画質: 岸由美子(リコー)

第4回 質感 (2019年12月13日(金))

- ・ 質感知覚: 澤山正貴(NTTコミュニケーション科学基礎研究所)
- ・ 質感再現技術: 平林純(キヤノン)・ 鎰谷賢治(リコー)

13) MBD 技術部会

- ・ 定例部会を6回開催した。
- ・ 宿泊合宿として、広島大学・デジタルものづくり教育研究センターおよびマツダ株式会社を訪問(2019年10月8～9日)し、MBDにおける産学連携の研究開発、人材育成について詳細な話を伺った。

14) 新技術領域検討部会

- ・ 長山智男(主査:リコー)、前田秀一(東海大)、平林純(キヤノン)、中村一希(千葉大)の4名の体制で部会活動を開始した。
- ・ ICJ2019 において、「画像技術のイノベーションを考える」ワークショップを開催し、会員参加型の新技術領域の抽出とターゲットイングを実施した。ワークショップで出てきた意見を元に、今後のイベント開催の主題設定に活用する。

(11) 企画委員会 委員長 中井洋志 (リコー)

企画委員会では、イメージングカフェと2019年度関東シンポジウムの企画および運営を行った。また、ICJ2019 中での特別企画として、出力物ギャラリーの企画運営を行った。以下にイメージングカフェ及び出力物ギャラリーの活動詳細を報告する。

(シンポジウムに関してはシンポジウム報告に記載する)

● イメージングカフェの企画および運営

交流空間『イメージングカフェ』は、2011年に開始以来、1回/1～1.5ヶ月の開催を目途に企画・運営を行ってきた。2019年度も4月の第76回から2月の第81回まで(3月に予定していた第82回は新型コロナウイルスの影響により中止)と、番外編のCanon Gallery見学会を加えた年間7回のイメージングカフェを実施した。スペシャル企画は、第1部の講演会と第2部の情報交換会で構成した。第78回のサマースペシャルでは、電子写真技術とインクジェット技術を比較する企画の第三弾として、オフィス層における両技術の現状および今後の方向性について討論する場を提供した。

2019年度の『イメージングカフェ』開催要項および開催内容は以下の通りである。

- 会場 東京工業大学キャンパスイノベーションセンター、他
- 参加費 会員 1,000 円、非会員 2,000 円 (1 ドリンク付き)
スペシャル企画： 会員 4,500 円、非会員 5,500 円
(第1部のみ会員 1,000 円、非会員 2,000 円)
- 参加資格 会員は日本画像学会個人会員(維持会員は含まず)、その他は非会員として受け付ける。スペシャル企画では、日本印刷学会、日本写真学会、画像電子学会の会員も個人会員として受け付ける。
- 開催内容
 - 第76回 2019年4月19日 紙でできることは紙で
～ パッケージ業界動向と持続可能なパッケージ素材の開発について～
..... 内村 元一 (日本製紙)
 - 第77回 2019年5月24日 電子写真プロセス
～ 原理原則とミステリー～
..... 今井 力 (元リコー)
 - 第78回 2019年7月26日 オフィスでのインクジェットと電子写真
～攻めるIJ、受けて立つEP～ (スペシャル)
..... 藤井 雅彦、酒井 真理 (IJ部会)
山本 幸雄 (データサプライ)
柳田 貴之、山田 陽一 (エプソン販売)
 - 第79回 2019年9月6日 見た!触れた!聞いた! ITMA2019 デジタルテキスタイルの最前線
～鼎談: 生のこだわり現地レポート～
..... 名越 応昇、酒井 真理 (IJ部会)
竹内 節 (ユニカミノルタ)

第 80 回	2019 年 10 月 25 日	最新の地球科学と 3D 製造技術が織りなす未来の博物館 芝原 暁彦 (地球技研)
第 81 回	2020 年 2 月 7 日	インスタント写真とハイブリッドカメラ 藤井 武 (富士フイルム)
第 82 回	2020 年 3 月 19 日	資生堂 S/PARK 見学会(中止) 資生堂 S/PARK
番外編	2020 年 1 月 27 日	Canon Gallery 見学会 Canon Gallery

● 開催結果

第 76 回から第 81 回まで、および番外編を加えたの合計 7 回の開催で、延べ会員 96 名、非会員 35 名、合計 131 名の参加者を得た。(講師・企画委員を含まず)

● ICJ2019 における「出力物ギャラリー」の企画および運営

年次大会 ICJ2019 における特別企画として、各方面からの様々な出力物を一堂に集め、実際に見ることができる「出力物ギャラリー」の企画運営を実施した。合計 8 社から特色画像、捺染、3D 造形、プリントドエレクトロニクス等の展示があり、延べ参加者数は 366 人であった。

出展社及び展示内容は以下の通りである。

分野	出力物	メーカー	展示物概要
EP	特色画像	リコー	白色/クリア/蛍光/IRトナーを用いたサンプル、カレンダー一等
IJ	電極	エレファンテック	PET 基材 FPC PI 基材 FPC 伸縮基板 折り紙基板 PET 基材 FPC を真空成形した 3D 基板 銀塩化銀インクと組み合わせた電気化学センサー
	銀ナノインク	三菱製紙	ブラケースによる転写物展示 LED デコレーションポスター 静電モーターポスター
	捺染	コニカミノルタ	風呂敷、水着、元布
	トリックプリント	SO-KEN	広告、グッズ等
3D	各種	八十島プロシード	カラー造形サンプル
	フルカラー	ミマキエンジニアリング	3D/サイン/工業系/テキスタイル等
その他	スクリーンコード	アポロジャパン	音声ペンとコンテンツ(教科書、失語症冊子) スマホ教材 クミータ(プログラミングの玩具) みらくることりノート

(12) コンファレンス委員会 委員長 三矢輝章 (リコー)

- 2019年7月2日、3日、4日に千葉大学 西千葉キャンパスにて、年次大会 ICJ2019 (Imaging Conference JAPAN 2019) を実施した。本大会は日本写真学会・日本印刷学会・画像電子学会との併催にて実施した。
- 2020年 年次大会 (Imaging Conference JAPAN 2020 : ICJ2020) は、Printing for Fabrication 2020 by IS&T および ICAI2020 by FIS(International Conference on Advanced Imaging by 画像関連学会連合会) 合同の国際会議の中で 11月に開催予定であったが、合同の国際会議は新型コロナウイルスの直接、間接の影響が避けられない見通しのため、急遽 2021年に延期を決定した。Printing for Fabrication 2021 および ICAI2021 合同国際会議を、2021年10月4日 - 10月8日 幕張メッセ (General Chair: 三矢氏 (リコー)、Joint Program Chair: 中山氏 (富士ゼロックス)) で実施する。
2020年 年次大会 (Imaging Conference JAPAN 2020 : ICJ2020) は、2020の ICAI の中での位置づけとし、予稿の発行 (2020年12月予定) のみを実施することとした。
- 2020年 年次大会 (Imaging Conference JAPAN 2020 : ICJ2020) は、2020の ICAI の中での位置づけとし、予稿の発行 (2020年12月予定) のみを実施することとした。上記のように、2020年度は大規模な国際学会を秋季に開催するが、2021年度より例年通り、春季に年次大会 (ICJ) を開催する。その際、運営の主体を幹事会社をお願いしてきた従来の体制を見直し、画像学会が主体となって構成する実行委員会 (ステアリングコミッティーおよび実行委員) による運営を試行することを決定した。(幹事会社制の廃止の試行)
- コンファレンス委員会メンバー：
委員長：三矢 (リコー) 国内(ICJ)担当副委員長：長山 (リコー)、国際交流担当副委員長：藤井 (富士ゼロックス)
委員：中山 (富士ゼロックス)、中島 (キヤノン)、校條 (元キヤノン)、近藤 (コニカミノルタ)、岸 (リコー)、2020年度より：小林 (千葉大)、河野 (キヤノン) に加わって頂く。

(13) 事業委員会 委員長 吉田稔 (東芝テック)

- ・標準キャリア (担当：トナー技術部会) に関しては、新規標準品頒布はないが、今年度の頒布数は37セットで、昨年の40セットに対して少々減少しているが、依然、多くの会社より引き合いが来ている。特に電子写真関連企業ではない会社からの購入が増えており、粉体を扱う企業の製品管理に使用されている模様である。
- ・テストチャート (担当：画像評価技術部会) に関しては、No.4 チャートの頒布中止により、以前に比べて大幅に減少。(今年度の頒布は35枚で昨年より多少増加している)
- ・スクリーンゲージについては14セットの頒布があり、一昨年と同数であった。スクリーンゲージも在庫が底をついてきており、2020年度において新規製造を行う予定である。
- ・2008年6月に刊行した「デジタルプリンタ技術」シリーズ4巻は11年経過した現在でも販売が継続している。また昨年刊行されたインクジェット改訂版の販売は依然好調で、208冊という販売数になった。

シリーズ全体で2019年では累計約300冊が販売された。

5巻の累計の実売数は以下となる。(提供：東京電機大学出版局 2019年12月現在)。

- ① 電子写真 4刷 3,702部(前年+6)
- ② 電子ペーパー 1刷 1,712部(前年-2)
- ③ インクジェット 4刷 3,895部(前年+41)
- ④ ケミカルトナー 2刷 2,014部(前年+47)
- ⑤ 改訂版インクジェット 1刷 873部(前年+208)

[協賛依頼]

○2019年度

会期	タイトル	主催学会
5/22-24	第31回「電磁力関連ダイナミクス」シンポジウム (SEAD31)	日本機械学会
5/31	「画像情報処理と機械学習」技術講座	日本オプトメカトロニクス協会
6/27-28	第27回品質工学会研究発表大会	品質工学会
7/1-5	第3回アジア赤外線サーモグラフィコンファレンス	日本非破壊検査協会
7/11	色材分散講座—分散の基礎と応用	色材協会
8/21-22	第52回塗料基礎講座	色材協会
8/21-24	The 6th IEEEJ International Conference on Image Electronics and Visual Computing	画像電子学会
9/12	コンピューテーショナルイメージング技術講座	日本オプトメカトロニクス協会
9/12-13	第43回静電気学会全国大会	日本静電気学会
10/25	「空中ディスプレイ～高解像・高機能化～」セミナー	日本オプトメカトロニクス協会
11/12	講習会「静電気障災害の実例と対策」	静電気学会
11/15	第44回顔料物性講座	色材協会
11/16	色材講演会 —環境負荷低減、循環型社会実現へ取り組む技術—	色材協会(関西支部)
11/29	令和元年度 画像保存セミナー	日本写真学会
11/27-29	第26回ディスプレイ国際ワークショップ	映像情報メディア学会 SID
11/29-12/2	第5回アジア色彩学会 ACA2019 Nagoya	日本色彩学会
12/4-5	「IDCAE/MBD シンポジウム」	日本機械学会
12/6	「色彩光学-その基礎と新しい表色系」技術講座	日本オプトメカトロニクス協会
12/21-23	20th Annual Conference of ILASS-Asia 第28回微粒子化シンポジウム	日本液体微粒化学会
2/5-7	page2020	日本印刷技術協会
2/6-7	「デジタルカラー画像の解析・評価」技術講座	日本オプトメカトロニクス協会

3/5	「光学実験入門技」術講座	日本オプトメカトロニクス協会
3/5	第1回世界エンジニアリングデイ 記念シンポジウム	日本工学会
3/13-14	The 2nd International Symposium for Color Science and Art 2020	東京工芸大学

(14) 広報委員会 委員長 長山智男 (リコー)

- ・ 広報委員会では、会員への情報サービス提供活動のひとつとして、日本画像学会のホームページ (URL : <http://www.isj-imaging.org/isj.html>)、および学会公式 Facebook ページなど新しい媒体を活用した情報提供を行ってきた。
- ・ 2019 年度は、電子写真技術部会での Facebook ページ「電子写真倶楽部」の開設を承認した。加えて、2020 年度の国際会議 Print4Fab2020&ICAI2020 開催にともなった各種学会イベントに関して、カンファレンス委員会および事務局との連携によりそれぞれの開催時期および開催地を明確にしたうえで、会員の皆さまへの早期アナウンスを行った。
- ・ 今後は、学会事務局と連携したインフラ面の再構築の更なる強化が必要である。

(15) 選奨委員会 委員長 内藤裕義 (大阪府立大学)

選奨規定に則り、学会賞、功労賞、論文賞、研究奨励賞、会長特賞、フェロー表彰、技術賞、技術研究賞、日本画像学会コニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励賞について、それぞれ選考委員会を組織して受賞候補者を厳正に選考し、理事会に推薦した。

(16) 国際交流委員会 委員長 藤井雅彦 (富士ゼロックス)

国際交流委員会が中心となって企画・運営を行った画像関連学会連合会(FIS)主催の国際会議 International Conference on Advanced Imaging 2019 (ICAI2019)が、2019 年 7 月 4 日(ICJ2019 の 3 日目)に千葉大学西千葉キャンパスけやき会館で開催された(General Chair は千葉大学の小林範久教授)。2015 年の第 1 回から 4 年ぶりの開催となる ICAI2019 は、ポスターセッションのみの構成とし、英語によるショートプレゼン、ポスター展示を行った。昨年度の ICJ2018 にアジア各国から画像関連技術のキーマンを集め、2019 年、2020 年の日本で開催する国際会議(ICAI2019/ICAI2020)への協力依頼を行った。ICAI2019 の発表件数 23 件のうち海外からは 14 件であり、昨年来ていただいた韓国から 5 件、マレーシアから 9 件の発表があった。(中国、タイは発表申し込はあったが、予稿の提出がなかった)。ショートプレゼンの座長も日本、マレーシア、韓国の 3 カ国が担当した。今年の 11 月に開催する ICAI2020 は英語による口頭発表も行う予定であり、アジアからの参加国をさらに増やしたい。

日本画像学会が協賛している IS&T(Society for Imaging Science and Technology)主催の画像技術に関するカンファレンス Printing for Fabrication2019 (Print4Fab2019)が 2019 年 9 月 29 日から 10 月 3 日までサンフランシスコで開催された。日本画像学会会員がエグゼグティブプログラムチェア、

プログラムチェア、パブリシティチェア、そしてセッションチェアを務め開催に貢献をした。また、会期中に IS&T と日本画像学会のボードメンバーとの会議を行い、今年 11 月に ICAI2020 と併催して日本で開催する Print4Fab2020 について議論を行い、概要を決めた。しかしながら世界的な新型コロナウイルス感染拡大を鑑み、2020 年の合同開催は取りやめ、ICAI2020 は独立して予稿集発行のみの開催とする。合同開催は 2021 年秋に日本での開催を再度検討する。

日本画像学会の国内のイベントに海外からの講演者・発表者を招聘するための予算に 2019 年度も 3 件の申請があった(ICJ2019 : 2 件、技術研究会 : 1 件)。

2017 年度に掲げた学会国際化の指標は 2 年経過した今、一部は実行により達成しているが、まだ一部は未達成である。4 月から委員も増え、体制も変わるため、再度あるべき姿、目標、実行案の検討を行いたい。

(17) 関西委員会 委員長 狩野 篤 (京セラドキュメントソリューションズ株式会社)

関西シンポジウム 2019

実行委員長：森川 貴之 (三菱製紙株式会社)

2019 年 5 月 17 日(金)9:30 より京都市産業技術研究所において、2019 年度関西シンポジウムが開催されました。『多様化する画像技術とこれからの可能性』～ここまでの驚きの展開！～というテーマの下、従来とは異なる新しい価値を提供する画像技術に焦点を置き、多岐に渡る分野での取り組み事例をご紹介頂きながら、パネルディスカッションでは今後の画像技術の可能性について議論を深めました。

講演では、テキスタイル捺染の現状、軟包装用水性インクジェットインクの開発事例、新規情報埋め込みコード「スクリーンコード」の応用事例、スパースモデリングの画像技術への展開、画像処理手法の改善による処理の高効率化など、幅広い分野にわたり各分野でご活躍中の講師の方々にご講演頂きました。その後のパネルディスカッションでは講師をパネラーとして迎え、今後の普及の見通しや開発にあたって苦労した点、将来の夢について伺いながら意見交換をしました。講演からは窺い知れない開発者の深い想いに触れることができ、内容の濃い議論が出来ました。

来場者のアンケートにおいても、他分野の取り組みを聴くことができ知見が深まったとの感想も寄せられており、今回のシンポジウムは幅広い分野から画像技術者にとって関心の高い講演を集めたことで有意義な議論が出来たと考えています。

参加人数:46 人(会員 38 名、非会員 2 名、学生 6 名)。

【講演内容】

- ・テキスタイル捺染 -アナログとデジタルを比べてみる-

伊藤 高廣 (アドバンスコンサルティングパートナーズ)

- ・軟包装用水性インクジェットインクの開発

福田 輝幸 (花王株式会社)

- ・見えないコード「スクリーンコード」の可能性

岸上 郁子 (株式会社アポロジャパン)

- ・スパースモデリングによる画像技術への展開

五十嵐 康彦 (科学技術振興機構)

・安価な IoT 端末上で動作する顔映像からの眠気推定技術

辻川 剛範 (日本電気株式会社)

【パネルディスカッション】

座長: 廣島 進 (京セラドキュメントソリューションズ株式会社) パネラー: 講演者の皆様

(18) 財務委員会 委員長 服部好弘 (コニカミノルタ)

- ・ 2019年度第1回財務委員会(5/10)において、2018年度収支決算を行った。会計士による財務チェックと監事による監査を受けた後、2019年度第1回理事会の決議を経て2019年度総会第3号議案として起案し、2018年度決算の承認を得た。
- ・ 2019年度予算は、18年度の創立60周年行事が収束し、通常年ベースの予算編成とした。10月からの消費税率改定に伴う影響を試算したところ、影響は少ないと判断し、価格改定については、19年度は据え置きとし、情勢を伺うこととした。これまでの経費節減体質を維持して経費を抑え、事業活動収支83万円の黒字予算を立案し、2018年度第6回理事会の承認を得た。
正会員会費収入は、会員漸減基調から900人台ベース復帰を目標とし720万円を計上。
研討・研究会参加費・開催費は、2017年までの通常年実績をベースに新規研究会立上による増額を見込み、985万円を計上。
事業支出の部は、10月からの消費税UP分を考慮し18年度実績にて試算分を上積み。
ICJ千葉開催に伴う事務員の出張宿泊費分を事務員費に上積み。
- ・ 1月末時点での事業活動収支の見込みとしては約400万円の黒字となる。
収入の部では、4DFF研究会立上による会費収入(予算未計上)が増額、試験標準品頒布収入が標準キャリアの頒布が拡大し、当初予算を上回る事業活動収入が見込まれる。
- ・ 支出の部では、会誌発行費が想定以上に低減し、そのほかの事業費支出についても消費増税影響は少なく、予算額を大幅に下回っている。
- ・ 2019年度第2回財務委員会(12/10)において、会計処理規程に則り2019年度半期決算を行い、監事による監査を受けた後、2019年度第5回理事会に報告し承認を得た。

(19) 特別講演会

2020年3月13日 評議員会の後、横浜国立大学 岡嶋 克典教授による「画像の質感制御：現状と展望」を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため評議員会を中止としたことから、講演会も中止とした。

(20) 技術研究会 技術委員会 佐藤利文 (東京工芸大学)

1. 第1回 日本画像学会技術研究会 (通算第141回)

2019年9月10日（金）日本消防会館大会議室にて、インクジェット技術部会主催による2019年度第1回 日本画像学会技術研究会（通算第141回）『インクジェット技術の進化と多様な市場への展開』 - インクジェットのたゆまぬ挑戦とさらなる期待 - を開催した。有料参加人数は99名（会員：83名、非会員：15名、学生：1名）であった。

今年も昨年に引き続きインクジェットの新規市場への挑戦を取り上げたが、今年は市場からの視点を交えた講演内容にした。

【講演内容】

- 1) 軟包装印刷での水性インクジェットインクの高機能化：竹野 泰陽（花王）
- 2) プロダクションデジタルを実現するコダックの水性&コンティニアステクノロジーの優位性：河原 一郎（コダック合同会社）
- 3) Digital Printing with Water Based Ink for Flexible Packaging：Michael Mogridge（Landa）
- 4) HP Latex テクノロジーで相乗拡大するアプリケーション事例：霄 洋明（日本HP）
- 5) 生産設備としてのインクジェットプリンターとビジネス：高橋 一義（トライテック）
- 6) インクジェット用色素（INK-JET COLORS）の販売と可食性食用インクを搭載した「Food-INK-JET 技術」：佐藤 東一（ニューマインド）
- 7) 座談会「様々な市場に広がるインクジェット技術」

2. 第2回 日本画像学会技術研究会（通算第142回）

2019年10月18日（金）、化学会館ホールにて、電子ペーパー/フレキシブル技術部会主催の技術研究会「電子ペーパー/フレキシブル技術研究会」を開催した。今年は『IoTと電子ペーパーの新展開』というタイトルで、IoTに関連する講演をお願いし、部会課題として討議した「IoTと電子ペーパー」についても講演を行った。

参加者は、64名だった（正会員9名、維持会員1名、協賛学会からの参加者11名（SID日本支部11名）、非会員10名、学生9名、講演者10名、デモ展示4名、部会委員12名（うち講演者との重複2名））。一般参加者は40名で、昨年より減少した。日本画像学会会員以外の協賛学会会員および非会員の参加者が約半数を占めるのは例年通りである。昨年に引き続きSID日本支部に協賛していただき日本画像学会会員参加数より多い11名の参加者があった。参加者の半数以上はディスプレイ技術の関係者であり、日本画像学会の守備範囲を広げることに貢献できていると考えている。今年は、デモ展示の講演の時間も設け、展示だけでなく説明の時間を別にとったことで聴講者の理解を深めることができ好評だった。

【講演内容】

- 1) Retro-Reflective eTIR Display Technology for ePaper Applications：坂井 徹（CLEARink Displays）
- 2) IoTとスマートテキスタイルを応用した生活創造技術：才脇 直樹（奈良女子大学）
- 3) 切紙構造・シワをつかったストレッチャブル電子デバイスの基盤技術：武居 淳（産業技術総合研究所）
- 4) 展示プレゼン；E Inkの最新技術/製品：橋本 圭介（E Ink Japan）
- 5) 展示プレゼン；電子ペーパーを活用した電柱広告：上杉 充、品川 宜昭（パナソニック）、小

藤田 淳二（東電タウンプランニング）

- 6) 展示プレゼン；フィルムなどの耐久性試験機：佐々木 寿朗（ユアサシステム）
- 7) フレキシブル逆構造有機ELデバイス：森井 克行（大阪大学/日本触媒）
- 8) フレキシブル基板に最適な超低CTEポリイミドフィルム：土屋 俊之（ゼノマックスジャパン）
- 9) フレキシブル機能フィルム：藤村 佳（尾池工業）
- 10) 部会課題：IoTと電子ペーパー：吉田 学（電子ペーパー/フレキシブル技術部会（産総研））

【展示】

奈良女子大学、パナソニック、E Ink、ユアサシステム、ゼノマックスジャパンの4社1大学

3. 第3回 日本画像学会技術研究会（通算第143回）

2019年10月24日（木）午後日本印刷会館にて、サーマル記録技術部会主催による本年度第3回の技術研究会として開催。当日は48名（会員25名、非会員16名、学生1名、講師6名）の皆様にご出席いただき、活発な質疑応答、議論が交わされた。

今回は『モバイルフォトプリンタの最新動向』～広がり続けるサーマルプリンタ市場～というテーマにて6件のご講演をいただき、未だに生産台数ベースでは右肩上がりに伸びているサーマルプリンタの市場状況や、サーマル記録の基礎の部分や今後の応用展開への期待について議論がなされた。今回の研究会で取り上げた基礎の講演は参考になったとともに、学術の観点でこういった研究会の場の提供が学会の役割として重要であることが示唆された。

【講演内容】

- 1) サーマルプリンタ状況と昇華型フォトプリンタ動向：寺尾 博年（アルプスアルパイン）
- 2) フォトプリンタ基礎：「1DCAE 概念とサーマル印刷の熱設計」：福江 高志（金沢工業大学）
- 3) フォトプリンタ基礎：「給紙ローラと用紙の接触と摩擦」：月山 陽介（新潟大学）
- 4) Zink プリンタ動向：阿部 栄文（アルプスアルパイン）
- 5) 活況なモバイルサーマルプリント端末の動向とプリントヘッド技術：小林 大輝（ローム）
- 6) インスタント写真とチェキについて：藤井 武（富士フイルム）

4. 第4回 日本画像学会技術研究会（通算第144回）

2019年11月8日（金）に日本印刷会館にて、トナー技術研究会主催の2019年度第4回日本画像学会技術研究会（通算第144回）『トナー&粉体特性のマクロからマイクロまでの観察・計測・分析技術』を開催した。今回の研究会は、創立60年の節目からの新たなスタートとなる研究会であったことから、トナー及び粉体特性の観察・計測・分析技術に関して基本から新たな取り組みまでの幅広い話題を集めた研究会とした。研究会参加者数は33名（講師・委員・報道を除く）で、参加者の特徴は、アンケート（回答者数28名）回答で見ると30代が46%と半数近くを占め、40代以下でまとめてみた場合では85%ということで、基本的な技術開発から新たな取り組みに関することを実際に行っている方が多く参加されているような傾向であった。また、フリー討論の時間においては、時間を過ぎても多くの方々が見意見交換を行っていて、参加者と講演者の双方にとって非常に有意義な研究会であった。

【講演内容】

- 1) 粉体特性計測技術と測定装置の概説：笹辺 修司（ホソカワミクロン）
- 2) トナーの微細観察・分析技術：二宮 正伸（富士ゼロックス）
- 3) システム&生産性に対応させた現像剤特性の設計・分析技術：伊藤 昇（元コニカミノルタ）
- 4) 標準キャリアを用いた種々粉体の帯電特性比較：多田 達也（トナー技術部会）
- 5) 定容積せん断試験による粉体流動性評価の指標および新たな指標の提案：羽多野 重信（ナノシーズ）
- 6) 医薬品乾式微粒子コーティングにおける材料・装置設計とモデル構築：安永 峻也（愛知学院大学）
- 7) 飛行時間型中性子小角散乱法による粉粒体の構造解析：小泉 智（茨城大学）

5. 第5回 日本画像学会技術研究会（通算第145回）

2020年1月31日（金）国立オリンピック記念青少年総合センター、電子写真技術部会主催の2019年度第5回 日本画像学会技術研究会『電子写真技術の挑戦』- デジタル化、カラー化の次の進化は自分たちが決める -を開催した。

オフィス業務の効率化を目指して発明された電子写真技術を取り巻く環境が大きく変化している。デジタルネイティブ世代が社会で活躍し始めることにより、オフィスでのワークスタイルが今後も継続的に変わっていくことが予想される。また一方で、デジタルデータが隅々まで流通することに伴い、出版・印刷におけるデジタル化が加速している。様々な物理現象のすり合わせを行い進化してきた電子写真が今後どのような方向に向かうのか、または新たな産業分野を切り開くために、どの様な方向に向かうべきかを所属組織の壁を超えて、若手技術者の皆さんとともに大いに議論した研究会となった。

また、今回の研究会では3件の全体講演に続いて、参加者全員によるワールド・カフェを開催した。ワールド・カフェとは、カフェでくつろいでいるようなリラックスした雰囲気で開催することで、メンバーの組み合わせを変えながら、4～5人単位の小グループで話し合いを続け、あたかも参加者全員で話し合っているような一体感を持った対話を実現するものである。今回は、研究会に参加の皆様と、ワールド・カフェのスタイルで、これからの電子写真についての対話を深めたいと思い、企画した。日頃、職場で抱えておられる将来への不安や行き詰まり感を、同じ技術領域に関わるより多くの技術者と対話することで、今まで思いもよらなかった創造的なアイデアに遭遇し、全体として電子写真技術の可能性を拓ける機会となった。

【講演内容】

前半：電子写真技術のトレンドを知る

- 1) 2019年の電子写真技術を振り返る：服部好弘（コニカミノルタ）
- 2) Society5.0実現に貢献するVCSEL技術：小嶋友暁（富士ゼロックス）
- 3) 情報機器開発から社会課題の解決に挑戦する：森本浩史（コニカミノルタ）
- 4) ワールド・カフェの進め方：大川陽介（ローンディール）

後半：電子写真技術の将来を考える

- 5) ワールド・カフェ「これからの電子写真」：参加者全員

6) まとめ：米山博人（富士ゼロックス）

(21) シンポジウム報告 企画委員会 中井洋志 (リコー)

2019年12月6日(金)、日本消防会館大会議室(虎ノ門)にて、『イメージング技術の現在地と新たな価値への歩み』～この一年の振り返りと新時代への展望～と題し、2019年度関東シンポジウムを開催した。本年度の各画像技術分野の動向を、画像学会各分会からの代表者が最新製品を取り上げながら振り返るとともに、この一年に注目された新たな技術や応用について、第一線で活躍されている講演者に貴重な話を頂いた。参加者は66名であった。(講師、委員を含む)実施概要は以下の通りである。

日本画像学会 2019年度関東シンポジウム 『イメージング技術の現在地と新たな価値への歩み』 ～この一年の振り返りと新時代への展望～

■開催日時 2019年12月6日(金) 9:45～16:40

■場所 日本消防会館5F大会議室(東京都港区虎ノ門2丁目9番16号)

■参加費 会員/維持会員/協賛学会員 10,000円、非会員 17,000円、学生 2,000円

■プログラム

	時間	題目	講演者(敬称略)	所属
1	9:50-10:45	電子写真技術の最新動向 ～働き方改革、業務効率改善に貢献する技術～	服部 好弘	コニカミノルタ(株)
2	10:50-11:45	インクジェット技術の最新動向 ～2019年の動向～	関口 恭裕	ブラザー工業(株)
3	12:45-13:20	サーマル技術の最新動向 ～過去最高の生産数量を記録～	山本 忠司	ローム(株)
4	13:25-14:00	電子ペーパー/フレキシブル技術の最新動向 ～IoT社会実現に向けた電子ペーパー/フレキシブル技術の活用状況～	吉田 学	産業技術総合研究所
5	14:05-14:40	デジタルファブリケーション技術の最新動向 ～ものづくりバリューチェーンの革新～	酒井 真理	山形大学
6	14:50-15:40	文化財のデジタルアーカイブと活用 ～画像技術とデジタル文化財～	加茂 竜一	凸版印刷(株)
7	15:45-16:35	リチウムイオン二次電池製造へのインクジェット印刷 技術の応用	栗山 博道	(株)リコー

(22) 技術講習会 事業委員長 吉田 稔 (東芝テック)

① 第83回技術講習会

「未来を切り開く画像技術の基礎と展望」と題して、2019年7月18日(木)、19日(金)の両日、東京工業大学すずかけ台キャンパス内すずかけホール(横浜市緑区)にて開催。

・参加人数は116名(119)で、昨年度に対して微減。参加者の内訳は正会員90名(86)、非会員20

名(33)、学生 6 名(0)。()内は昨年度

- ・参加企業/団体数は 58 社(59)、内、1~2 での参加は 45 社(45)でここ最近の多様化傾向が続く。
- ・シミュレーションは昨年度同様「インクジェット吐出シミュレーション」を実施、参加者 16 名(18)と好評。一部、電子写真シミュレーションを望む声もあった。
- ・展示会には 3 社(4)にご参加いただいた。(フォトロン様、ケーエヌエフジャパン様、アルテック様)多くの会社にご参加いただけるよう、施策を検討中。

<アンケート結果>

- ・参加者は例年と同様に、20 代 : 53%(50)、30 代 : 30%(28)の若手技術者が中心で、業務経験 1 年未満の参加者が 55%(50)を占めている。基礎知識の習得、社内教育の一環の習得を目的とする受講者が 91%を占め、若手技術者の育成の場としての役割を果たしている。そのためリピーターは 10%と少ない。
- ・業務担当分野は電子写真が 41%(54)、インクジェットが 37%(32)であった。一昨年は、インクジェットが 47%で電子写真の 37%を大きく上回り、昨年よりインクジェット技術講習をメイン会場に移した経緯がある。ここ 3 年をトータルすると、両者は均衡している。
- ・専門分野は従来通り化学が最多の 39%(42)であるが年々減少傾向にある。一方、機械系 19%(18)、電気・電子系 10%(6)で長期的に見て増加傾向。それに合わせて応用講習に駆動制御技術の講習を新設。
- ・参加に至った情報元は、例年通り「紹介」が最多で 84%(80)。(社内への紹介を引き続きお願いいたします)
- ・講義評価は「非常に役に立った/役に立った」が 93%と好評。特に「非常に役に立った」が 42%と高かった。
- ・展示会の出展社は昨年同様 3 社に留まり(フォトロン様・ケーエヌエフジャパン様・アルテック様)、参加者の満足度も低く、「非常に役に立った/役に立った」が 30%(34)だった。展示方法、運営方法を含め再考する予定。

以下、第 83 回技術講習会プログラム

(各社におかれましては、講師のご協力をいただき、ありがとうございました)

1日目：7月18日（木） 第1会場（多目的ホール）＜インクジェット各論・マーケット動向＞

時間	題目	講師	内容
9:30-11:00	インクジェットの流体力学入門	東京農工大学 田川 義之	インクジェットに関する現象を理論的に理解するための流体力学的な考え方を丁寧に解説する入門講座です。
11:15-12:25	3Dプリンタ概論とデジタルファブリケーション	富士ゼロックス(株) 藤井 雅彦	様々な方式の3Dプリンタの構成と特徴、応用分野について説明します。さらに3Dプリンタの効用を取り上げ、産業への影響について考察します。市場動向、および3Dデータや3Dプリンタの抱える技術課題と開発トレンド、開発状況を紹介します。
12:25-12:45	インクジェット関連展示会社様からのショートプレゼン	各社展示会社代表者	出展製品、技術に関する紹介
13:30-14:30	紫外線（UV）硬化 型インク概論	コニカミルタ(株) 朝武 敦	近年、サインージから商業印刷、工業印刷等さまざまな用途にUVインクが活用されている。本講演ではUVインクの原理、特徴、応用範囲について解説する。
14:45-15:45	インクジェットの評価技術	山形大学 酒井 真理	インクジェットの性能や品質を確立するためのヘッドの評価、インクの評価について解説する。
16:00-17:30	画像技術マーケット動向	山崎国際コンサルティング 山崎 弘	画像技術につき、マーケット動向を俯瞰する。特に、電子写真関連のマーケット動向、さらに、地域別のマーケットの動きを解説する。

1日目：7月18日（木） 第2会場（集会場）＜電子写真：入門講習・各論＞

時間	題目	講師	内容
9:30-11:00	電子写真プロセス基礎技術入門	キヤノン(株) 河野 信明	電子写真技術の歴史を振り返るとともに、電子写真プロセスの基礎及び概要についてわかりやすく解説します。
11:15-12:15	電子写真用現像剤の基礎	コニカミルタ(株) 白井 亜弥	電子写真現像剤、トナーに関してその基礎から最新の動向までを解説する。
12:15-12:35	電子写真関連展示会社様からのショートプレゼン	各社展示会社代表者	出展製品、技術に関する紹介
13:30-14:30	電子写真感光体の基礎 -動作原理と各層の役割紹介-	京セラドキュメントソリューションズ(株) 大井 宏信	電子写真感光体の基礎として、求められる機能、感光体の種類と構成、製造方法や技術動向について説明する。
14:45-15:45	電子写真の転写技術概論	富士ゼロックス(株) 吉岡 智章	乾式トナーを用いた電子写真方式の転写技術の基本原理解について説明します。
16:00-17:30	電子写真シミュレーション技術	富士ゼロックス(株) 中山 信行	電子写真プロセスと材料に関わる数値シミュレーション技術について、手法の概要と最新事例を紹介する。

1日目：7月18日（木） 第3会場（ラウンジ）＜シミュレーション実演講習＞

時間	題目	講師	内容
9:30-9:40	イントロダクション	富士ゼロックス(株) 長谷部 恵	
9:40-10:10	OpenFOAMとは	ブラザー工業(株) 石川 博幸	オープンソースであるOpenFOAMの概要、歴史、解析対象、ソルバー構成などを説明します。
10:10-12:00	実習1:毛細管シミュレーション（2次元）	富士ゼロックス(株) 田村 和也	OpenFOAMの自由表面ソルバー(interFOAM)を用いた簡単な課題を実習します。2次元毛細管現象を題材としOpenFOAMの基本的な計算手順に慣れて頂きます。
13:00-15:00	実習2:毛細管シミュレーション（軸対象2次元）	コニカミルタ(株) 加川 哲哉	実習1の課題（2次元毛細管現象）を軸対称2次元に拡張します。この実習を通して、メッシュ作成方法や可視化ツール(paraView)の使い方をマスターします。
15:00-17:00	実習3:インクジェット吐出シミュレーション	京セラドキュメントソリューションズ(株) 石田 英樹	実習2の課題をインクジェット解析に適用する方法を学びます。また、実習を通してインクジェット吐出メカニズムを学びます。

2日目：7月19日（金） 第1会場（多目的ホール）＜インクジェット：入門講習・各論・Q&A＞

時間	題目	講師	内容
9:00-10:30	インクジェットの方式の分類と特長、課題と対応	富士ゼロックス(株) 藤井 雅彦	インクジェット概論として、各種インクジェット方式の分類と特徴を説明し、その特徴を活かしてどういった応用に使われているかを紹介します。またインクジェットの歴史を振り返るとともに、今後のインクジェット進化の現状と課題、課題に対する取り組みを説明します。
10:40-11:35	インクジェットシステム技術	(株)リコー 江口 裕俊	インクジェットプリンタの構成要素や、印刷を行う際に必要となる課題と対応する要素技術について解説します。
12:35-13:35	インクジェットヘッド技術	キヤノン(株) 中島 一浩	インクジェットプリントヘッド技術の基礎（ピエゾ、サーマル、他）とその事例、及び最新のトピックスについて紹介します。
13:45-14:45	インクジェットプリンタの画像形成技術	セイコーエプソン(株) 角谷 繁明	入力画像データから、各ノズルに対応したドットON/OFF データを生成するまでの、画像形成技術の解説
14:55-16:25	インク/メディア技術	DIC(株) 岡田 真一 三菱製紙(株) 名越 広昇	インクジェット記録に用いられる種々のインクに関する基礎技術について紹介します。インクジェットメディアの基礎について解説するとともに、最近のトピックス等も紹介します。
16:35-17:15	インクジェット全体Q&A	全講師	5つの基礎講座の講師全員が会場に集まり、インクジェット技術に関する質問に答えます。基礎講座を通じた疑問だけでなく、基礎講座で取り上げた領域以外の質問でも構いません。技術講習会申し込み時に、質問を記載することもできます。

2日目：7月19日（金） 第2会場（集会室1） <電子写真各論・サーマル記録技術>

2日目：7月19日（金） 第2会場（集会室1） <電子写真各論・サーマル記録技術>			
時間	題目	講師	内容
9:30-10:30	画像位置精度向上のための駆動制御技術	(株)リコー 松田 裕道	近年プリンターは自動車同様に制御技術が必須となっています。今回は以下のメカトロ技術を中心に説明します。 ・色ずれ、濃度ムラ低減のため、感光体ドラムや中間転写ベルトの駆動制御 ・画像位置誤差低減のため紙姿勢（シフト、スキュー）の駆動制御
10:45-11:45	電子写真における定着プロセスの基本と技術動向	キヤノン(株) 林 康弘	電子写真における定着プロセスの基礎技術について解説する。
12:45-13:45	電子写真方式の複写機向け画像処理技術	(株)リコー 石井 博	電子写真方式の複写機で特徴的な画像処理技術に焦点を当てて解説する。
14:00-15:00	医療用感熱プリンター・メディアの市場動向	ソニー(株) 篠原 悟	ソニーにおける感熱プリンター/メディアの歴史と医療用各種感熱プリンターの市場動向について
15:15-16:45	電子写真におけるMBDと機能間影響	(株)ISIDIインテック 岡 建樹	電子写真技術におけるMBD活用事例と、すり合わせを適切に行うための機能間影響の見える化について紹介する

技術講習会実行委員会 委員長：小橋川 翔太（リコー） 委員：大柴 知美（コニカミノルタ）和田 光央（三菱ケミカル）、萬道 律雄（王子製紙）、山田 季（セイコーエプソン）、吉田 稔（東芝テック）、荻野 孝（富士ゼロックス）、稲葉 繁（富士ゼロックス）、茂村 芳裕（キヤノン）山崎 弘（元コニカミノルタ）、

事業委員長：吉田 稔（東芝テック） 事業委員：大橋 豊史（三菱ケミカル） 上原 康博（富士ゼロックス）

電子写真シミュレーション講習は、シミュレーション技術部会（長谷部委員：富士ゼロックス）との共同開催

<2020年度に向けて>

- ・引き続き基礎知識習得に重きをおき、若手技術者の専門技術習得の場とするための企画検討を進める。

“行きたい、行かせたい”と思う技術講習会に向けたプログラム作りを目指す。

- ① EP と IJ を中心とした入門・各論講習の継続
- ② 展示会の運営方法の工夫（講習会参加者の展示会への誘導など）
- ③ 講習会アンケート結果の講師へのフィードバック（ニーズとマッチした、よりよい講義のために）

- ・次回 84 回技術講習会は 9 月 24 日（木）、25 日（金）に、東京工業大学 すすかけ台キャンパスで開催予定。

（例年開催しているすすかけホールが耐震工事で使えないため、キャンパス内の別会場で開催）

② チュートリアル2019（秋季技術講習会）

「チュートリアル2019」～疑問・悩みにとことんお答えします～ と題して、10月31日(木)に京都工芸繊維大学にて開催。（関西委員会と連携し、ICJ Fall Meeting2019に併設）

夏の技術講習会の one-way 形式の講義からスタイルを変更し、参加者の理解度向上を目的としたチュートリアル形式とし、講演内容を絞って企画した。講演内容は夏の技術講習会プログラムより、電子写真分野3講座、インクジェット3講座について実施し、更に夏の技術講習会で行っていたシミュレーション実習講座を秋の講習会で初めて実施。参加人数は24名（EP分野 14名、IJ分野7名、シミュレーション3名、昨年は19名）で、年齢は20代、30代が約90%を占めた。参加目的は「基礎技術の習得、社内教育の一環」が約90%を占めた。講

義内容については、「非常に役に立った／役に立った」が 100%と好評。アンケートの感想では、IJ、EP とともに、基礎技術をわかりやすく丁寧に説明したことに関する感謝を数多くいただいた。来年度も関西委員会と連携し、12月4日に大阪府立大学「I-site なんば」で開催予定。

チュートリアル 2019 のプログラムは以下の通り。

No.	タイトル	講師
<電子写真講座>		
1)	電子写真プロセス基礎技術入門	キヤノン(株) 河野 信明 氏
2)	電子写真用現像剤の基礎	京セラ(株) 大井 宏信 氏
3)	電子写真の転写技術概論	富士ゼロックス(株) 吉岡 智章 氏
<インクジェット講座>		
1)	インクジェット方式の分類と特長、課題と対応	富士ゼロックス(株) 藤井 雅彦 氏
2)	インクジェットヘッド技術	キヤノン(株) 中島 一浩 氏
3)	インク/メディア技術	コニカミノルタ(株) 朝武 敦 氏
<シミュレーション実習講座>		
1)	イントロダクション	富士ゼロックス(株) 長谷部 恵 氏
2)	OpenFOAMとは	ブラザー工業(株) 石川 博幸 氏
3)	実習1：毛細管シミュレーション (2次元)	富士ゼロックス(株) 田村 和也 氏
4)	実習2：毛細管シミュレーション (軸対称2次元)	コニカミノルタ(株) 加川 哲哉 氏
5)	実習3：インクジェット吐出シミュレーション	京セラ(株) 石田 英樹 氏

(23) 4DFF 研究会 4DFF 運営委員長 藤井雅彦 (富士ゼロックス)

日本画像学会は Imaging を中心としたこれまでのスコープとは異なる新しい学術領域に取り組むため、今年4月に4DFF研究会を発足させた。4DFFとは4D and Functional Fabricationの略で、立体物(3D)に形以外の新たな機能や価値を創出する技術・応用領域のことである。4DFF研究会は日本画像学会の組織ではあるが、この領域を中心に研究・開発を進めているこれまでの画像学会のスコープ外の研究者・技術者がこの組織に参加しやすくするため、参加条件(メンバー)は日本画像学会個人会員に限定せず、会員でない人からは別途参加費(¥2,000/年)のみを徴収して参加できるようにした。(日本画像学会の個人会員は無料で加入できる)

4DFF研究会の取り組みとして、2019年度はコンファレンス(4DFF2019)開催、研究会開催(1回)、電子ジャーナル発行準備を行った。

コンファレンス(4DFF2019)

慶應義塾大学ファブ地球社会コンソーシアムとの共催で2019年10月10日(木)に、Conference on 4D and Functional Fabrication 2019 - New Paradigm over 3D Technology - (通称4DFF2019)を慶應義塾大学三田キャンパス北館ホールで開催した。

昨年度もこの技術領域を対象とした初めてのコンファレンス(4DFF2018)を開催し、全てのプログラム(19件)を招待講演で構成したが、今年(4DFF2019)は一般発表を募集し、口頭発表11件(キャンセル1件あり)、ショーケース[ショートプレゼン&展示]10件の応募があった。ISSEY MIYAMEのデザイナー宮前義之氏による「手とTEC：1枚の布の新たな可能性」の基調講演、4件の招待講演を含め合計25件の発表を行った。4DFF研究会の活動をサポートしていただいている協賛団体4

社による展示も行った。

参加者数合計は 165 名(発表者：21、招待講演者：5、実行委員：10 含む)となり、参加者数としては ICJ につぐ大きなイベントとなった。参加者の 36%、発表者に至っては 73%が大学関係者であり、この技術領域がまだ黎明期であり、大学を中心に研究されている状況を良く表している。また参加者の所属もこれまでの日本画像学会会員とは異なるところが多く、所属から見ても 4DFF が日本画像学会にとって新しい学術領域であることがわかる。来年度(4DFF2020)もコンファレンスのカバー領域(技術領域、サプライチェーン)を広げることを目指した発表募集、プログラム構成を行う予定である。

4DFF2019 の概要や開催レポートは、以下からも参照できます。

<https://sig4dff.org/conference/>

研究会

インクジェット技術交流会と合同で、世界最大の 3D プリンタの展示会でもある formnext2019 の報告会を 2019 年 12 月 19 日に開催し、20 名が参加した。

電子ジャーナル発行準備

4DFF 研究会の論文誌となる電子ジャーナル(The Journal of 4D and Functional Fabrication)を 2020 年 7 月に発行する準備を進めている。当面は年 1 回発行を予定しており、第 1 号の論文投稿締め切りは 2 月末である。このジャーナルは従来の日本画像学会論文誌とは別のオープンアクセスの電子ジャーナルになる。

2020年度学会暦(案)

2020年度																
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
月			1									1			1	
火			2									2			2	
水	1		3	ICJ2020 京都	1							3			3	
木	2		4	ICJ2020	2			1				4			4	
金	3	1	5	ICJ2020	3			2				5			5	
土	4	2	6		4		1					6			6	
日	5	3	憲法記念日	7	5		2					7			7	
月	6	4	みどりの日	8	6		3			1		8			8	
火	7	5	こどもの日	9	7		4			2	P4F&ICAI2020	9			9	
水	8	6	振替休日	10	245号発送	8				3	P4F&ICAI2020	10			10	
木	9	7		11		9	技術講習会	6		4	P4F&ICAI2020	11			11	
金	10	244号発送	8	12		10	技術講習会	7		5	P4F&ICAI2020	12	248号発送	7	11	
土	11	9	13		11	8				6	P4F&ICAI2020	13		8	12	
日	12	10	14		12	9				7		14		9	13	
月	13	11	15		13	10	山の日	14		8		15		10	14	
火	14	12	16		14	11	246号発送	15		9	247号発送	16		11	成人の日	
水	15	13	17		15	12				10		17		12	理事会	
木	16	14	18		16	13				11	理事会	18		13	17	
金	17	15	19		17	14				12		19		14	18	
土	18	16	20		18	15				13	4DFE シンポジウム	20		15	19	
日	19	17	21		19	16				14		21		16	20	
月	20	18	22		20	17				15		22		17	21	
火	21	19	23		21	18	敬老の日	19		16		23		18	22	
水	22	20	24		22	19	秋分の日	20		17		24		19	23	
木	23	21	25		23	20	海の日	21		18		25		20	24	
金	24	22	26	関東シンポジウム 年次総会 複写機遺産	24	スポーツの日	21			19		26		21	25	
土	25	23	27		25	22				20		27		22	26	
日	26	24	28		26	23				21		28		23	27	
月	27	25	理事会	29	27	24				22		29		24	28	
火	28	26		30	28	25				23	勤労感謝の日	30		25	29	
水	29	昭和の日	27		29	理事会 理事研修会	26			24		31		26	30	
木	30	28			30		27			25				27	31	
金		29			31		28			26				28		
土		30					29			27				29		
日		31					30			28				30		
月							31			29				31		
火										30						

第 123 回日本画像学会年次大会

The 123rd Annual Conference of the Imaging Society of Japan

“ *Imaging Conference JAPAN 2019* ” Program

協創で築く豊かな画像文化

～ 新技術領域への展開 ～

Enriched Imaging Culture by Co-innovation

～ Expansion to new technology area ～

- ◆ 日時
Date 2019 年 7 月 2 日 (火) , 3 日 (水) , 4 日 (木)
July 2 (Tue.), 3 (Wed.), 4 (Thu.), 2019
- ◆ 会場
Place 千葉大学 西千葉キャンパス けやき会館および工学系総合研究棟 II
〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町 1-33
Keyaki Kaikan and Engineering Research Building II, Nishi-Chiba Campus
Chiba University
1-33, Yayoicho, Inage Ward, Chiba-shi, Chiba, 263-8522 Japan
- ◆ 主催
Sponsored by 一般社団法人 日本画像学会
The Imaging Society of Japan
- ◆ 共催
Cosponsored by 画像関連学会連合会
国立大学法人千葉大学
Federation of Imaging Society
National University Corporation Chiba University
- ◆ 協賛
In Cooperation with 一般社団法人 日本印刷学会 (春季研究発表会開催 7/4-5)
一般社団法人 日本写真学会 (年次大会開催 7/4-5)
一般社団法人 画像電子学会
一般社団法人 日本視覚学会
The Japanese Society for Printing Science and Technology(Spring Meeting on 7/4-5)
The Society of Photography and Imaging of Japan (Annual Meeting on 7/4-5)
The Institute of Image Electronics Engineers of Japan
Vision Society of Japan
- ◆ 協力
Supported by 公益財団法人 ちば国際コンベンションビューロー
Chiba Convention Bureau and International Center
- ◆ 問い合わせ先
Reference 日本画像学会事務局
〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5 東京工芸大学内
The Imaging Society of Japan Bureau
c/o Tokyo Polytechnic University
2-9-5 Honcho, Nakano-ku, Tokyo 164-8678, Japan
TEL 03-3373-9576 / FAX 03-3372-4414
URL <http://www.isj-imaging.org/isj.html>

Imaging Conference JAPAN 2019 Event Map

in Nishi-Chiba Campus
Chiba University

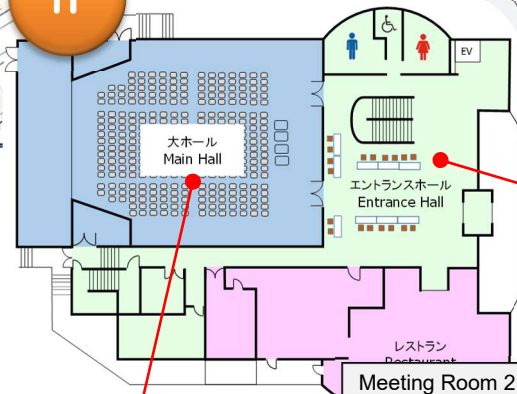


Food Court:
7/2
17:15 - 19:00
• Social Hour

Conference Room:
7/2 - 7/4
• Track II



1F



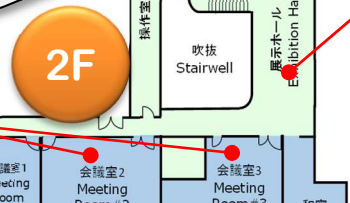
Entrance Hall
7/2 - 7/3
• Exhibition
Imaging devices and instruments

Exhibition Hall & Meeting Room 3
7/2 - 7/3
• Registration

Main Hall:
7/2
• Keynote Speech
• Award Ceremony
7/2 - 7/3
• Track I
7/4
• Interactive Session
Short Presentation

Meeting Room 2, 3
7/4
• Inkjet Printhead
Showcase

Reception Hall
7/2 - 7/3
• Imaging Technology
Artifacts Gallery
• Laboratory Introduction
Corner
7/4
• Interactive Session
Poster Presentation



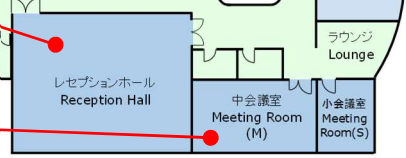
2F

Meeting Room 2
7/3
• Workshop

Meeting Room 4
7/4
• Poster Award

Meeting Room (M)
7/4
• International
Roundtable

3F



Imaging Conference Japan 2019 Time Table

	7月2日(火) / July 2 (Tue.)				7月3日(水) / July 3 (Wed.)				7月4日(木) / July 4 (Thu.)								
	Keyaki Kaikan		Eng. Research Bld. II		Keyaki Kaikan		Eng. Research Bld. II		Keyaki Kaikan			Eng. Research Bld. II					
	1F エントランスホール	Track I 1F 大ホール Main Hall [MH]	3F レセプションホール Reception Hall [RH]	Track II 2F コンファレンスルーム Conference Room [CR]	1F エントランスホール	Track I 1F 大ホール Main Hall [MH]	3F レセプションホール Reception Hall [RH]	2F 会議室 2	Track II 2F コンファレンスルーム Conference Room [CR]	Track I 1F 大ホール Main Hall [MH]	3F レセプションホール Reception Hall [RH]	3F 中会議室	3F 会議室 4	2F 会議室 3	2F 会議室 2	Track II 2F コンファレンスルーム Conference Room [CR]	
		320	100	120		320	100	40	120	320	100	20	30	20	40	120	
8:30	受付開始 (Registration)																
9:00	受付開始 (Registration)																
10:00	10:00-17:00 展示会 Exhibition	10:00-開会挨拶				9:30-10:30 電子写真システム Electro-photographic System		9:30-10:30 3Dプリンティング 3D Printing		9:30-10:30 インタラクティブ ショートプレゼンテーション* Interactive Session Poster Presentation						9:30-10:20 2.5D・加飾 キーノート講演 2.5D,Decorative Printing Keynote Talk	
10:10-11:00		10:10-11:00 キーノートスピーチ Keynote Speech									*日本写真学会、日本印刷学会との3学会合同開催						
11:00-11:30		11:00-11:30 論文賞記念講演 Paper Award				10:50-11:50 電子写真デバイス(3) Electro-photographic Device (3)		10:50-11:50 デジタルファブリケーション Digital Fabrication		10:30-12:00 インタラクティブ ショートプレゼンテーション(I(ICA))* Interactive Session Poster Presentation (ICA)							10:30-11:20 2.5D・加飾パネル ディスカッション 2.5D,Decorative Printing Panel Discussion
11:30-12:00		11:30-12:00 研究奨励賞講演 Research Grant															11:30-12:00 2.5D・加飾特別講演 2.5D,Decorative Special Talk
12:00		12:10-12:30 表彰式 Award Ceremony															
13:00		13:10-14:10 インクジェット(1.1) ヘッド・システム(1) Inkjet (1.1) Head/System(1)				12:50-14:10 インクジェット(3) インク・メディア Inkjet (3) Ink/Media											
14:00		14:25-15:25 インクジェット(1.2) ヘッド・システム(2) Inkjet (1.2) Head/System(2)				14:25-15:15 インクジェット(4.1) シミュレーション(1) Inkjet (4.1) Simulation(1)											
15:00		15:40-17:00 インクジェット (2) 評価・解析 Inkjet (2) Evaluation,Analysis				15:30-16:30 インクジェット(4.2) シミュレーション(2) Inkjet (4.2) Simulation(2)											
16:00						16:45-17:25 インクジェット(5) 画像処理 Inkjet (5) Image Processing											
17:00																	
18:00																	
19:00																	

特別企画／Special Events(1)

Keynote Speech

7/2(火)

**ディスラプティブ(破壊的)イノベーションの脅威と勝機
～破壊される側から破壊する側になるために**

関西学院大学 玉田 俊平太

**Opportunities and Threats by Disruptive Innovation
-The Ways to be a Disrupter rather than to be
Disrupted**

Schumpeter TAMADA (KWANSEI GAKUIN University)

Awarded Lecture

7/2(火)

2017 年度論文賞受賞記念講演

Commemoration Lecture of the Paper Award 2017

**実観察環境における光沢紙写真プリント画像の黒濃度及び
色再現の“見え”定量化**

キヤノン株式会社 原 勝志, 金子 卓巳, 柳内 智和

New Evaluation Method for the "Appearance" of Black and
Color, in the Glossy Prints in the Observation Environment

Katsushi HARA, Takumi KANEKO, Tomokazu YANAI (Canon Inc.)

7/2(火)

2017 年度日本画像学会コニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励賞
受賞講演

Commemoration Lecture of Konica Minolta Research
Encouraging Grant 2017

有機無機ペロブスカイト自己組織性量子井戸の光・電子物性

佐賀大学 江良 正直

Optical and electronic properties of organic-inorganic
perovskite self-organized quantum wells

Masanao ERA (Saga University)

特別企画／Special Events(2)

Inkjet Session

招待講演 Invited Paper

7/3(水)

インクジェット法における固体膜形状予測のための数値シミュレーション

九州大学 深井 潤

Numerical Simulation to Predict Morphologies of Solid Films on Inkjet Method

Jun Fukai (Kyushu University)

2.5D, Decorative Printing Session

セッションキーノート Session Keynote

7/4(木)

2.5D Printing: Bridging the Gap Between 2D and 3D Applications

Carinna Elizabeth PARRAMAN (University of the West of England), Maria V. ORTIZ SEGOVIA (Oc Print Logic Technologies)

特別講演 Special Talk

7/4(木)

Historical 2.5D photomechanical printing

Susanne KLEIN, Carinna PARRAMAN (University of the West of England)

7/4(木)

2.5D・加飾プリンティング パネルディスカッション

2.5D, Decorative Printing Panel Discussion

7/4(木)

2.5D・加飾プリンティング デモセッション

2.5D, Decorative Printing Demonstration Session

特別企画／Special Events(3)

7/2(火)

7/3(水)

[SE-1] 7/2 12:00-17:00, 7/3 9:30-16:00
(レセプションホール / Reception Hall)

定員なし (事前申込不要)
参加費無料

Imaging Technology Artifacts Gallery

画像技術による出力物ギャラリー

企画: 企画委員会

Planner: Planning Committee

日本画像学会の関わる様々な技術は紙への印刷を原点としているが、技術や社会の進展により、現在では幅広い分野への応用が広がり、今後もさらなる展開が期待される。本企画は、各方面から様々な応用例を一堂に集め、実際に見ることができる貴重な機会である。応用の広がりを実感し、さらなる新たなアイデアのきっかけとなることを期待する。

Laboratory Introduction Corner

研究室紹介コーナー

日本画像学会の技術分野に関わる大学や研究機関の研究室の研究内容やその特色について紹介する。さらなる相互の理解や新たなコラボレーションのきっかけとなることを期待する。

特別企画／Special Events(4)

Inkjet Printhead Showcase

7/4(木)

[SE-2] 13:00-16:00
(会議室 2, 3 / Meeting Room 2, 3)

定員なし (事前申込不要)
参加費: 1,000 円

インクジェットヘッドショーケース

Inkjet Head Showcase

企画: インクジェット技術部会

Planner: Technical Committee on Inkjet Technology

インクジェットヘッドは微小な液滴を精密に噴射するインクジェット技術の基幹要素であるが、通常は目には見ることができない。本企画は、各社のインクジェットヘッドを一堂に集め展示する貴重な機会である。昨年のICJ2018でも本展示を行ったが、実際に見るだけでなくその特徴、用途、市場での狙いなど知ることができる機会として大好評であった。今年はさらに会場も時間も拡大し、じっくり見られるようにするとともに、各社によるショートプレゼンテーションも予定しており、より深くインクジェット技術を理解し実感できる、またとない機会である。

特別企画／Special Events(5)

Workshop

7/3(水)

[WS-1]13:00-15:00
(会議室 2 / Meeting Room 2)

定員 20 (要事前申込)

参加費:1,000 円

画像技術のイノベーションを考える

Let's think about innovation in imaging technology

企画: 長山 智男(技術委員会 新技術探索部会)

Planner: Norio NAGAYAMA, Technical Committee to Create Innovation Technology

司会: 長山 智男(技術委員会 新技術探索部会)

Facilitator: Norio NAGAYAMA, Technical Committee to Create Innovation Technology

日本画像学会は、1958年に電子写真学会として発足してから、電子写真、ノンインパクトプリンティングを中心とするハードコピーに関する新しい技術(材料、デバイスやプロセスなど)、そして、出力に必要な画像入力、画像処理の分野の技術分野を扱って発展してきた。また、1998年には、学会名を日本画像学会として、取り扱う分野にエレクトロニックイメージングを含むデジタル画像技術を加え、さらにここ数年では3DP技術などへも拡大してきている。

昨年(2018年)に60周年をむかえた今、日本画像学会は、更に新技術領域を切り開かなければならない時期に来ていると企画者は考えた。そこで本WSでは、これまで日本画像学会が取り扱ってきた技術群を概念化して捉えることで、その機能的価値を見つめなおし、新たな価値に結び付けるための注目すべき技術領域やターゲットアプリケーションを、討議の中で皆さんと見つけ出していきたい。

目次 / Content

第1日目 : 7月2日 (火) / July 2 (tue.)

[TRACK I] 10:00~17:00

A会場(けやき会館 1階 大ホール/320名収容)
Room A (The Main Hall, 1F-Keyaki Kaikan/ Capacity 320)

9:00 - 受付 / Registration

10:00 - 10:10

開会挨拶 / Opening Remarks

ICJ 2019 実行委員長 御厨 裕司 (キヤノン株式会社)

General Chair, Yuji MIKURIYA (Canon, Inc.)

10:10 - 11:00

キーノートスピーチ

Keynote Speech

座長: 中島 一浩 (キヤノン株式会社), 佐藤 利文 (東京工芸大学)

Session Chairs: Kazuhiro NAKAJIMA (Canon Inc.),
Toshifumi SATO (Tokyo Polytechnic University)

K-01 ディスラプティブ(破壊的)イノベーションの脅威と勝機

~破壊される側から破壊する側になるために.....

Opportunities and threats by disruptive innovation

- The ways to be a disrupter rather than to be disrupted

玉田 俊平太

Schumpeter TAMADA

(関西学院大学)

(KWANSEI GAKUIN University)

11:00 - 11:30

2017 年度論文賞受賞記念講演

Commemoration Lecture of the Paper Award 2017

座長: 中村 一希 (千葉大学), 朝武 敦 (コニカミノルタ株式会社)

Session Chairs: Kazuki NAKAMURA (Chiba University),
Atsushi TOMOTAKE (Konica Minolta, Inc.)

PA-01 実観察環境における光沢紙写真プリント画像の黒濃度及び色再現の“見え”定量化.....

New Evaluation Method for the "Appearance" of Black and Color, in the Glossy Prints in the Observation Environment

原 勝志, 金子 卓巳, 柳内 智和

Katsushi HARA, Takumi KANEKO, Tomokazu YANAI

(キヤノン株式会社)

(Canon Inc.)

11:30 - 12:00

**2017 年度 日本画像学会コニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励賞受賞記念講演
Commemoration Lecture of Konica Minolta Research Encouraging Grant 2017**

座長:長山 智男 (株式会社リコー), 佐藤 利文 (東京工芸大学)

Session Chairs: Norio NAGAYAMA (Ricoh Company, Ltd.),
Toshifumi SATO (Tokyo Polytechnic University)

KM-01 有機無機ペロブスカイト自己組織性量子井戸の光・電子物性

Optical and electronic properties of organic-inorganic perovskite self-organized quantum wells

江良 正直

(佐賀大学)

Masanao ERA

(Saga University)

12:00 - 12:30

表彰式/The Award Ceremony

12:30 - 13:10 Lunch Break

13:10 - 14:10

**インクジェット(1.1) ヘッド・システム(1)
Inkjet(1.1) Head/System(1)**

座長:藤井 雅彦 (富士ゼロックス株式会社), 関口 恭裕 (ブラザー工業株式会社)

Session Chairs: Masahiko FUJII (Fuji Xerox Co., Ltd.),
Yasuhiro SEKIGUCHI (Brother Industries, Ltd.)

IJ1.1-01 循環流路を二つ持つシアモードインクジェットヘッド

Shear-mode Piezo Inkjet Head with Two Recirculating Paths

濱野 光, 田中 聡一, 柴田 拓磨, 末富 靖彦, 比江島 一樹, 倉持 裕介

(コニカミノルタ株式会社)

Hikaru HAMANO, Souichi TANAKA, Takuma SHIBATA, Yasuhiko SUETOMI, Kazuki HIEJIMA, Yusuke
KURAMOCHI

(Konica Minolta, Inc.)

IJ1.1-02 高速インクジェットプリンタにおける乾燥技術の開発

Development of Drying Technology for High Speed Inkjet Printer

西村 秀明

(株式会社リコー)

Hideaki NISHIMURA

(Ricoh Company, Ltd.)

IJ1.1-03 imagePROGRAF TX シリーズを支える最新技術に関する報告

Report about the New Technologies to Support imagePROGRAF TX Series

阿部 智仁, 森部 謙志, 嶋川 政治

(キヤノン株式会社)

Tomohito ABE, Kenji MORIBE, Masaharu SHIMAKAWA

(Canon Inc.)

14:10 - 14:25 Authors' Interview

14:25 - 15:25

インクジェット(1.2) ヘッド・システム(2) Inkjet(1.2) Head/System(2)

座長: 中島 一浩 (キヤノン株式会社), 朝武 敦 (コニカミノルタ株式会社)

Session Chairs: Kazuhiro NAKAJIMA (Canon Inc.),
Atsushi TOMOTAKE (Konica Minolta, Inc.)

- IJ1.2-01** 高画質インクジェット枚葉印刷機 JetPress の高速化開発……………
The Development of Higher Performance Ink Jet Printer "JetPress Series" with High Image Quality.
篠原 衛 (富士フイルム株式会社)
Mamoru SHINOHARA (Fujifilm Corporation)
- IJ1.2-02** GTX ガーメントプリンタ開発……………
Development of GTX Garment Printer
西田 勝紀 (ブラザー工業株式会社)
Katsunori NISHIDA (Brother Industries, Ltd.)
- IJ1.2-03** インクジェットプリンタによるデジタルファインテクスチャプリント技術……………
Digital Fine Texture Printing Technology Using Inkjet Printer
大西 勝 (株式会社ミマキエンジニアリング)
Masaru OHNISHI (Mimaki Engineering Co., Ltd.)

15:25 - 15:40 Authors' Interview

15:40 - 17:00

インクジェット(2) 評価・解析 Inkjet(2) Evaluation, Analysis

座長: 宮戸 健志 (富士フイルム株式会社), 木村 里至 (セイコーエプソン株式会社)

Session Chairs: Takeshi MIYATO (Fujifilm Corporation),
Satoshi KIMURA (Seiko Epson Corporation)

- IJ2-01** 微小液滴同士の衝突を用いた高速界面ダイナミクスの観察……………
Observation of Fast Interfacial Dynamics with Micro-droplets Impingement
横田 涼輔, 平野 太一, 美谷 周二朗, 酒井 啓司 (東京大学)
Ryohsuke YOKOTA, Taichi HIRANO, Syujiro MITANI, Keiji SAKAI (The University of Tokyo)
- IJ2-02** 高粘度液体ピンチオフ挙動の解明……………
Pinch-off of viscous liquid ligament
大貫 甫, 田川 義之 (東京農工大学大学院)
Hajime ONUKI, Yoshiyuki TAGAWA (Tokyo University of Agriculture and Technology)
- IJ2-03** メディアに着弾したインク滴の増粘過程の計測……………
Measurement of Viscosity Increasing Process of Ink Droplets Landed on Media
原田 祥宏 (株式会社リコー)
Yoshihiro HARADA (Ricoh Company, Ltd.)
- IJ2-04** 近赤外分光法によるインクジェット印刷物の残留溶剂量評価技術……………
Analysis Technology of Residual Solvent of Printed Inkjet Ink by Near-Infrared Spectroscopy
森 英一, 大原 俊一, 大嶋 亨 (株式会社リコー)
Eiichi MORI, Shunichi OOHARA, Tohru OHSHIMA (Ricoh Company, Ltd.)

17:00 - 17:15 Authors' Interview

17:15 - 19:00 懇親会／Social Hour

大学会館 2階 フードコート／Food Court, 2F, University Co-op

15:20 - 15:40 Authors' Interview

15:40 - 16:40

電子写真デバイス (2) Electrophotographic Devices (2)

座長: 渡辺 靖晃 (富士ゼロックス株式会社), 吉田 健 (株式会社リコー)

Session Chairs: Yasuaki WATANABE (Fuji Xerox Co., Ltd.),

Ken YOSHIDA (Ricoh Company, Ltd.)

- EP2-01** 定着プロセスにおける濃度ムラの物理モデルと定量評価方法の構築
Construction of a Physical Model and a Quantitative Evaluation Method of Density Unevenness
on Fusing Process
安井 甲次, 加藤 恭平, 石黒 敬太, 依田 寧雄, 金森 昭人 (キヤノン株式会社)
Koji YASUI, Kyohei KATO, Keita ISHIGURO, Yasuo YODA, Akihito KANAMORI (Canon Inc.)
- EP2-02** ユーザの印刷物を観測することによるリアルタイム色安定技術
Real-time Color Stabilization Technology by Observing Users' Printed Documents
吉田 和輝, 牧野 洋二, 澁谷 竹志, 石崎 寛美, 高橋 浩 (株式会社リコー)
Kazuki YOSHIDA, Yoji MAKINO, Takeshi SHIBUYA, Hiroyoshi ISHIZAKI, Hiroshi TAKAHASHI (Ricoh
Company, Ltd.)
- EP2-03** PRISMAsync の内蔵 CMS と imagePRESS C10000VP のインラインセンサーの組み合わせによる
CMS
Introduction of Color Management System of PRISMAsync with imagePRESS C10000VP Inline
Sensor
相山 健司 (キヤノン株式会社)
Kenji AIYAMA (Canon Inc.)

16:40 - 17:00 Authors' Interview

第2日目：7月3日（水）／ July 3 (wed.)

[TRACK I]09:30~17:40

A会場(けやき会館 1階 大ホール/320名収容)
Room A (The Main Hall, 1F-Keyaki Kaikan/ Capacity 320)

9:00 - 受付/Registration

09:30 - 10:30

電子写真システム Electrophotographic System

座長:永瀬 幸雄 (キヤノン株式会社), 小森 智裕 (高性能駆動装置開発株式会社)

Session Chairs: Yukio NAGASE (Canon Inc.),
Chihiro KOMORI (HPMSD Corporation)

- EPs-01** 高画質と高生産性を両立した低温定着ホワイトトナーの開発……………
Development of Low-Melt White Toner for High Image Quality and High Speed Printing
村上 毅, 佐藤 修二, 二宮 正伸, 飯塚 章洋 (富士ゼロックス株式会社)
Tsuyoshi MURAKAMI, Shuji SATO, Masanobu NINOMIYA, Akihiro IIZUKA (Fuji Xerox Co., Ltd.)
- EPs-02** スペシャルカラートナーによるデジタルプリントの付加価値創出……………
Value creation of digital print using special color toner
鈴木 一己, 澤田 豊志, 黒瀬 克宣, 金子 晃大, 一杉 潤, 三國谷 健太郎, 吉田 光佑 (株式会社リコー)
Kazumi SUZUKI, Toyoshi SAWADA, Katsunori KUROSE, Akihiro KANEKO, Jun HITOSUGI, Kentaro
MIKUNIYA, Kosuke YOSHIDA (Ricoh Company, Ltd.)
- EPs-03** 特殊色専用印刷機:DocuColor7171P(Model-ST)の紹介……………
The Production Printer for Special Toner: Introduction of DocuColor7171P(Model-ST)
大野 智裕, 西海 秀文, 宮越 ゆき子 (富士ゼロックス株式会社)
Tomohiro ONO, Hidefumi NISHIGAI, Yukiko MIYAKOSHI (Fuji Xerox Co., Ltd.)

10:30 - 10:50 Authors' Interview

10:50 - 11:50

電子写真デバイス (3) Electrophotographic Devices (3)

座長:渡辺 靖晃 (富士ゼロックス株式会社), 古川 利郎 (ブラザー工業株式会社)

Session Chairs: Yasuaki WATANABE (Fuji Xerox Co., Ltd.),
Toshio FURUKAWA (Brother Industries, Ltd.)

- EP3-01** ローラ摩擦式紙粉検出法を用いた印刷用紙の評価……………
Evaluation of Printing Paper by Paper Lint Measurement Method by Roller Friction
浅田 岬, 新田 勇, 月山 陽介 (新潟大学)
Misaki ASADA, Isami NITTA, Yosuke TSUKIYAMA (Niigata University)

EP3-02 MFP の給紙性能に及ぼす紙粉形状の影響……………
Influence of Particle Shapes on Feeding Performance of MFP
月山 陽介, 津守 哲矢, 新田 勇 (新潟大学)
Yosuke TSUKIYAMA, Tetsuya TSUMORI, Isami NITTA (Niigata University)

EP3-03 個別要素法による現像剤攪拌領域及び現像マグネットローラ周囲の現像剤粒子搬送シミュレーション……………
Numerical Simulation for Developer Particle Flow around Mixer Auger and Magnetic Roller Based on Discrete Element Method
竹中 直¹, 佐藤 浩一郎¹, 大谷 晃文², 唐澤 正幸² (1東芝テック株式会社, 2コンカレント日本株式会社)
Sunao TAKENAKA¹, Koichiro SATO¹, Akifumi OTANI², Masayuki KARASAWA² (1TOSHIBA TEC CORPORATION, 2Concurrent Nippon Corporation)

11:50 - 12:10 Authors' Interview

12:10 - 12:50 Lunch Break

12:50 - 14:10

インクジェット(3) インク・メディア Inkjet(3) Ink/Media

座長: 名越 応昇 (三菱製紙株式会社), 奥田 貞直 (サカタインクス株式会社)
Session Chairs: Masanori NAGOSHI (Mitsubishi Paper Mills Limited),
Sadanao OKUDA (SAKATA INX CORPORATION)

IJ3-01 デジタルプリンティング用食品包装材向け顔料……………
Pigments for Food Package Digital Printing
山岡 徹 (BASF カラー&エフェクトジャパン株式会社)
Toru YAMAOKA (BASF Colors & Effects Japan Ltd.)

IJ3-02 テキスタイルプリンター用黒色反応インクの高濃度化技術……………
High-Density Technology for Reactive Dye Black Ink for Textile Inkjet Printers
仁藤 謙, 森本 仁士, 中村 正樹, 飯島 裕隆 (コニカミノルタ株式会社)
Ken NITO, Hitoshi MORIMOTO, Masaki NAKAMURA, Hirotaka IJIMA (Konica Minolta, Inc.)

IJ3-03 高発色高密着 UV 硬化型インクの開発……………
Development of Ultraviolet Curable Ink with High Color Development and High Adhesiveness
小林 広紀, 小島 智之, 中根 博紀, 長谷川 慎, 清水 孝幸, 高橋 聡 (株式会社リコー)
Hiroki KOBAYASHI, Satoshi KOJIMA, Hiroki NAKANE, Shin HASEGAWA, Takayuki SHIMIZU, Satoshi TAKAHASHI (Ricoh Company, Ltd.)

招待講演

Invited Paper

IJ3-04 乾式オフィス製紙機 PaperLab の商品開発……………
Product Development of The Dry Fiber Paper Recycling Machine
岡村 岳彦, 中村 昌英 (セイコーエプソン株式会社)
Takehiko OKAMURA, Masahide NAKAMURA (Seiko Epson Corporation)

14:10 - 14:25 Authors' Interview

14:25 - 15:15

インクジェット(4.1) シミュレーション(1)
Ink Jet(4.1) Simulation(1)

座長:酒井 真理 (山形大学), 加川 哲哉 (コニカミノルタ株式会社)
Session Chairs: Shinri SAKAI (Yamagata University),
Tetsuya KAGAWA (Konica Minolta, Inc.)

招待講演

Invited Paper

IJ4.1-01 インクジェット法における固体膜形状予測のための数値シミュレーション……………

Numerical Simulation to Predict Morphologies of Solid Films on Inkjet Method

深井 潤

(九州大学)

Jun FUKAI

(Kyushu University)

IJ4.1-02 蒸発・増粘を考慮したインクジェット着弾シミュレーション2……………

Droplet Deposition Simulation with the Consideration of Evaporation and Viscosity Change 2

門永 雅史

(株式会社リコー)

Masami KADONAGA

(Ricoh Company, Ltd.)

15:15 - 15:30 Authors' Interview

15:30 - 16:30

インクジェット(4.2) シミュレーション(2)
Ink Jet(4.2) Simulation(2)

座長:藤井 雅彦 (富士ゼロックス株式会社), 石川 博幸 (ブラザー工業株式会社)

Session Chairs: Masahiko FUJII (Fuji Xerox Co., Ltd.),

Hiroyuki ISHIKAWA (Brother Industries, Ltd.)

IJ4.2-01 インクジェット液滴の着弾挙動シミュレーション……………

Numerical Simulation of Inkjet Droplet Impact

福岡 誠之

(株式会社リコー)

Masayuki FUKUOKA

(Ricoh Company, Ltd.)

IJ4.2-02 高速インクジェット連帳機内の紙粉挙動およびヘッド冷却に関する気流シミュレーション……………

Air Flow Simulation of Paper Dust Behavior and Head Cooling in High Speed Inkjet System

長谷部 恵, 片岡 雅樹, 平塚 昌史, 真鍋 力

(富士ゼロックス株式会社)

Satoshi HASEBE, Masaki KATAOKA, Masashi HIRATSUKA, Chikara MANABE

(Fuji Xerox Co., Ltd.)

IJ4.2-03 用紙搬送気流の影響を受けたインクジェット液滴着弾位置の予測方法……………

Estimation Method of Inkjet Droplets Landing Position Affected by Paper Transport Airflow

齊藤 衛

(理想科学工業株式会社)

Mamoru SAITO

(RISO KAGAKU CORPORATION)

16:30 - 16:45 Authors' Interview

16:45 - 17:25

インクジェット(5) 画像処理 Ink Jet(5) Image Processing

座長: 角谷 繁明 (セイコーエプソン株式会社), 松木 眞 (元 NTT クオリス)

Session Chairs: Toshiaki KAKUTANI (Seiko Epson Corporation),
Makoto MATSUKI (former NTT Qualis)

- IJ5-01** 位置ずれ発生時のロバスト性に優れたハーフトーン技術の開発
Development of Halftone Technology with Excellent Robustness against Misalignment
角谷 繁明 (セイコーエプソン株式会社)
Toshiaki KAKUTANI (Seiko Epson Corporation)
- IJ5-02** フォトブルーインクを用いたインクジェットプリンタの開発
Development of Inkjet Printer Using Photo Blue Ink
岩崎 督, 鈴木 史子, 山縣 真由子 (キヤノン株式会社)
Osamu IWASAKI, Fumiko SUZUKI, Mayuko YAMAGATA (Canon Inc.)

17:25 - 17:40 Authors' Interview

第2日目：7月3日（水）／ July 3 (wed.)

[TRACK II]09:30～17:10 B会場(工学系総合研究棟II 2階 コンファレンスルーム/120名収容)
Room B (The Conference Hall, 2F-Engineering Research Building II/ Capacity 120)

9:00 - 受付/Registration

09:30 - 10:30

3D プリンティング 3D Printing

座長：江口 裕俊（株式会社リコー）、酒井 真理（山形大学）
Session Chairs: Hirotochi EGUCHI (Ricoh Company, Ltd.),
Shinri SAKAI (Yamagata University)

- 3DP1-01** 磁性材配合樹脂による3Dプリンター造形物内への情報書き込みと情報読み出し……………
Writing and reading information embedded inside 3-D printed objects by utilizing resin blended with magnetic material
シラパスパコオンウォン ピヤラット¹, 鈴木 雅洋¹, 鳥井 秀幸², 上平 員丈² (¹常磐大学, ²神奈川工科大学)
Piyarat SILAPASUPHAKORNWONG¹, Masahiro SUZUKI¹, Hideyuki TORII², Kazutake UEHIRA² (¹Tokiwa University, ²Kanagawa Institute of Technology)
- 3DP1-02** UV インクジェット方式フルカラー3Dプリンタ造形物の後処理工程の検討……………
Study on Post Process of Full Color UV Inkjet 3D Printing Model
大川 将勝, 本郷 健太, 古川 貴一 (株式会社ミマキエンジニアリング)
Masakatsu OKAWA, Kenta HONGO, Yoshikazu FURUKAWA (Mimaki Engineering Co., Ltd.)
- 3DP1-03** パラレルメカニズムによるステージ可動型プリントシステムを用いた積層造形法の検討……………
Study on Layered Modeling Using Stage Movable Type Printing System with a Parallel Mechanism
田沼 千秋, 田中 豊, 御法川 学 (学校法人 法政大学)
Chiaki TANUMA, Yutaka TANAKA, Gaku MINORIKAWA (Hosei University)

10:30 - 10:50 Authors' Interview

10:50 - 11:50

デジタルファブリケーション Digital Fabrication

座長: 西 眞一 (山形大学), 鈴木 幸栄 (株式会社リコー)

Session Chairs: Shinichi NISHI (Yamagata University),
Koei SUZUKI (Ricoh Company, Ltd.)

- DF1-01** 親撥パターンニング法を用いた微細配線形成と有機薄膜トランジスタ応用……………
High Resolution Electrodes Patterning Using Surface Wettability Control And Its Application to
Organic Thin-film Transistors
吉田 将太¹, 松浦 陽¹, 塩飽 黎¹, 竹田 泰典¹, 関根 智仁¹, 浜口 仁², 熊木 大介¹, 時任 静士¹ (¹山形大学,²JSR 株式会社)
Shota YOSHIDA¹, You MATSUURA¹, Rei SHIWAKU¹, Yasunori TAKEDA¹, Tomohito SEKINE¹, Hitoshi
HAMAGUCHI², Daisuke KUMAKI¹, Shizuo TOKITO¹ (Yamagata University, JSR Corporation)
- DF1-02** 電極表面修飾不要な p 型半導体を用いた印刷型相補型集積回路……………
Printed Organic Complementary Integrated Circuits using SAM Processing Free Polymer p-type
Semiconductor
竹田 泰典¹, 村瀬 友英², 関根 智仁¹, 松井 弘之¹, 熊木 大介¹, 時任 静士¹ (¹山形大学,²三菱ケミカル株
式会社)
Yasunori TAKEDA¹, Tomohide MURASE², Tomohito SEKINE¹, Hiroyuki MATSUI¹, Daisuke KUMAKI¹,
Shizuo TOKITO¹ (Yamagata University, Mitsubishi Chemical Corporation)
- DF1-03** リチウムイオン二次電池のインクジェット印刷……………
Inkjet Printing for Lithium-Ion Rechargeable Battery
鈴木 栄子, 栗山 博道, 柳田 英雄, 後河内 透 (株式会社リコー)
Eiko SUZUKI, Hiromich KURIYAMA, Hideo YANAGITA, Toru USHIROGOCHI (Ricoh Company, Ltd.)

11:50 - 12:10 Authors' Interview

12:10 - 13:30 Lunch Break

13:30 - 14:10

画質評価・色・感性イメージング Image Quality / Color Imaging / Imaging Sensibility and Vision

座長: 松木 眞 (元 NTT クオリス), 鎰谷 賢治 (株式会社リコー)

Session Chairs: Makoto MATSUKI (former NTT Qualis),
Kenji KAGITANI (Ricoh Company, Ltd.)

- SV1-01** 文書スキャン向け白黒2値／グレースケール自動判定技術……………
Automatic Black & White / Grayscale Selection Technology for Document Scanning
今泉 大作, 高島 真彦, 松岡 輝彦, 吉田 章人, 石田 祐司, 平山 千春, 平山 泰崇, 安達 靖, 下田 嘉英 (シ
ャープ株式会社)
Daisaku IMAIZUMI, Masahiko TAKASHIMA, Teruhiko MATSUOKA, Akihito YOSHIDA, Hiroshi ISHIDA,
Chiharu HIRAYAMA, Yasutaka HIRAYAMA, Yasushi ADACHI, Yoshihide SHIMODA (Sharp Corporation)

- SV1-02** 色と光沢が同時に異なる物体の統合質感の差の定量化と対象依存性……………
Metrics of Differences in Unified Appearance of Objects and the Generality
鑑谷 賢治¹, 永井 岳大², 松本 知久³, 内川 恵二³ (1株式会社リコー, ²東京工業大学, ³神奈川工科大学)
Kenji KAGITANI¹, Takehiro NAGAI², Tomohisa MATSUMOTO³, Kenji UCHIKAWA³ (1Ricoh Company, Ltd.,
²Tokyo Institute of Technology, ³Kanagawa Institute of Technology)

14:10 - 14:30 Authors' Interview

14:30 - 15:30

電子ペーパー1 Electronic Paper 1

座長: 面谷 信 (東海大学), 堀田 吉彦 (株式会社リコー)
Session Chairs: Makoto OMODANI (Tokai University),
Yoshihiko HOTTA (Ricoh Company, Ltd.)

- EI1-01** 銀析出型エレクトロクロミックミラーにおける反射率向上のための電極銀イオン供給量の検討……………
Effect of the amount of silver ions supplied to the electrode for Improving Reflectance of Silver
Deposition-based Electrochromic Mirror
杉田 隆紀, 中村 一希, 小林 範久 (千葉大学)
Takanori SUGITA, Kazuki NAKAMURA, Kobayashi NORIHISA (Chiba University)
- EI1-02** アセン系交流青色電気化学発光と複数色を可逆変調可能な銀析出型 EC による発光・反射表示素子……………
Emissive-reflective dual-mode display device by combining acene-based AC-driven
electrochemiluminescence with silver electrodeposition based multicolor electrochromism
榎本 光臣, 小林 範久, 中村 一希 (千葉大学)
Koshin ENOMOTO, Norihisa KOBAYASHI, Kazuki NAKAMURA (Chiba University)
- EI1-03** 異なるバンドギャップを有するアセン化合物間の電子移動を利用した電気化学発光増強……………
Enhancement of Electrochemiluminescence by using electron transfer between different
bandgaps
松本 祥吾, 中村 一希, 小林 範久 (千葉大学)
Shogo MATSUMOTO, Kazuki NAKAMURA, Norihisa KOBAYASHI (Chiba University)

15:30 - 15:50 Authors' Interview

15:50 - 16:50

電子ペーパー 2 Electronic Paper 2

座長: 小林 範久 (千葉大学), 森川 尚 (富士ゼロックス株式会社)
Session Chairs: Norihisa KOBAYASHI (Chiba University),
Takeshi MORIKAWA (Fuji Xerox Co., Ltd.)

- EI2-01** 紙/電子ペーパー/液晶タブレットへの書き込み作業性比較……………
Comparison of Workability on paper/e-Paper/tablet
藤崎 日奈子, 面谷 信 (東海大学)
Kanako FUJISAKI, Makoto OMODANI (Tokai University)

E12-02 液晶性有機半導体 Ph-BTBT-10 のモノレイヤー結晶構造によるコンタクト抵抗低減化……………
Improvement of Contact Property between Liquid Crystalline Organic Semiconductor Ph-BTBT-10 and Electrode Using Monolayer Crystal Structure
油田 海維, 半那 純一, 飯野 裕明 (東京工業大学)
Kai ABURADA, Jun-Ichi HANNA, Hiroaki IINO (Tokyo Institute of Technology)

E12-03 蒸気処理による液晶性有機トランジスタのコンタクト特性向上の検討……………
Improvement of Contact Characteristics for Liquid Crystalline Organic Transistors by Vapor Treatment
村上 和裕, 半那 純一, 飯野 裕明 (東京工業大学)
Kazuhrio MURAKAMI, Jun-Ichi HANNA, Hiroaki IINO (Tokyo Institute of Technology)

16:50 - 17:10 Authors' Interview

第3日目：7月4日（木）／ July 4 (thu.)

[TRACK I]09:30~12:00

A会場(けやき会館 1階 大ホール/320名収容)
Room A (The Main Hall, 1F-Keyaki Kaikan/ Capacity 320)

9:00 - 受付/Registration

— 日本画像学会、日本写真学会、日本印刷学会 合同セッション —
- Joint Session of ISJ, SPIJ and JSPST -

09:30 - 10:27

インタラクティブセッション ショートプレゼンテーション
Interactive Session, Short Presentation

座長:河野 信明 (キヤノン株式会社), 大川 祐輔 (千葉大学)
Session Chairs: Nobuaki KAWANO (Canon Inc.),
Yusuke OKAWA (Chiba University)

- INP-01f** 名古屋大学における原子核乾板自動塗布設備の構築に向けた研究(2)
Research for development of emulsion film production system at Nagoya University(2)
杉村 昂, 六條 宏紀, 中村 光廣, 長縄 直崇 (名古屋大学)
Kou SUGIMURA, Hiroki ROKUJO, Mitsuhiro NAKAMURA, Naotaka NAGANAWA (Nagoya University)
- INP-02i** 高品質インクジェット印刷における画像形成技術
Image Formation Technology in High Quality Inkjet Printing
浜本 貴紀, 河戸 孝二, 宮戸 健志 (富士フイルム株式会社)
Takanori HAMAMOTO, Koji KAWATO, Takeshi MIYATO (Fujifilm Corporation)
- INP-03f** 超微粒子 AgBr(I)結晶の荷電粒子による高密度励起下での電子状態の研究
Study on the electronic state of fine-grained AgBr(I) crystals under high density excitation by
charged particles
白石 卓也, 中 竜大 (名古屋大学)
Takuya SHIRAISHI, Tatsuhiko NAKA (Nagoya University)
- INP-04p** 医用3次元コンピュータグラフィックス画像に生じるモアレ低減技術
Moire reduction technology in medical three-dimensional computer graphics images
茂出木 敏雄 (大日本印刷株式会社)
Toshio MODEGI (Dai Nippon Printing Co., Ltd.)
- INP-05i** 冷却作用を施したゼラチンゲルへのマイクロ放電加工
Micro Electric Discharge Machining to Gelatin Gel Subjected to Cooling Action
秋山 亮太郎¹, 田村 隆行², 梅津 信二郎¹ (1早稲田大学, 2早稲田大学大学院)
Ryotaro AKIYAMA¹, Takayuki TAMURA², Shinjiro UMEZU¹ (1Waseda University, 2Graduate School of
Waseda University)
- INP-06f** 気球搭載エマルジョン望遠鏡の γ 線イメージング性能
Gamma-ray Imaging Performance of Balloon-borne Emulsion Telescope
六條 宏紀¹, 小宮山 将広¹, 中村 悠哉¹, 山本 紗矢², GRAINE collaboration³ (1名古屋大学, 2岡山理科大学,
3名古屋大 愛知教育大 ISAS/JAXA 岡山理科大 神戸大)
Hiroki ROKUJO¹, Masahiro KOMIYAMA¹, Yuya NAKAMURA¹, Saya YAMAMOTO², Graine
COLLABORATION³ (1Nagoya University, 2Okayama University of Science, 3Nagoya University Aichi
University of Education ISAS/JAXA Okayama University of Science Kobe University)

- INP-07i** 微細銀グリッド透明電極を用いた分散型 EL の発光特性
 Luminescent Properties of Powder Electroluminescent Device with Invisible Silver-Grid
 Transparent Electrode
 柳川 和貴¹, 竹田 直樹¹, 橋本 夏樹², 大沢 正人², 常安 翔太¹, 佐藤 利文¹ (¹東京工芸大学, ²株式会社アルバック)
 Kazuki YANAGAWA¹, Naoki TAKEDA¹, Natsuki HASHIMOTO², Masato OHSAWA², Shota TSUNEYASU¹,
 Toshifumi SATOH¹ (¹Tokyo Polytechnic University, ²ULVAC, Inc.)
- INP-08f** 電析-現像法銀ナノフィラメント修飾電極の金調色処理条件とバイオセンサー応答
 Gold toning conditions and biosensor response of silver-nanofilament modified electrodes by
 electrodeposition-development
 金谷 洸希, 斉藤 慎, 柴 史之, 大川 祐輔 (千葉大学)
 Hiroki KANAYA, Shin SAITO, Fumiyuki SHIBA, Yusuke OKAWA (Chiba University)
- INP-09p** 微細線を用いた薄膜フィルムへの視差バリア印刷
 Parallax barrier printing on thin film using fine lines
 植田 玲子, 窪田 健太郎, 山本 恭市 (凸版印刷株式会社)
 Reiko UEDA, Kentaro KUBOTA, Kyoichi YAMAMOTO (TOPPAN PRINTING CO., LTD.)
- INP-10i** 塗布型有機フローティングゲートトランジスタの光メモリ特性の改善と波長依存性
 Improved Optical Memory Characteristics and Wavelength Dependence of Solution-Processed
 Organic Floating-Gate Transistor Devices
 阿部 駿人¹, 永瀬 隆^{1,2}, 小林 隆史^{1,2}, 内藤 裕義^{1,2} (¹大阪府立大学, ²大阪府立大 分子エレクトロニックデバ
 イス研)
 Hayato ABE¹, Takashi NAGASE^{1,2}, Takashi KOBAYASHI^{1,2}, Hiroyoshi NAITO^{1,2} (¹Osaka Prefecture
 University, ²RIMED)
- INP-11f** 限定色画像の階層的スクランブル手法における視認困難性の向上
 An Improvement of Difficult Visibility for Hierarchical Scrambling Scheme of Palette-Based
 Images
 寺尾 拓海, 今泉 祥子 (千葉大学)
 Takumi TERAOKA, Shoko IMAIZUMI (Chiba University)
- INP-12i** ピレン誘導体を導入したネットワークポリマーの発光色に及ぼす膨潤溶媒の影響
 Effect of Swelling Solvent on Emission Color of Network Polymer Associated with Pyrene
 Derivatives
 三浦 悠香, 小林 範久, 中村 一希 (千葉大学)
 Haruka MIURA, Norihisa KOBAYASHI, Kazuki NAKAMURA (Chiba University)
- INP-13f** 可逆情報埋込みを用いた平面視と立体視の互換表示手法
 A 2D/3D Compatible Display Scheme Using Reversible Data Hiding
 安川 生馬, 今泉 祥子 (千葉大学)
 Ikuma YASUKAWA, Shoko IMAIZUMI (Chiba University)
- INP-14p** 4K・8K 放送用広色域カラーチャートの開発
 Development of wide color gamut color chart for 4K ・ 8K broadcasting
 杉山 徹, 荻野 芳彦, 村山 雄亮 (大日本印刷株式会社)
 Tohru SUGIYAMA, Yoshihiko OGINO, Yusuke MURAYAMA (Dai Nippon Printing Co., Ltd.)
- INP-15f** 多重情報埋込みを有するブロックスクランブル暗号化法
 A Block-Permutation-Based Encryption Scheme with Multiple Data Hiding
 平澤 凌一, 今泉 祥子 (千葉大学)
 Ryoichi HIRASAWA, Shoko IMAIZUMI (Chiba University)

- INP-16i** 微細銀グリッド透明電極上でのポリ(3,4-エチレンジオキシチオフェン)のエレクトロクロミック特性評価
Evaluation of electrochromic properties of poly (3,4-ethylenedioxythiophene) on invisible silver-grid transparent electrode
川縁 美由樹¹, 岡部 綾華¹, 橋本 夏樹², 大沢 正人², 常安 翔太¹, 佐藤 利文¹ (¹東京工芸大学, ²株式会社アルバック)
Miyuki KAWABUCHI¹, Ayaka OKABE¹, Natsuki HASHIMOTO², Masato OHSAWA², Shota TSUNEYASU¹, Toshifumi SATOH¹ (¹Tokyo Polytechnic University, ²ULVAC, Inc.)
- INP-17f** 日本の写真黎明期におけるカロタイプの受容に関する研究 Ⅲ
—島津家史料にのこされた「感光紙製法」に関して—
A Study on Calotype in the Dawn of Japanese Photography Ⅲ
-The Translated Book of Calotype Technique in Shimadzu Historical Materials-
安藤 千穂子, 岩崎 仁 (京都工芸繊維大学)
Chihoko ANDO, Masashi IWASAKI (Kyoto Institute of Technology)
- INP-18i** 金属調光沢膜物性に及ぼすドーパント種の影響
Effects of Dopant type on Lustrous Film Properties of Oligo(3-methoxythiophene)
土井 浩敬, 星野 勝義 (千葉大学)
Hirotaka DOI, Katsuyoshi HOSHINO (Chiba University)
- INP-19f** Ag ナノ粒子を担持したカーボンナノチューブの熱電特性
Enhanced Thermoelectric Properties by Silver Nanoparticle-Decorated Carbon Nanotubes
白石 幸英, 木下 翔平, 栗山 鮎美, 田口 和樹, 大島 啓佑, 秦 慎一 (市立山口東京理科大学)
Yukihide SHIRAIISHI, Shohei KISHITA, Ayumi KURIYAMA, Kazuki TAGUCHI, Keisuke OSHIMA, Shinichi HATA (Sanyo-Onoda City University)
- INP-20p** 印刷業界色評価用超高演色 YujiPrecision™ D50 LED
Ultra High CRI D50 LED Lamp for Color Matching in Commercial Printing
潘 睿琪¹, 吳 川行², 張 妮¹ (¹UniPo 株式会社, ²北京宇极科技发展有限公司)
Eiki HAN¹, Chuanxing WU², Ni ZHANG¹ (¹UniPo Corp., ²Beijing Yuji Science & Technology Co., Ltd.)

* 講演番号末尾記号: i=日本画像学会(ISJ), f=日本写真学会(SPIJ), p=日本印刷学会(JSPST)

10:30 - 12:00 ICAI Poster Session Short Presentation

12:00 - 13:00 Lunch Break

13:00 – 15:30

インタラクティブセッションポスター発表 (3階 レセプションホール)

Interactive Session Poster Presentation (Reception Hall, 3F)

16:00 – 16:30

表彰式 (3階 会議室4)

Ceremony and Closing (Meeting Room 4, 3F)

第3日目 : 7月4日 (木) / July 4 (thu.)

[TRACK II]09:30~17:45 B会場(工学系総合研究棟II 2階 コンファレンスルーム/120名収容)
Room B (The Conference Hall, 2F-Engineering Research Building II/ Capacity 120)

9:00 - 受付/Registration

09:30 - 10:20

2.5D・加飾プリンティング オーガナイズドセッション キーノート講演
2.5D, Decorative Printing Session Keynote

座長: 平林 純 (キヤノン株式会社)

Session Chairs: Jun HIRABAYASHI (Canon Inc.)

DP1-01 2.5D Printing: Bridging the Gap Between 2D and 3D Applications
Carinna Elizabeth PARRAMAN¹, Maria V. ORTIZ SEGOVIA² (¹University
of the West of England, ²Océ Print Logic Technologies)

10:30 - 11:20

2.5D・加飾プリンティング パネルディスカッション
2.5D, Decorative Printing Panel Discussion

座長: 藤井 雅彦 (富士ゼロックス株式会社), 坂谷 一臣 (コニカミノルタ株式会社)

Session Chairs: Masahiko FUJII (Fuji Xerox Co., Ltd.),

Kazuomi SAKATANI (Konica Minolta, Inc.)

DP2-01 2.5D・加飾プリンティング パネルディスカッション
2.5D, Decorative Printing Panel Discussion

11:30 - 12:00

2.5D・加飾プリンティング 特別講演
2.5D, Decorative Printing Special Talk

座長: 平林 純 (キヤノン株式会社)

Session Chairs: Jun HIRABAYASHI (Canon Inc.)

DP3-01 Historical 2.5D photomechanical printing
Susanne KLEIN, Carinna PARRAMAN (University of the West of England)

12:00 - 13:00 Lunch Break

13:00 - 13:50

2.5D・加飾プリンティング デモセッション
2.5D, Decorative Printing Demonstration Session

座長: 坂谷 一臣 (コニカミノルタ株式会社), 鎔谷 賢治 (株式会社リコー)

Session Chairs: Kazuomi SAKATANI (Konica Minolta, Inc.),
Kenji KAGITANI (Ricoh Company, Ltd.)

- DP4-01** 2.5D・加飾プリンティング デモセッション
2.5D, Decorative Printing Demonstration Session

13:50 - 13:55 Break

13:55 - 14:55

2.5D・加飾プリンティング オーガナイズドセッション 3
2.5D, Decorative Printing Session 3

座長: 平林 純 (キヤノン株式会社), 鎔谷 賢治 (株式会社リコー)

Session Chairs: Jun HIRABAYASHI (Canon Inc.),
Kenji KAGITANI (Ricoh Company, Ltd.)

- DP5-01** コンピュータシヨナルファブリケーションによる半透明度の再現
Reproducing Translucency by Computational Fabrication
高谷 剛志, 田中 賢一郎, 久保 尋之, 船富 卓哉, 向川 康博 (奈良先端科学技術大学院大学)
Tsuyoshi TAKATANI, Kenichiro TANAKA, Hiroyuki KUBO, Takuya FUNATOMI, Yasuhiro MUKAIGAWA (Nara Institute of Science and Technology)
- DP5-02** 微細凹凸を有する複数画像表示反射板の制作法
Structures for Displaying Multiple Images
櫻井 快勢 (株式会社ドワンゴ)
Kaisei SAKURAI (Dwango Co. Ltd.)
- DP5-03** 金属基板上に形成した酸化ニオブ薄膜による干渉色の混色
Color Mixture of Interference Color by Niobium Oxide Thin Film Formed on Metal Substrate
阿部 裕太, 佐脇 祝彦, 前田 秀一 (東海大学)
Yuta ABE, Norihiko SAWAKI, Shuichi MAEDA (Tokai University)

14:55 - 15:05 Authors' Interview

15:05 - 16:05

2.5D・加飾プリンティング オーガナイズドセッション 2
2.5D, Decorative Printing Session 2

座長: 鎔谷 賢治 (株式会社リコー), 坂谷 一臣 (コニカミノルタ株式会社)

Session Chairs: Kenji KAGITANI (Ricoh Company, Ltd.),
Kazuomi SAKATANI (Konica Minolta, Inc.)

- DP6-01** 表面反射アナライザ(RA-532H)による BRDF 計測
BRDF Measuring Technique by Surface Refractance Analyzer (RA-532H).
加藤 成樹 (キヤノン株式会社)
Shigeki KATO (Canon Inc.)

DP6-02 色計測の基礎と加飾印刷への応用……………
Basic Color Measurement Theory and Application for Decorative Printings
向井 隆晋 (コニカミノルタ株式会社)
Takayuki MUKAI (Konica Minolta, Inc.)

DP6-03 質感(感性)コミュニケーションツールの開発……………
Development of Texture Communication Tool
高橋 雅人 (DIC株式会社)
Masato TAKAHASHI (DIC Corporation)

16:05 - 16:15 Authors' Interview

16:15 - 17:15

2.5D・加飾プリンティング オーガナイズドセッション 1

2.5D, Decorative Printing Session1

座長: 藤井 雅彦 (富士ゼロックス株式会社), 鎰谷 賢治 (株式会社リコー)

Session Chairs: Masahiko FUJII (Fuji Xerox Co., Ltd.),
Kenji KAGITANI (Ricoh Company, Ltd.)

DP7-01 オンデマンド溶融熱転写プリンタによる触感・加飾印刷……………
Termal Transfer Decorative Printing for realistic textures feeling
鈴木 健太, 渡辺 将仁, 小林 浩, 大石 雄輝, 寺尾 博年, 佐藤 広志, 山本 孝一 (アルプスアルパイン株式会社)
Kenta SUZUKI, Masahito WATANABE, Hiroshi KOBAYASHI, Yuki OISHI, Hiroto TERAOKA, Hiroshi SATO,
Koichi YAMAMOTO (ALPS ALPINE CO., LTD.)

DP7-03 2.5D プリントシステムの現在と今後の展望……………
Current and Future Prospects of 2.5D Printing System
黒澤 諭 (カシオ計算機株式会社)
Satoshi KUROSAWA (CASIO COMPUTER Co.,LTD.)

DP7-04 2.5D 立体複製画の開発とこれを活用した油彩画の立体的特徴解析について……………
Development of 2.5D Reproduction of Painting and Characteristic Analysis of Oil Paintings
山澤 亜也, 亀井 稔人, 畑中 伸一 (株式会社リコー)
Aya YAMASAWA, Toshihito KAMEI, Shinichi HATANAKA (Ricoh Company, Ltd.)

17:15 - 17:30 Authors' Interview

Imaging Conference JAPAN 2019 参加要領 (Registration)

◆事前参加登録について

- a) 会場での受付時の混雑を避けるため、事前参加登録へのご協力をお願いいたします。
6月20日(木)までに事前参加登録にお申込みいただくと、参加費割引が適用されます。
発表者は参加登録は不要です。(発表登録の時点で参加登録もされております。早割が適応されます。)
懇親会の参加登録は当日会場受付にて承ります。
- b) 下記 URL にて web による事前申し込みを受け付けます。
また、右記 QR コードからも申し込み可能です。 https://questant.jp/q/1Z6MYO7_ICJ2019_registration
- c) 日本画像学会会員で無い方は、この機会に会員登録されますと、コンファレンス等の費用が安くなります。
例: 非会員のまま参加登録=22,000 円(事前割引)
⇒入会して会員として参加登録=20,000 円(会費 8,000 円+会員参加費 12,000 円)
入会手続きは学会 HP をご覧ください。 <http://www.isj-imaging.org/announce/admission.html>
- d) 協賛学会員の方は、会員扱いといたします。本大会に参加登録された方は、画像学会連合会の全プログラムを聴講いただけます。論文集をご希望の方は別途お求めください。



◆会場での受付について

- a) 当日の会場受付は、「けやき会館」2Fホールに開設いたします。工学系総合研究棟Ⅱには受付はありませんので、必ず「けやき会館」で受付を行ってください。
受付にて登録を済ませ、名札を付けてから会場にお入りください。名札のない方は入場をお断りします。
発表者は発表者用受付窓口で登録を受け、係の指示に従ってください。
- b) 事前参加登録をされた方は、学会から返信された事前登録確認メールをプリントアウトしたものを受付でご提示ください。当日受付の方は会員証を受付でご提示ください。維持会員企業に所属している参加者で、維持会員証の提示のない場合は、非会員としての参加となりますのでご了承下さい。
学生の方は学生証または学生会員証を受付でご提示ください。
- c) 参加費は以下の通りです。当日、受付にて現金でお支払いください。コンファレンス参加費には論文集1冊を含みます。

コンファレンス	6/20 まで	6/21 以降(当日も)	
会 員(非課税)	12,000 円	13,000 円	(会員証、もしくは維持会員証をご提示下さい)
非会員(税込)	22,000 円	23,000 円	
学 生(税込)	2,000 円	2,000 円	(学生証をご提示下さい)
ワークショップ(税込)			
会員のみ		1,000 円	
インクジェットヘッドショーケース(税込)			
会員・非会員とも		1,000 円	
論文集(冊子)のみ(税込)			
会 員		5,000 円	
非会員		9,000 円	

- d) ワークショップは事前登録が必要です。定員に達し次第、申込みを締め切ります。欠員が生じた場合のみ、当日の申込みを受付いたします。
- e) 当日の入会も受け付けます。受付にお申し出ください。当日ご入会していただくことで、会員価格で参加していただくことができ、非会員資格で参加するよりお安くなります。(会費 8,000 円)

◆懇親会のお知らせ

発表者、講演者と参加者の懇親を深めるために、第一日目の夕方、懇親会を開催いたします。お気軽にご参加ください。

- * 日時: 2019年7月2日(火) 17:15~19:00
- * 会場: 大学会館内 大学生協フードコート
- * 申込: 当日会場入口にて承ります
- * 会費: 2,000 円

会場のご案内

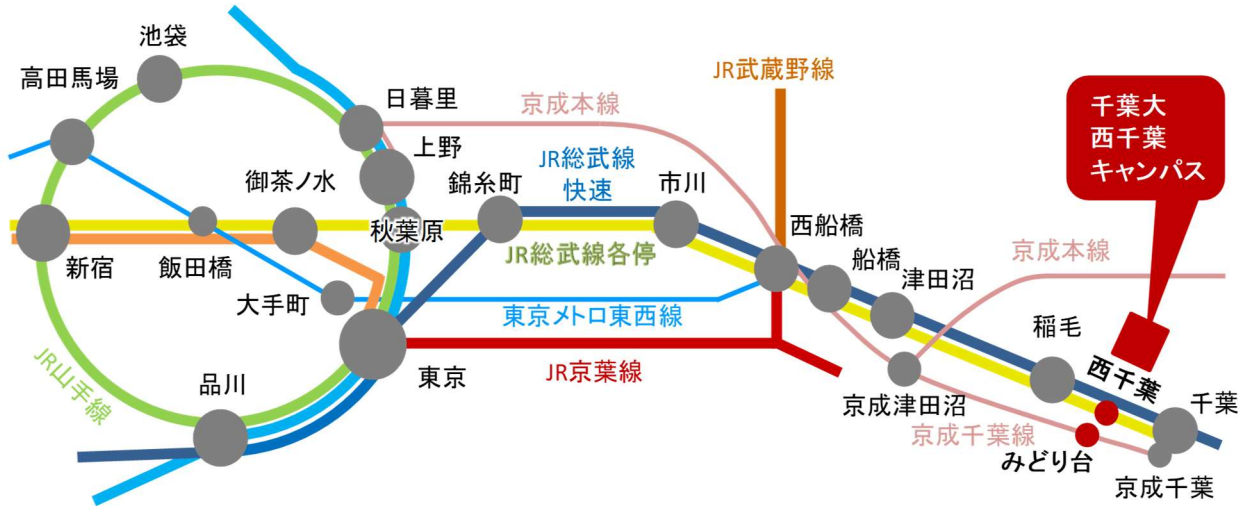
国立大学法人 千葉大学 西千葉キャンパス

〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町 1-33

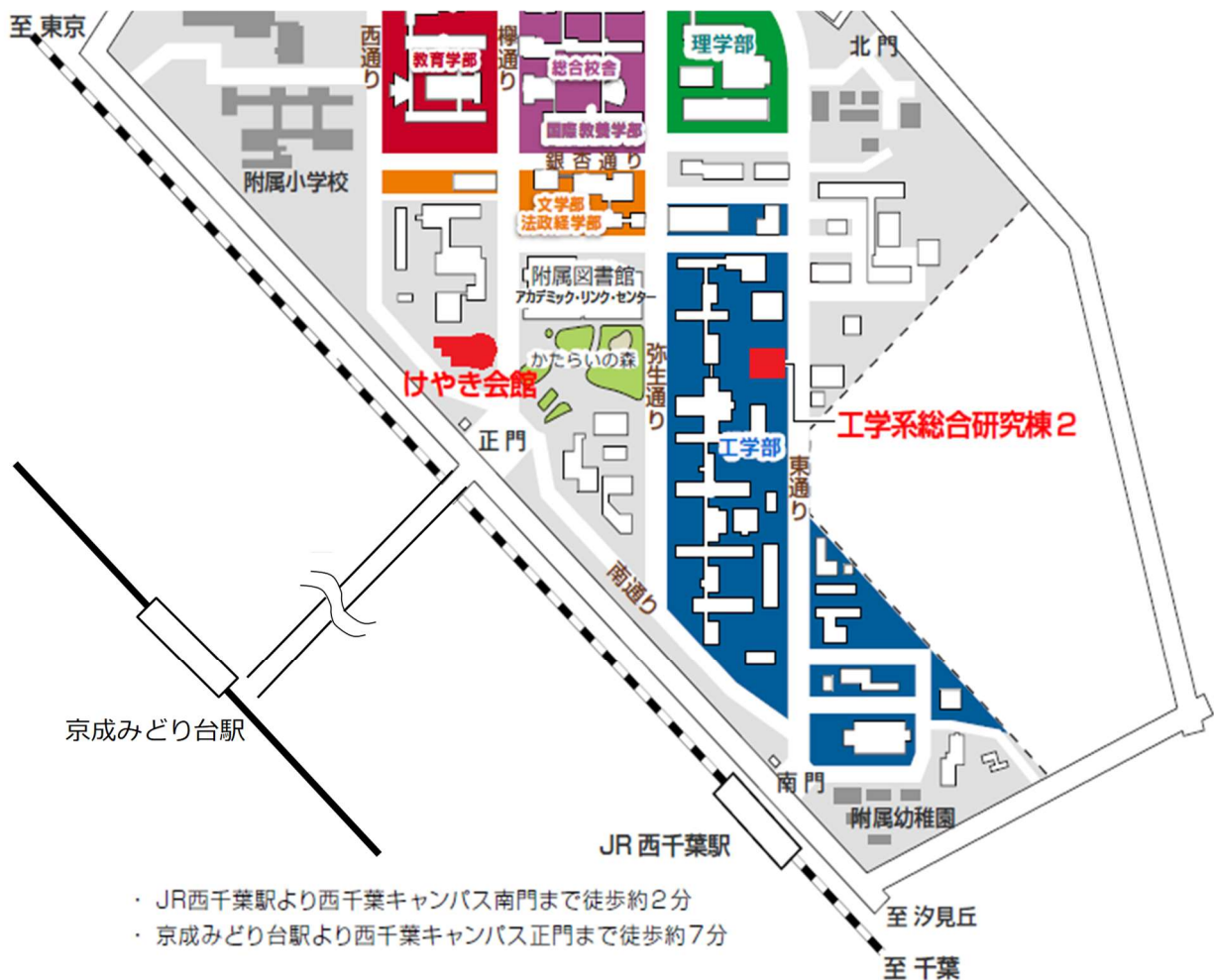
<http://www.chiba-u.ac.jp/access/nishichiba/index.html>

交通アクセス：

- JR 東京駅より：総武線快速—稲毛駅で総武線各駅に乗換え—西千葉駅下車
- 京成上野駅より：京成線特急—京成津田沼駅で京成千葉線に乗換え—京成みどり台駅下車



キャンパスマップ：



How to participate Imaging Conference JAPAN 2019

Pre-registration

- a) ICJ2019 provides pre-registration to avoid congestion around the registration desk on the conference days.
Discount fee is applied if you make a registration on the web until **June 20th(Thu.)**.
Speaker needs not the pre-registration for the conference because he (she) is already assigned to participate. The discount fee is applied for the speaker.
Registration for the social hour will be open on the day (July 2 (Tue.)) at the conference site.
- b) Pre-registration site on the web is open. QR code is also available to access to it.
https://questant.jp/q/1Z6MYO7_ICJ2019_registration
- c) Non-member can save registration fee if he (she) signs-up to be a ISJ member. For Example;
Annual membership (8,000yen) + Registration fee for member (12,000yen) =20,000yen < Non-member's (22,000yen).
Check the ISJ's homepage for privilege of membership; [http://www.isj-imaging.org/announce/admission\(e\).html](http://www.isj-imaging.org/announce/admission(e).html)
- d) Member's fee is applied to a cooperating society member and a speaker from abroad.
A Participant of the ICJ2019 can join all co-sponsoring conferences of the Federation of Imaging Societies (Proceeding book fee is not included).



Registration at the Conference Site

- a) Registration desk is placed at the Hall of the "Keyaki Kaikan" on the **2nd floor**. There's no registration desk at the "Engineering Research Building II". Be sure to visit the "Keyaki Kaikan" first for registration.
Please make your registration at the registration desk to enter. Keep wearing your name tag on your jacket while you are in the conference room. Someone who doesn't wear the name tag will be refused to enter the room.
If you are a speaker, please visit the registration desk "For Speakers" and get information from the committee member in charge.
- b) Please show a copy of the Pre-Registration confirmation mail at the registration desk if you have done your pre-registration.
Please indicate your (or your company's) ISJ member's ID card if you have not pre-registered. If you don't have anything to identify your membership, you will be registered as a non-member.
Please indicate your Student ID Card if you are a student or a Student Member.
- c) The registration fees are as below table. The conference registration includes: admission to all technical sessions, the topical session, a conference proceeding book. Only payment by cash is available.

Conference	until June 20	after June 21 (same as current day)	
ISJ member/Speaker (no tax)	12,000 yen	13,000 yen	(ID required)
Non-member (including tax)	22,000 yen	23,000 yen	
Student (including tax)	2,000 yen	2,000 yen	(Student ID required)
Workshop (including tax)			
ISJ member only		1,000 yen	
Inkjet Printhead Showcase (including tax)			
ISJ member/ Non-member		1,000 yen	
Extra Proceeding book (including tax)			
ISJ member/ Speaker		5,000 yen	
Non-member		9,000 yen	

- d) Pre-registration for each workshop will be closed if the number of applicants exceeds its capacity. On site registration will be open only if the number of applicants is below the capacity.
- e) You can apply the ISJ membership at the registration desk. Please contact a receptionist. Even if you paid the annual membership fee, you would totally save money because the membership registration fee is applied.

Social Hour

Social Hour is held on the first day evening for making communication with authors and for networking. Please join us.

- [Date]: July 2 (Tue.) 17 : 15 - 19 : 00
[Venue]: Food Court of the University Co-op (2nd floor)
[Registration]: At the entrance of the room on the day.
[Fee]: 2,000 yen

Conference Site

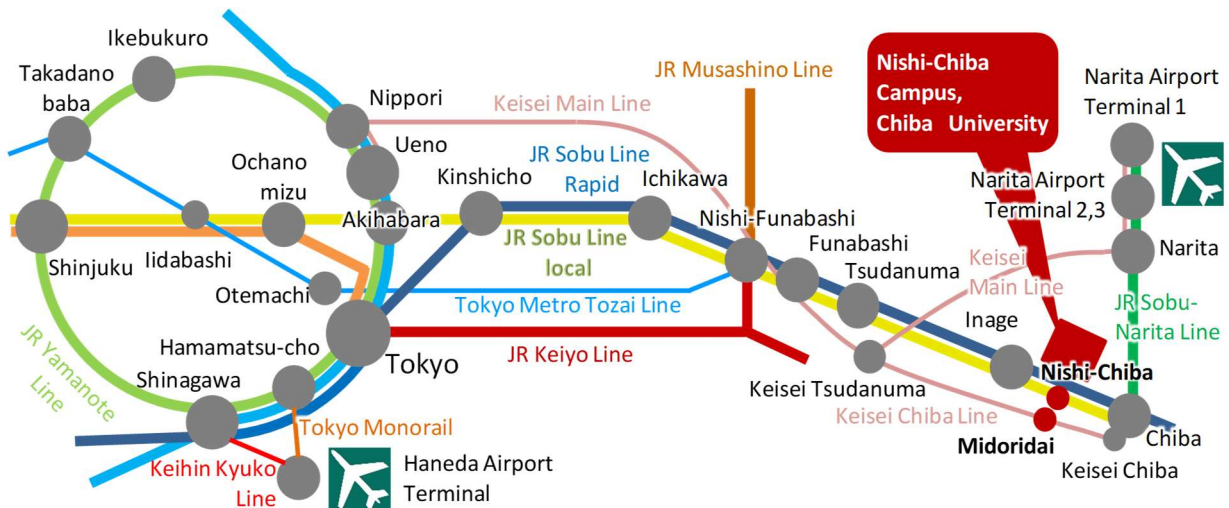
Nishi-Chiba Campus, Chiba University

1-33, Yayoicho, Inage Ward, Chiba-shi, Chiba, 263-8522 Japan

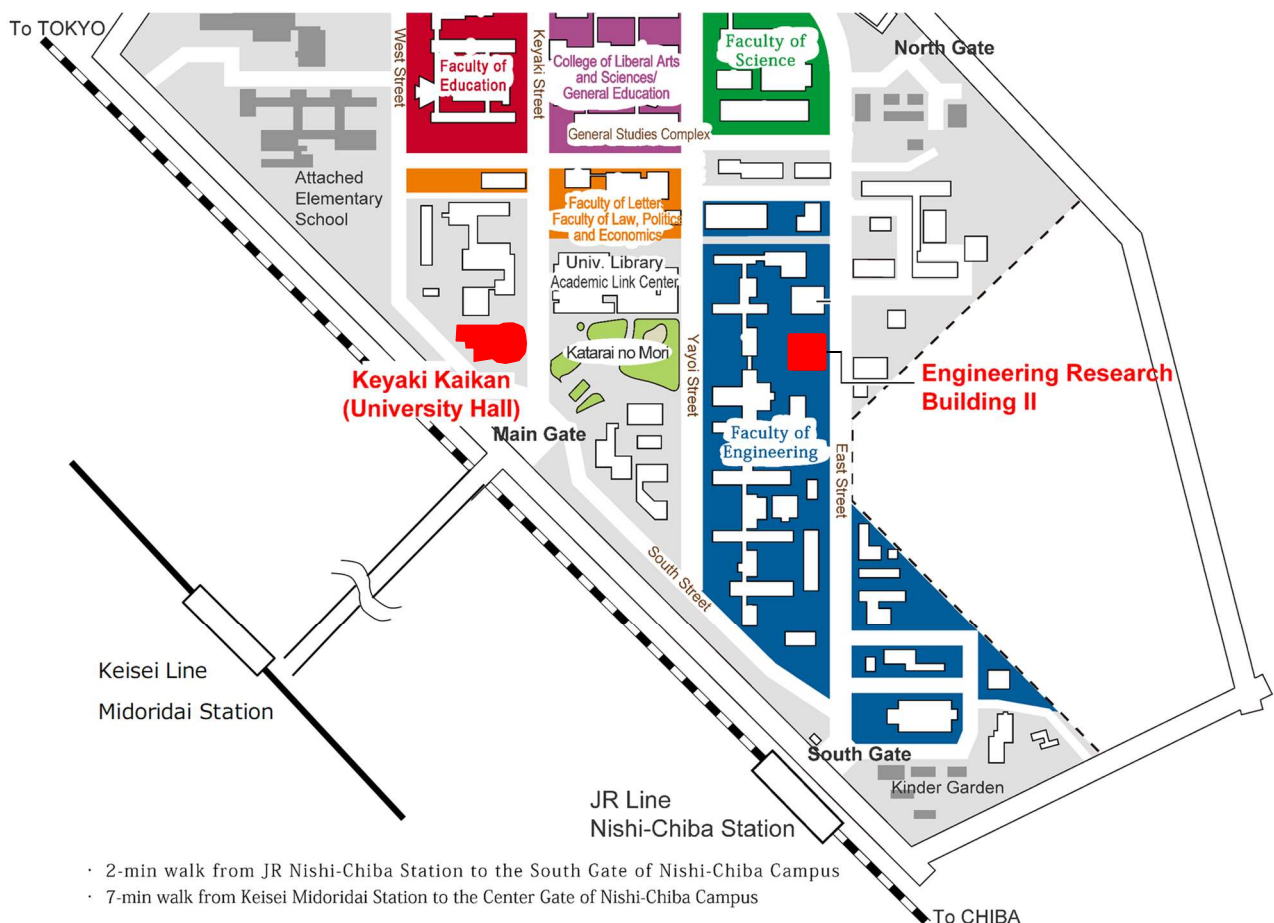
<http://www.chiba-u.ac.jp/e/about/location/index.html>

Access to the Nishi-Chiba Campus:

- From JR Tokyo Terminal :
Sobu Line Rapid Service => JR Inage (transfer) == Sobu Line Local Service => JR Nishi-Chiba
- From Keisei Ueno Terminal:
Keisei Line, Limited Express => Keisei Tsudanuma (transfer) == Keisei Chiba Line => Keisei Midoridai



Campus Map:



◆ ICJ2019 実行委員会 ◆

【実行委員長】

御厨 裕司(キヤノン)

【実行副委員長】

中島一浩(キヤノン)

校條 健(キヤノン)

【実行委員】

秋山 勇治(キヤノン)

大橋 孝(富士ゼロックス)

荻野 尉彦(リコー)

河野 信明(キヤノン)

岸 由美子(リコー)

小嶋 悦嗣(キヤノン)

小林 範久(千葉大学)

近藤 芳昭(コニカミノルタ)

酒井 真理(山形大学)

鈴木 健彦(キヤノン)

世古 丈裕(富士ゼロックス)

中井 洋志(リコー)

中山 信行(富士ゼロックス)

長山 智男(リコー)

服部 好弘(コニカミノルタ)

永瀬 幸雄(キヤノン)

中村 一希(千葉大学)

長谷部 恵(富士ゼロックス)

藤井 雅彦(富士ゼロックス)

星野 勝義(千葉大学)

松代 博之(リコー)

三矢 輝章(リコー)

【日本画像学会長】

面谷 信(東海大学)

【技術委員長】

佐藤 利文(東京工芸大学)

【カンファレンス委員長】

三矢 輝章(リコー)

【日本画像学会事務局】

竹内 達夫(日本画像学会)

野田 明彦(日本画像学会)

西原 容子(日本画像学会)

◆ ICJ2019 Executive Committee ◆

【General Chair】

Yuji MIKURIYA (Canon Inc.)

【Vice Chair】

Kazuhiro NAKAJIMA (Canon Inc.)

Takeshi MENJO (Canon Inc.)

【Member】

Yuji AKIYAMA (Canon Inc.)

Takashi OHASHI (Fuji Xerox Co.,Ltd.)

Yasuhiko OGINO (Ricoh Company, Ltd.)

Nobuaki KAWANO (Canon Inc.)

Yumiko KISHI (Ricoh Company, Ltd.)

Etusji KOJIMA (Canon Inc.)

Norihisa KOBAYASHI (Chiba University)

Yoshiaki KONDOH (Konica Minolta, Inc.)

Shinri SAKAI (Yamagata University)

Takehiko SUZUKI (Canon Inc.)

Tomohiro SEKO (Fuji Xerox Co.,Ltd.)

Hiroshi NAKAI (Ricoh Company, Ltd.)

Nobuyuki NAKAYAMA (Fuji Xerox Co.,Ltd.)

Norio NAGAYAMA (Ricoh Company, Ltd.)

Yoshihiro HATTORI (Konica Minolta, Inc.)

Yukio NAGASE (Canon Inc.)

Kazuki NAKAMURA (Chiba University)

Satoshi HASEBE (Fuji Xerox Co.,Ltd.)

Masahiko FUJII (Fuji Xerox Co.,Ltd.)

Katsuyoshi HOSHINO (Chiba University)

Hiroyuki MATSUSHIRO (Ricoh Company, Ltd.)

Teruaki MITSUYA (Ricoh Company, Ltd.)

【ISJ's President】

Makoto OMODANI (Tokai University)

【Chair of Technical Committee】

Toshifumi SATO (Tokyo Polytechnic University)

【Chair of Conference Committee】

Teruaki MITSUYA (Ricoh Company, Ltd.)

【ISJ's Office】

Tatsuo TAKEUCHI (The Imaging Society of Japan)

Akihiko NODA (The Imaging Society of Japan)

Yoko NISHIHARA (The Imaging Society of Japan)

画像関連学会連合会

第6回秋季大会プログラム

- 期 日 令和元年 10月 31日(木)～11月 1日(金)
会 場 京都工芸繊維大学 60 周年記念館 他
京都市左京区松ヶ崎橋上町
京都市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」①出口より東へ徒歩 8 分
- 主 催 画像関連学会連合会
共 催 国立大学法人 京都工芸繊維大学
後 援 CG-ARTS (公益財団法人 画像情報教育振興協会)



6th Fall Meeting of Federation of Imaging Societies, 2019

Joint Session of
The Imaging Societies of Japan,
The Society of Photography and Imaging of Japan,
The Institute of Image Electronics Engineers of Japan, and
Japanese Society of Printing Science and Technology



国立大学法人
京都工芸繊維大学

画像関連学会連合会第6回秋季大会プログラム

	10月31日プログラム					11月1日プログラム			
	60周年記念館 記念ホール A会場	60周年記念館 大セミナー室 B会場	13号館多目的室 C会場	60周年記念館 ロビー		60周年記念館 記念ホール A会場	60周年記念館 大セミナー室 B会場	13号館多目的室 C会場	60周年記念館 ロビー
9:30	総合受付 9:30~10:30 1Fロビー 10:30以降 2Fロビー				9:30	総合受付 2Fロビー			
10:00	10:15開会の挨拶	特別講演 京都市電写真 10:20-11:05	日本画像学会 秋・技術講習会 10:00-16:15 (11号館1142教室含む)		10:00				特別講演 ITMA 10:20-11:05
11:00	休憩				11:00	休憩	画像応用 10:20-12:00	Nuclear Imaging 11:00-12:00	
	特別講演 Kyoto Design labo 11:15-12:00					特別講演 生物に学ぶ 11:15-12:00			
12:00	機器展示 ランチョンセミナー				12:00	機器展示 ランチョンセミナー			
13:00	ポスターセッション ショートプレゼン 13:00-14:20				13:00	休憩	Watermark Technology 13:00-14:20	光機能・応用材料 13:00-14:20	機器展示
14:00	ポスター発表 14:30-16:30				14:00	特別講演 VRフラネタリウム 13:10-13:55			
15:00									15:00
16:00					16:00	リモートセンシングと制御 14:50-15:50	休憩	グラフィックアーツ 15:40-17:00	
17:00					17:00	電子写真技術 16:00-17:20	画像検知 16:00-17:20		
18:00	情報交換会 18:00-19:30				18:00				

休憩時間帯は一部authors interviewを含みます

プログラム記載のP○○(***)は各学会を示しています。
 iiej: 画像電子学会
 isj: 日本画像学会
 jspst: 日本印刷学会
 spij: 日本写真学会

プログラム

10月31日

●受付開始 9:30~10:30 総合受付 60周年記念館1F ロビー 10:30以降2F ロビー

●開会の挨拶 10:15~10:20 A会場:60周年記念館 1F 記念ホール

●特別講演

10:20-12:00 座長:岩崎仁 / 京都工芸繊維大学

1AS1 京都市電写真アーカイブとその活用/KYOTO メモリーグラフ

中村浩史氏¹, 高橋 彰氏² / 1)廃線ウォッチャー, 2)関西学院大学

1AS2 デザイン活動と映像メディアの新しい関係 —KYOTO Design Lab での事例を中心に—

池側 隆之教授 / 京都工芸繊維大学

●ポスターセッション(終了後情報交換会にて表彰)

13:00-14:20 ショートプレゼンテーション(1件2分) A会場:60周年記念館 1F 記念ホール

座長: 森川 貴之 / 三菱製紙株式会社

14:30-16:30 ポスター発表/B会場:60周年記念館2F 大セミナー室

座長: 岩崎 仁 / 京都工芸繊維大学

*ポスターは12:20-14:00に掲示してください。発表コアタイムは発表奇数が14:30-15:30, 発表偶数が15:30-16:30です。16:50までにポスター撤去をお願いします。

1P01 (spij) Ag/ZnO ナノ粒子とSGCNTハイブリッドの調製と熱電特性
草田 茂吉, 田口 和樹, 秦 慎一, 白石 幸英, 戸嶋 直樹 / 山陽小野田市立山口東京理科大学
Syntheses and Thermoelectric Properties of Super Growth-Carbon Nanotube/ZnO/Ag Hybrids
Mokichi Kusada, Kazuki Taguchi, Shinichi Hata, Yukihide Shiraishi, Naoki Toshima /
Sanyo-Onoda City University

1P02 (spij) ポリビニルピロリドン-ポリビニルアルコール共重合体による n 型カーボンナノチューブ材料の熱電変換特性
前城 歓人, 鞆津 迅, 秦 慎一, 白石 幸英, 戸嶋 直樹 / 山陽小野田市立山口東京理科大学
Thermoelectric Properties of n-Type Carbon Nanotube Material by Poly (vinyl pyrrolidone-co-vinyl alcohol)
Kanto Maeshiro, Jin Tomotu, Shinichi Hata, Yukihide Shiraishi, Naoki Toshima /
Sanyo-Onoda City University

1P03 (jspst) ウェットプロセスにおける銀ナノ粒子の光学的機能の応用
海老澤瑞枝, 平健吾, 磯田和貴, 山口隆志 / 都産技研
Application of Optical Function of Silver Nanoparticles in Wet Process
Mizue Ebisawa, Kengo Taira, Kazutaka Isoda, Takashi Yamaguchi / TIRI

1P04 (jspst) A Making Method of Copper Foil on PET Film by the Low Temperature Sintering and Wiring by the Heat Transcription
澤田 将徳, 喜 直信, 田口 洋介, 大森 吉信, 小山 慶祐, 北條 美貴子 / 大日本印刷(株)
Masanori Sawada, Naonobu Yoshi, Yosuke Taguchi, Yoshinobu Omori, Keisuke Koyama,
Mikiko Hojo / Dai Nippon Printing Co., Ltd.

1P05 (isj) 高い柔軟性を有するシリコン薄膜のバイオセンサへの応用研究
大矢 貴史¹, 菊地鉄太郎², 佐々木大輔², 松浦勝久², 清水達也², 福田憲二郎³,
染谷隆夫³, 梅津信二郎¹ / 1)早稲田大学, 2)東京女子医科大学, 3)理化学研究所
Application Study of Highly Flexible Silicone Thin Film to Biosensor
Takashi Ohya¹, Tetsutaro Kikuchi², Daisuke Sasaki², Katsuhisa Matsuura², Tatsuya Shimizu²,
Kenjiro Fukuda³, Takao Someya³, Shinjiro Umezu¹ / 1)Waseda University,
2)Tokyo women's medical university, 3)RIKEN

- 1P06 (isj) 新規なナフチルキノン誘導体の合成と感光体特性
岡田 英樹¹, 宮本 栄一¹, 菅井 章雄¹, 水田 泰史¹, 横山 正明² /
1)京セラドキュメントソリューションズ (株), 2)大阪大学
Syntheses and Properties of Novel Electron Transporting Naphthylquinone Compounds
Hideki Okada¹, Eiichi Miyamoto¹, Fumio Sugai¹, Yasufumi Mizuta¹, Masaaki Yokoyama² /
1)KYOCERA Document Solutions Inc., 2)Osaka University
- 1P07 (isj) a-Si 感光ドラム「LF シリーズ」によるマシン信頼性の向上
若杉 侑矢 / 京セラ (株)
Improvement of Machine Reliability by a-Si drum "LF Series"
Yuya Wakasugi / KYOCERA, Inc.
- 1P08 (isj) プロトンスポンジをドーピングした高分子フィルムと鉄粉キャリアビーズとの動的摩擦帯電特性
齋藤 史也, 塚田 学, 星野 勝義 / 千葉大学
Dynamic Triboelectric Charging Behavior of Polymer Films Doped with Proton Sponge in Contact with Iron Carrier Beads
Fumiya Saitou, Satoru Tsukada, Katsuyoshi Hoshino / Chiba University
- 1P09 (isj) Eu(III)錯体の円偏光発光増強に及ぼすアルキルアンモニウムイオン添加効果と機構解析
宮里麻佑, 中村一希, 小林範久 / 千葉大学
Effect of Alkylammonium Ion on Enhancement of Circularly Polarized Luminescence of Eu(III) Complex.
Mayu Miyazato, Kazuki Nakamura, Norihisa Kobayashi / Chiba university
- 1P10 (isj) 層状化合物に吸着したユーロピウム錯体とエレクトロクロミック分子による電気化学的な光学特性制御メカニズム
小林 直人, 中村 一希, 小林 範久 / 千葉大学
Electrochemical Control of Optical Properties of Europium Complex and Electrochromic Molecule Adsorbed on Layered Compound
Naoto Kobayashi, Kazuki Nakamura, Norihisa Kobayashi / Chiba University
- 1P11 (isj) 異なる発光層を有する有機発光ダイオードの電荷輸送特性の評価
富士本 直起, 永瀬 隆, 小林 隆史, 内藤 裕義 / 大阪府立大学
Electronic Transport Properties and Device Performance of OLEDs with Different Emissive Layers
Naoki Fujimoto, Takashi Nagase, Takashi Kobayashi, Hiroyoshi Naito /
Osaka Prefecture University
- 1P12 (isj) 溶液プロセスによる不揮発性有機トランジスタメモリの作製と特性改善
東中屋 美帆¹, 阿部 駿人¹, 永瀬 隆², 小林 隆史², 内藤 裕義² / 1)大阪府立大学,
2)大阪府立大学, 大阪府大学分子エレクトロニックデバイス研究所
Solution Processing of Nonvolatile Organic Transistor Memories and The Improvement of Their Electrical Performance
Miho Higashinakaya¹, Hayato Abe¹, Takashi Nagase², Takashi Kobayashi², Hiroyoshi Naito² /
1)Osaka Prefecture University, 2)Osaka Prefecture University, RIMED
- 1P13 (spij) 黒鉛の金属光沢について研究
柿 拓馬, 山田 勝実 / 東京工芸大学
Study on Metallic Luster of Graphite
Takuma Kaki, Katsumi Yamada / Tokyo Polytechnic University
- 1P14 (isj) 発光型/反射型媒体の環境照度による画像コントラスト変化の確認
芹澤 光太郎, 面谷 信 / 東海大学
Comparison of Image Contrast between Reflective and Emissive Media under Various Strength of illumination
Kotaro Serizawa, Makoto Omodani / Tokai University
- 1P15 (spij) 調光・調色可能な LED と OLED の照明光のスペクトルを含む比較
小峯 元樹, 内田 孝幸 / 東京工芸大学
Comparison of Dimmable / Color Tunable LED and OLED Illuminations Including Spectra
Motoki Komine, Takayuki Uchida / Tokyo Polytechnic University
- 1P16 (isj) 電子ペーパーによる写真作品制作に向けた光学特性評価
横井 良直, 竹田 直樹, 酒井 孝彦, 常安 翔太, 佐藤 利文 / 東京工芸大学
Evaluation of Optical Properties for Photographic Work Production Using Electronic Paper
Yoshinao Yokoi, Naoki Takeda, Takahiko Sakai, Shota Tsuneyasu, Toshifumi Satoh /
Tokyo Polytechnic University

- 1P17 (jspst) PC 上作業の補助媒体としての紙/Tablet/電子ペーパーの作業性比較
～書き込み過程有無の作業差検討～
江口 京佑, 面谷 信 / 東海大学
Comparison of Paper/Tablet/e-Paper as a Supporting Media for Working on PC
~ Contribution of Hand-Writing Ability of Media ~
Kyosuke Eguchi, Makoto Omodani / Tokai University
- 1P18 (isj) 3-メトキシチオフェン重合体の金色調光沢膜物性に及ぼす重合温度の影響
佐野 凌平, 塚田 学, 星野 勝義 / 千葉大学
Effect of Polymerization Temperature on The Properties of Gold-like Lustrous Films of
Oligo(3-methoxythiophene)
Ryohei Sano, Satoru Tsukada, Katsuyoshi Hoshino / Chiba University
- 1P19 (spij) 可視光応答型光触媒のための InGaN 粉体の合成
落合 蒼¹, 岩崎 仁² / 1)京都工芸繊維大学, 2)京都工芸繊維大学 環境科学センター
Preparation of InGaN Aiming for Visible Light Responsive Photocatalyst
So Ochiai¹, Masashi Iwasaki² / 1) Kyoto Institute of Technology,
2) Center for Environmental Science, Kyoto Institute of Technology
- 1P20 (spij) ビネガーシンドローム予防用の酢酸ガス除去剤および除湿剤
山本 大輔 / (株) 足柄製作所
Acetic Acid Gas Remover and Dehumidifier to Prevent Vinegar Syndrome
Daisuke Yamamoto / Ashigara Manufacturing Inc.
- 1P21 (spij) GRAINE 計画:2018 年豪州気球実験における姿勢モニターとタイムスタンプの連携解析によるエ
マルジョン望遠鏡の性能評価
中村崇文¹, 青木茂樹¹, GRAINE collaboration² / 1)神戸大学, 2)愛知教育大, ISAS/JAXA,
岡山理科大, 神戸大, 名古屋大
Performance Evaluation of Emulsion Telescope with Combine Analysis of Attitude Monitor and Time
Stamper in GRAINE Experiment 2018
Takafumi Nakamura¹, Shigeki Aoki¹, GRAINE collaboration² / 1)Kobe University,
2)Aichi University of Education, ISAS/JAXA, Kobe University, Nagoya University,
Okayama University of Science
- 1P22 (spij) 宇宙線イメージングのための低エネルギー領域のミュオンフラックス測定
干潟 紘太郎, 森島 邦博, 西尾 晃, 久野 光慧, 眞部 祐太, 榊原 亜美, 北川 暢子 / 名古屋大学
Measurement of Low Energy Muon Flux for Cosmic Ray Imaging
Kotaro Hikata, Kunihiro Morishima, Akira Nishio, Yuta Manabe, Ami Sakakibara,
Nobuko Kitagawa / Nagoya University
- 1P23 (spij) 宇宙線イメージングのための放射線による原子核乾板への影響
榊原 亜美, 森島 邦博, 北川 暢子, 西尾 晃, 久野 光慧, 眞部 祐太, 干潟 紘太郎, 中村 光廣 /
名古屋大学
The Effect of Radiation on Nuclear Emulsion for Cosmic-Ray Imaging
Ami Sakakibara, Kunihiro Morishima, Nobuko Kitagawa, Akira Nishio, Mitsuki Kuno,
Yuta Manabe, Kotaro Hikata, Mitsuhiro Nakamura / Nagoya University
- 1P24 (spij) 名古屋大学における原子核乾板自動塗布設備の構築に向けた研究(3)
杉村 昂, 六條 宏紀, 中村 光廣, 長縄 直崇 / 名古屋大学
Constructing of Emulsion Film Pouring System in Nagoya University
Kou Sugimura, Hiroki Rokujo, Mitsuhiro Nakamura, Naotaka Naganawa / Nagoya University
- 1P25 (spij) オートラジオグラフィ用写真乳剤の特性評価
久下 謙一¹, 大久保 正道², 長縄 直崇³ / 1)千葉大学, 2)兵庫医科大学, 3)名古屋大学
Evaluation of Photographic Emulsions for Autoradiography
Ken'ichi Kuge¹, Masamichi Okubo², Naotaka Naganawa³ /
1)Chiba University, 2)Hyogo College of Medicine, 3)Nagoya University
- 1P26 (jspst) デジタルサイネージとチラシ広告の組み合わせによる相乗効果の検証
川本 健太, 中山 洋, 矢口 博之 / 東京電機大学
Examination of Synergetic Effect of Digital Signage and Flyers
Kenta Kawamoto, Hiroshi Nakayama, Hiroyuki Yaguchi / Tokyo Denki University

- 1P27 (iieej) 流体シミュレーションを用いたアニメ的な雲の表現手法
坂口 美優, 床井 浩平 / 和歌山大学
A Representation Method of Cloud like Animation Using Fluid Simulation
Miyu Sakaguchi, Kohe Tokoi / Wakayama University
- 1P28 (iieej) 2次元アニメキャラクターから3次元アニメキャラクターモデルの生成の検討
古株 基喜¹, 大井 翔², 佐野 睦夫^{1/1}大阪工業大学, ²立命館大学
Study on Generation of 3D Animation Character Model from 2D Animation Character Model
Motoki Kokabu¹, Sho Ooi², Mutsuo Sano^{1/1}Osaka Institute of Technology,
2)Ritsumeikan University
- 1P29 (iieej) 実写と合成する水流エフェクトの生成とその制御
佐々木 智弘, 床井 浩平 / 和歌山大学
Generation and Control of Water Flow Effects Combined with Live Action
Tomohiro Sasaki, Kohe Tokoi / Wakayama University
- 1P30 (spij) アルバムカバーフィルムによる反射光除去に関する研究
安田 拓未 / 木更津工業高等専門学校
A Study of Removing the Reflection Light from the Film Covering Photo Album Page
Takumi Yasuda / National Institute of Technology, Kisarazu College
- 1P31 (spij) 原子核乾板を用いたダブルハイパー核実験のための三次元解析手法の開発
吉本 雅浩¹, 笠置 歩¹, Aung Nay Lin Nyaw¹, Phyo Myat Lin¹, 仲澤 和馬¹, 吉田 純也^{2/1}岐阜大教育, ²原子力機構先端研
Development of 3D Analysis Method for Double Hypernuclear Experiment with Nuclear Emulsion
Masahiro Yoshimoto¹, Ayumi Kasagi¹, Aung Nay Lin Nyaw¹, Phyo Myat Lin¹, Kazuma Nakazawa¹,
Junya Yoshida^{2/1}Physics Department, Gifu University, 2)JAEA ASRC
- 1P32 (iieej) パストレーシングにおけるノイズ画像の分析とデノイズ手法の検討
井上 智皓, 戀津 魁, 柿本 正憲 / 東京工科大学
Path Tracing Noise Image Analysis and its Denoising Experiments
Tomoaki Inoue, Kai Lenz, Masanori Kakimoto / Tokyo University of Technology
- 1P33 (spij) CERN NA65におけるタウニュートリノ生成研究:パイロットランのエマルジョン解析
吉本 雅浩¹, 佐藤 修², 小松 雅宏², 中野 敏行², 六條 宏紀², 有賀 智子³, 吉田 純也⁴,
有賀 昭貴⁵, 他 CERN NA65 Collaboration / ¹岐阜大学, ²名古屋大学, ³九州大学,
4)原子力機構先端研, ⁵ベルン大学
Tau Neutrino Production Study at CERN NA65 : Nuclear Emulsion Analysis for Pilot Run
Masahiro Yoshimoto¹, Osamu Sato², Masahiro Komatsu², Toshiyuki Nakano², Hiroki Rokujo²,
Tomoko Ariga³, Junya Yoshida⁴, Akitaka Ariga⁵ and CERN NA65 Collaboration /
1)Gifu University, 2)Nagoya University, 3)Kyushu University, 4)JAEA ASRC, 5)Univ. of BERN
- 1P34 (iieej) 移動方向正規化による監視カメラ映像からの行動認識
澤田 清仁¹, 細野 峻司², 孫 泳青², 早瀬 和也², 島村 潤^{2/1}警察大, ²NTT
Action Recognition with Movement Direction Alignment in Surveillance Videos
Kiyohito Sawada¹, Takashi Hosono², Yongqing Sun², Kazuya Hayase², Jun Shimamura^{2/1}
1)National Police Academy, 2) NTT
- 1P35 (iieej) 音響再生により料理の臨場感を向上させたレストランメニュー端末の試作
田中 大樹, 平山 亮 / 大阪工業大学
A Prototype of a Restaurant Menu Terminal using Audio for Increasing Reality
Daiki Tanaka, Makoto J. Hirayama / Osaka Institute of Technology
- 1P36 (iieej) ヘッドマウントディスプレイを用いた仮想美術館のユーザーインタフェース改良
竹内 晃平¹, 林 正樹², 平山 亮^{1/1}大阪工業大学, ²ウプサラ大学
Enhancements to User Interfaces of VR-based Virtual Museum using a Head Mounted Display
Kohei Takeuchi¹, Masaki Hayashi², Makoto J. Hirayama^{1/1}Osaka Institute of Technology,
2)Uppsala University
- 1P37 (iieej) 昆虫の複眼による見え方の推定と動体視認実験
佐藤 葵, 戀津 魁, 柿本 正憲 / 東京工科大学
A Prediction Method for Vision of Compound Multifaceted Eyes of Insects and a Kinetic Vision
Experiment
Mamoru Sato, Kai Lenz, Masanori Kakimoto / Tokyo University of Technology

1P38 (iieej) 画面揺れ検出法における精度向上における一考察
児玉 明 / 広島大学

A Consideration on Accuracy Improvement of a Screen Shake Detection Method
Mei Kodama / Hiroshima University

1P39 (iieej) 国際 Project Based Learning による画像処理教育の取り組み
神納 貴生, 村木 祐太, 平山 亮 / 大阪工業大学

An Image Processing Education Program by International Project Based Learning
Takao Jinno, Yuta Muraki, Makoto J. Hirayama / Osaka Institute of Technology

●全体基調講演

16:50-17:50 A 会場:60 周年記念館 1F 記念ホール 座長:平山 亮 / 大阪工業大学
1AK1

人生を変える VR/MR 技術

清川 清 教授 / 奈良先端技術大学院大学

Changing Life by VR/MR Technologies

Kiyoshi Kiyokawa / Nara Institute of Science and Technology

●情報交換会(参加費 2,000 円)

18:00-19:30 B 会場:60 周年記念館 2F 大セミナー室

●日本画像学会 秋・技術講習会(別途参加費が必要です)

10:00-15:50 C 会場:13 号館4F 多目的室/11 号館4F 1142 教室

11月1日

●受付開始 9:30 総合受付 60周年記念館2F ロビー

●特別講演&オーラルセッション A

A会場:60周年記念館 1F 記念ホール

●特別講演

10:20-11:05 座長:山田 千晶 / コニカミノルタ株式会社

2AS3 ITMA2019 に見る最先端デジタルテキスタイル技術の世界

城田 衣 氏 / キヤノン株式会社

The Latest Technology Trends of Digital Textile from ITMA2019

Koromo Shirota / Canon Inc.

11:05-11:15 休憩

11:15-12:00 座長:高原 茂 / 千葉大学

2AS4 生物に学ぶ表面の微細構造と機能

鈴木 健司教授 / 工学院大学

●機器展示ランチョンセミナー 12:00-13:00

●特別講演

13:10-13:55 座長:狩野 篤 / 京セラドキュメントソリューションズ株式会社

2AS5 集団体験型 VR プラネタリウムへの挑戦と今後の展望

大谷健一氏 / コニカミノルタプラネタリウム株式会社

Challenging for a Location Based Multiplayer Virtual Reality Entertainment Service and the Future Prospects

Kenichi Otani / KONICA MINOLTA PLANETARIUM CO.,LTD.

13:55-14:40 座長:中野 寧 / コニカミノルタ株式会社

2AS6 100枚モザイク撮影による大判を超える天体写真

土生祐介氏 / 陣馬写真工業

14:40-14:50 休憩

●オーラルセッション A:リモートセンシングと制御

Remote Sensing and Manipulation

14:50-15:50 座長:久保尋之 / 奈良先端大学

2A01 (iieej) DEVELOPMENT OF OBSERVATION METHOD FOR MOUNTAIN FOREST USING UAV

Ruri Nomura¹, Katsuya Hasegawa² /

1)The Open University of Japan, 2)Japan Aerospace eXploration Agency

2A02 (iieej) 遠隔制御ロボットによる果樹受粉作業の AI 化と農作業への障害者活用

長谷川 克也¹, 關 秀子² / 1)宇宙航空研究開発機構, 2)赤羽岩淵病院, 放送大学

Pollination Work by Remote Control Robot and Farm Work using Handicapped Person

Katsuya Hasegawa¹, Hideko Seki² / 1)Japan Aerospace eXploration Agency,

2)Akabanbeiwabuchi Hospital, The Open University of Japan

- 2A03 (iieej) 遠隔地の視覚的環境を観測者の周囲に再現する実験システムの開発
床井 浩平¹, 大山 英明², 河野 功³ / 1)和歌山大学, 2)産業技術総合研究所,
3)宇宙航空研究開発機構
Development of an Experimental System to Reproduce the Visual Environment at a Remote
Location Around an Observer
Kohe Tokoi¹, Eimei Oyama², Isao Kawano³ / 1)Wakayama University, 2)AIST, 3)JAXA

15:50-16:00 休憩

●オーラルセッション A:電子写真技術

Electrophotography

16:00 -17:20 座長:神吉 伸通 / 花王株式会社

- 2A04 (isj) 静電気力顕微鏡を用いた単層型及び積層型 OPC の潜像観察
東尾 順平¹, 上原 利夫², 芦澤 好人³, 中川 活二³ / 1)イイダ電子, 2)ティーティーワイ,
3)日本大学
Direct Observation of Latent Image on Single and Multi-layer Organic Photoconductor Drums with
Electrostatic Force Microscopy
Jumpei Higashio¹, Toshio Uehara², Yoshito Ashizawa³, Katsuji Nakagawa³ /
1)Iida Electronics, 2)TTY, 3)Nihon University
- 2A05 (isj) トナー粘弾性に着目した 1DCAE による定着ニップ機能のモデルベース設計
山岸 義弘 / 京セラドキュメントソリューションズ (株)
Model-based Development of Fuser Nip designed by 1D-CAE Focusing on Toner Viscoelasticity
Yoshihiro Yamagishi / KYOCERA Document Solutions Inc.
- 2A06 (isj) 静電場平衡機構における速度比依存項の再考察
服部 好弘 / コニカミノルタ (株)
Re-Consideration of the Speed Ratio Dependent Term on the Charge Transport Equilibrium
Mechanism
Yoshihiro Hattori / Konica Minolta, Inc.
- 2A07 (isj) トナー開発への溶融シミュレーションの適用
藤崎 達矢, 万袋 麻希子, 加川 哲哉, 伊藤博人 / コニカミノルタ (株)
Application of Melt Simulation to Toner Development
Tatsuya Fujisaki, Makiko Mandai, Tetsuya Kagawa, Hiroto Itou / Konica Minolta, Inc.

11月1日

●オーラルセッション B

B会場:60周年記念館 2F大セミナー室

●オーラルセッション B:画像応用

Imaging Application

10:20-12:00 座長:平山 亮 / 大阪工業大学

- 2B01 (iieej) デジタル人文学への画像情報活用に関する基礎的検討
大野 邦夫¹, 横山 恵理², 平山 亮^{2/1})モナビ IT コンサルティング, 2)大阪工業大学
Basic Investigation on Applying Visual Information to Digital Humanities
Kunio Ohno¹, Eri Yokoyama², Makoto J. Hirayama^{2, / 1})Monavis IT Consulting ,
2)Osaka Institute of Technology
- 2B02 (iieej) スマートデバイス上での継続認証におけるテンプレートの登録・更新に関する一検討
尾中 凜太郎, 山崎 恭 / 北九州市立大学大学院
A Study on Template Registration and Update for Continuous User Authentication on Smart
Devices
Rintaro Onaka, Yasushi Yamazaki / Kitakyushu University Graduate School
- 2B03 (iieej) LinDA : 都市景観の背景線画半自動生成システム
—線分特徴量に基づく一括ストロークテクスチャ変換—
野村 芽久美, 中山 雅紀, 藤代 一成 / 慶應義塾大学
LinDA: Semi-Automatic System for Generating Cityscape Background Images
—Converting Stroke Textures Based on Line Segment Feature—
Megumi Nomura, Masanori Nakayama, Issei Fujishiro / Keio University
- 2B04 (jspst) 食物アレルギーの原因となる特定原材料の使用状況を示す視認性の高いピクトグラムの研究
佐藤 潜一¹, 矢口 博之¹, 植田 憲二², 森下 洋平³
1)東京電機大学, 2)電通, 3)ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会
A Study for Food Allergy Pictograms with High Visibility
Senichi Sato¹, Hiroyuki Yaguchi¹, Kenji Ueda², Yohei Morishita³ /
1)Tokyo Denki University,2)Dentsu,3)Universal Communication Design Association
- 2B05 (iieej) HYDRO : 大型タッチパネルディスプレイを想定したハイブリッドイメージ広告の生成
内野 花梨, 中山 雅紀, 藤代 一成 / 慶應義塾大学
HYDRO : Generation of Hybrid-image Advertisements on Large Touch Panel Displays
Karin Uchino, Masanori Nakayama, Issei Fujishiro / Keio University

12:00-13:00 昼休憩

●オーラルセッション B:電子透かし

Watermark Technology

13:00-14:20 座長:浅井 浩 / 株式会社 SCREEN ホールディングス

- 2B06 (iieej) Accurate Information Extraction from Printed Images using Multi-Level Green-Noise Diffusion
Watermarking
河村 尚登¹, 岩村 恵市² /1)カワムラ・テクノラボ, 2)東京理科大学
Naoto Kawamura¹, Keiichi Iwamura² /
1)Kawamura Techno.Lab, 2)Tokyo University of Science
- 2B07 (spij) 特色印刷の互換性を考慮した可逆情報埋込み法の拡張
平岡 琴子, 今泉 祥子 / 千葉大学
A Reversible Information Embedding Scheme for Printing with Multiple Special Color Inks
Kotoko Hiraoka, Shoko Imaizumi / Chiba University
- 2B08 (iieej) 輝度分布の中央値を考慮した電子透かしによるカラー画像の可逆コントラスト強調
西川 領祐, 長谷川 まどか / 宇都宮大学
A Reversible Contrast Enhancement for Color Images Using Digital Watermarking
Considering Median
Ryosuke Nishikawa, Madoka Hasegawa /Utsunomiya University
- 2B09 (jspst) デジタル印刷時代のバリアブル「透かし」技術
高橋 寛行, 木内 正人, 新免 浩太郎 / 独立行政法人国立印刷局研究所
Variable Watermark Technique Using Digital Printing
Hiroyuki Takahashi, Masato Kiuchi, Kotaro Shinmen / National Printing Bureau

●オーラルセッション B:ノイズと知覚

Noise and Perception

14:30-15:50 座長:斎藤隆文 / 東京農工大学

2B10 (spij) 画素密度の影響によるノイズ知覚特性のモデル化

小森 駿, 和崎 浩幸 / 木更津工業高等専門学校

A Modeling of Noise Perception Characteristics Affected by the Pixel Density

Suguru Komori, Hiroyuki Wasaki / National Institute of Technology, Kisarazu College

2B11 (isj) ラインセンサによる屋外撮影時のノイズ補正方法

新井 啓之¹, 片岡 香織², 梅田 崇之², 安藤 慎吾² /

1)日本工業大学, 2)NTTメディアインテリジェンス研究所

Noise Correction Method for Outdoor Shooting with a Line-sensor

Hiroyuki Arai¹, Kaori Kataoka², Takayuki Umeda², Shingo Ando² /

1)Nippon Institute of Technology, 2)NTT Media Intelligence Laboratories

2B12 (jspst) オンライン色校正のためのディスプレイ再現色の見えの個人差評価

南川 明華, 田中 貴也, 飯野 浩一 / 凸版印刷(株)

An Evaluation of the Individual Differences in the Perceived Color on Display for Online Color Proofing

Haruka Minamikawa, Takaya Tanaka, Koichi Iino / Toppan Printing Co., Ltd.

2B13 (jspst) 色評価用LED照明の評価方法 ~第三報

杉山 徹 / 大日本印刷(株)

Evaluation Method of LED Illumination for Viewing Printed Matter: Third Report

Tohru Sugiyama / Dai Nippon Printing Co., Ltd.

15:50-16:00 休憩

●オーラルセッション B:画像検知

Image Analysis

16:00-17:20 座長:床井浩平 / 和歌山大学

2B14 (iieej) 認知リハビリテーションのための手の骨格情報に基づく状態検出の検討

橋本 和樹¹, 大井 翔¹, 野間 春生¹, 佐野 睦夫², 梅田 聡³, 田渕 肇³, 斎藤 文恵³ /

1)立命館大学, 2)大阪工業大学, 3)慶應義塾大学

A Study on State Detection based on Hand Posture for Cognitive Rehabilitation

Kazuki Hashimoto¹, Sho Ooi¹, Haruo Noma¹, Mutsuo Sano², Satoshi Umeda³,

Hajime Tabuchi³, Fumie Saito³ /

1)Ritsumeikan University, 2)Osaka Institute of Technology, 3)Keio University

2B15 (iieej) マルチスケール画像分解と領域分割を用いた画像中の影除去

柳 勇思¹, 吉田 大海², 飯國 洋二¹ / 1)大阪大学, 2)近畿大学

Shadow Removal in Images Using Multi-Scale Image Decomposition and Region Segmentation

Yonsa Ryu¹, Hiromi Yoshida², Youji Iiguni¹ / 1)Osaka University, 2)Kinki University

2B16 (iieej) 四面体垂線長最小化法による消失点検出

中山 大¹, 吉田 大海², 飯國 洋二¹ / 1)大阪大学, 2)近畿大学

Tetrahedron Height Minimization for Vanishing Point Detection

Dai Nakayama¹, Hiromi Yoshida², Youji Iiguni¹ / 1)Osaka University, 2)Kindai University

2B17 (iieej) 輝度マップに基づく水中画像の復元

森泉 博貴¹, 飯國 洋二¹, 吉田 大海² / 1)大阪大学, 2)近畿大学

Underwater Image Restoration Based on Luminance Map

Hiroki Moriizumi¹, Youji Iiguni¹, Hiromi Yoshida² / 1)Osaka University, 2)Kindai University

11月1日

●オーラルセッション C

C会場:13号館 4F 多目的室

●オーラルセッション C: Nuclear Imaging

11:00-12:00 座長:高田俊二 / 千葉大学

- 2C01 (spij) 原子核乾板の潜像退行—光電子分光による添加剤の効果の解析
谷 忠昭¹, 西尾 晃², 内田 孝幸³, 森島 邦博^{2/1} / 1)日本写真学会, 2)名古屋大学,
3)東京工芸大学
Latent Image Fading in Nuclear Plates - Analysis of Effects of Additives by Photoelectron Spectroscopy
Tadaaki Tani¹, Akira Nishio², Takayuki Uchida³, Kunihiro Morishima² /
1)Soc. Photogr. Imaging Jpn., 2)Nagoya University, 3)Tokyo Polytechnic University
- 2C02 (spij) 超微粒子原子核乾板 NIT における荷電粒子のエネルギー損失量に対するハロゲン化銀結晶の
潜像形成効率の評価
佐伯 加奈¹, 中 竜大¹, 小川 了¹, 渋谷 寛¹, 白石 卓也¹, 小林 龍太², 轟 祈²,
梅本 篤宏², 久下 謙一^{3/1} / 1)東邦大学, 2)名古屋大学, 3)千葉大学
Evaluation of Latent Image Formation Efficiency of Silver Halide Crystals for Energy Loss of
Charged Particles in Fine-Grained Nuclear Emulsion
Kana Saeki¹, Tatsuhiro Naka¹, Satoru Ogawa¹, Hiroshi Shibuya¹, Takuya Shiraishi¹,
Ryuta Kobayashi², Inori Todoroki², Atsuhiko Umemoto², Kenichi Kuge³ / 1)Toho University,
2)Nagoya University, 3)Chiba University
- 2C03 (spij) 長期安定性に優れた次世代原子核乾板検出器
西尾 晃, 森島 邦博, 桑原 謙一, 吉田 哲夫, 北川 暢子, 久野 光慧, 眞部 祐太,
干潟 紘太郎, 榊原 亜美, 中村 光廣 / 名古屋大学
Next Generation Nuclear Emulsion Detector with Excellent Long-Term Stability
Akira Nishio, Kunihiro Morishima, Ken-ichi Kuwabara, Tetsuo Yoshida, Nobuko Kitagawa,
Mitsuaki Kuno, Yuta Manabe, Kotaro Higata, Ami Sakakibara and Mitsuhiro Nakamura /
Nagoya University

12:00-13:00 昼休憩

●オーラルセッション C: 光機能・応用材料

Light functional material

13:00-14:20 座長:白石 幸英 / 市立山口理科大学

- 2C04 (isj) 3-メトキシオフエン重合体と汎用ポリマーからなる金色調光沢ブレンド塗布膜の作製と物性
田村 理人, 塚田 学, 星野 勝義 / 千葉大学
Preparation and Characterization of Gold-like Lustrous Blend Films comprising
Oligo(3-methoxythiophene) and Ordinary Polymer
Rihito Tamura, Satoru Tsukada, Katsuyoshi Hoshino / Chiba University
- 2C05 (spij) 島状金ナノ粒子固定電極を用いたエレクトロクロミック表示の耐久性向上
山田 勝実 / 東京工芸大学
Improvement of Electrochromic Durability by ITO Electrode Modified with Au Nano-Island
Katsumi Yamada / Tokyo Polytechnic University
- 2C06 (isj) 発光性ロイコ色素のエレクトロクロミック特性と発光色制御
中村 一希, 柳川 菜美子, 小林 範久 / 千葉大学
Electrochromic Properties and Luminescence Color Control of Luminescent Leuco Dye
Derivative
Kazuki Nakamura, Namiko Yanagawa, Norihisa Kobayashi / Chiba University
- 2C07 (spij) 光触媒による水の光分解—電子構造の分析と性能向上に関する考察
谷 忠昭¹, 西見 大成^{2/1} / 1)日本写真学会, 2)人工光合成化学プロセス技術研究組合
Photocatalytic Water Splitting -Analysis of Electronic Structure for Improvement in
Performance
Tadaaki tani¹, Taisei Nishimi² / 1)Soc. Photogr. Imaging Jpn., 2)ARPCHEM

14:20-14:30 休憩

●オーラルセッション C: インクジェット&3D 技術

Inkjet & 3D Technology

14:30 -15:30 座長: 足立 克己 / シャープ株式会社

- 2C08 (isj) 光渦レーザーによる高粘性インクプリンティング方式の開発
岩田 宗朗¹, 青戸 淳¹, 須原 浩之¹, 金子 晃大¹, 鈴木 一己¹, 中村 龍介², 川口 晴生²,
宮本 克彦², 尾松 孝茂^{2/1} (株) リコー, 2)千葉大学
The New Printing System by using Optical Vortex for Highly Viscous Ink
Muneaki Iwata¹, Jun Aoto¹, Hiroyuki Suhara¹, Akihiro Kaneko¹, Kazumi Suzuki¹,
Ryosuke Nakamura², Haruki Kawaguchi², Katsuhiko Miyamoto², Takashige Omatsu² /
1)RICOH COMPANY,LTD., 2)Chiba University
- 2C09 (jspst) 3D 細胞培養技術による生体組織の作製及び創薬応用
森村 吏惟¹, 名田 イサナ¹, 高橋 祐生¹, 塚本 圭¹, 篠崎 英司², 山口 研成², 片山 量平³,
藤田 直也³, 松崎 典弥⁴, 北野 史朗^{1,4/1} 凸版印刷 (株),
2)公益財団法人がん研究会がん研有明病院, 3)公益財団法人がん研究会研究所, 4)大阪大学
3D Tissue Model for Drug Discovery
Rii Morimura¹, Isana Nada¹, Yuki Takahashi¹, Kei Tsukamoto¹, Eiji Shinozaki²,
Kensei Yamaguchi², Ryohei Katayama³, Naoya Fujita³, Michiya Matsusaki⁴, Shiro Kitano^{1,4}
/ 1)Toppan Printing Co., LTD., 2)The Cancer Institute Hospital of JFCR, 3)The Cancer Inst
- 2C10 (isj) シングルパスインクジェット印刷におけるインクミストの解析
浅井 浩¹, 高濱 郁彦¹, 榎本 悠人¹, アンディ マッキーク², ニック キャンベル³ /
1)SCREEN ホールディングス, 2)インカ・デジタル・プリンターズ, 3)SCREEN GP IJC
Ink Mist Analysis on Single Pass Inkjet Printing
Hiroshi Asai¹, Ikuhiko Takahama¹, Yuto Enomoto¹, Andy McKeague², Nick Campbell³ /
1)SCREEN Holdings, 2)Inca Digital Printers, 3)SCREEN GP IJC

15:30-15:40 休憩

●オーラルセッション C: グラフィックアーツ

Graphic Arts

15:40 -17:00 座長: 白崎 義久 / DIC 株式会社

- 2C11 (spij) 写真産業の技術革新史 そのVI -グラフィック・アーツからシステムへの変遷-
高田 俊二 / 千葉大学
History of Technical Innovation in the Photographic Industry(6)
-Transition from Graphic-Arts to System in the Printing Industry-
Shunji Takada / Chiba University
- 2C12 (jspst) 高品質・高生産性に向けたロータリースクリーン印刷システムの開発
田原 健児 / 独立行政法人国立印刷局
Development of Rotary Screen Printing System for High Quality and High Productivity
Kenji Tahara / National Printing Bureau
- 2C13 (jspst) ラマン分光分析装置による UV オフセットインキ皮膜の非破壊深さ方向分析 (第2報)
内田 明日香, 尾崎 靖 / 独立行政法人国立印刷局研究所
Depth Profile of UV Offset Ink Films with Non-Destructive Raman Spectroscopy
(Second Report)
Asuka Uchida, Yasushi Ozaki / National Printing Bureau
- 2C14 (jspst) 印刷パターンによる感圧接着シートの接着力への影響
大関 崇史 / 共同印刷 (株)
Effect of Printing Pattern on Adhesive Strength of Pressure Sensitive Adhesive Sheet
Takafumi Ozeki / Kyodo Printing Co., Ltd.

画像関連学会連合会 第6回秋季大会 実行委員

実行委員長:岩崎 仁(日本写真学会、京都工芸繊維大学)

実行委員 :池側隆之(日本写真学会、京都工芸繊維大学)

大橋由人 (日本印刷学会、三菱製紙)

金本成一 (日本画像学会、ブラザー工業)

狩野 篤 (日本画像学会、京セラドキュメントソリューションズ)

久下謙一 (日本写真学会、千葉大学)

久保尋之 (画像電子学会、奈良先端科学技術大学院大学)

床井浩平 (画像電子学会、和歌山大学)

浅井 浩 (日本印刷学会、SCREENホールディングス)

白石幸英 (日本写真学会、山口東京理科大)

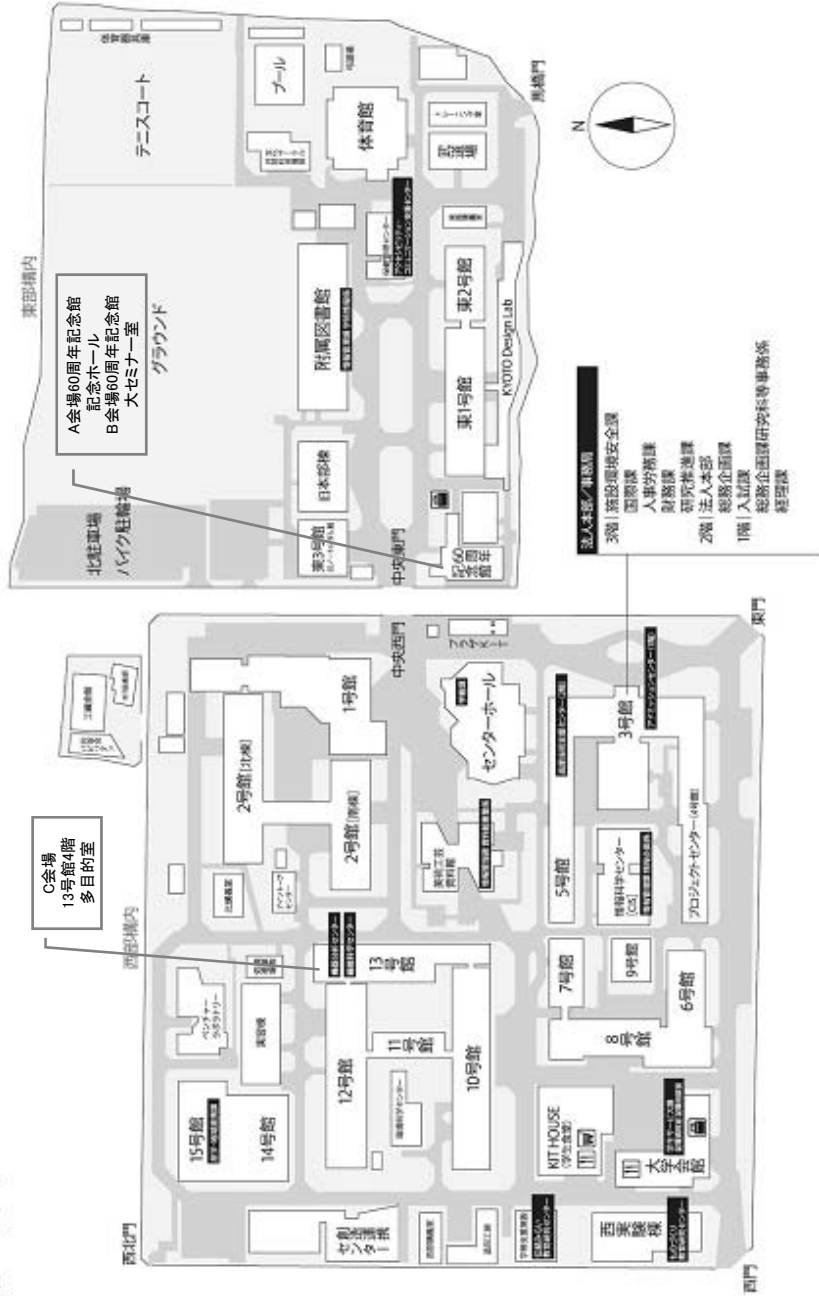
西村直哉 (日本写真学会、三菱製紙)

平山 亮 (画像電子学会、大阪工業大学)

山田千晶 (日本画像学会、コニカミノルタ)

画像関連学会連合会 幹事:竹内達夫 (日本画像学会)

京都工芸繊維大学
松ヶ崎キャンパス



C会場
13号館4階
多目的室

A会場60周年記念館
記念ホール
B会場60周年記念館
大セミナー室

- 法人本部/事務局
- 3階 | 施設環境安全課
 - 国際課
 - 人事労務課
 - 財務課
 - 研究推進課
 - 2階 | 法人本部
 - 経営企画課
 - 1階 | 入館課
 - 総務企画課
 - 総務課